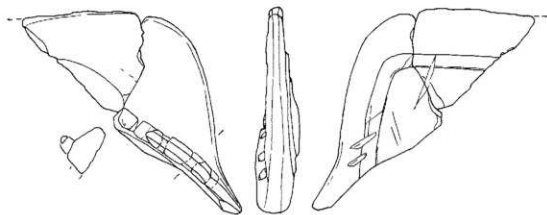


石川県 金沢市

# 畝田<sup>◎</sup>寺中遺跡IX

－木曳野遺跡群VII－



平成26年3月  
(2014年)

金 沢 市  
(金沢市埋蔵文化財センター)



石川県 金沢市

# 畝田・寺中遺跡Ⅸ

－木曳野遺跡群Ⅶ－

平成26年3月  
(2014年)

金 沢 市  
(金沢市埋蔵文化財センター)



## 例 言

1. 本書「畝田・寺中遺跡Ⅱ」は、石川県金沢市寺中町、畝田西4丁目、桂町地内に所在する事業名：木曳野遺跡群(寺中B遺跡、桂町南遺跡、畝田・寺中遺跡)の発掘調査報告のうち、平成15年度に実施した畝田・寺中遺跡の調査の一部について報告するものである。
2. 本調査は金沢市木曳野土地区画整理組合による土地区画整理事業に伴い、平成15年度に金沢市埋蔵文化財センターが発掘調査を実施したものである。
3. 本報告にかかる現地調査は金沢市埋蔵文化財調査委員会(当時：会長橋本澄夫氏、谷内尾晋司氏、垣田修兒氏、横山方子氏)の指導の下で、出越茂和(文化財保護課担当所長補佐：当時)、向井裕知(文化財保護課主事：当時)が担当した。
4. 本書の執筆・編集は景山和也(文化財保護課主査)が担当した。写真撮影は遺構を発掘調査担当者が行い、遺物を景山が行った。
5. 本書の各国及び写真図版の指示は以下のとおりである。
  - (1) 方位は全て座標北である。座標は世界測地系(第Ⅷ系)に基づき設定している。
  - (2) 各国の縮尺は、遺物は1/3・1/6、遺構は1/60が主であるが、各国に指示しているとおりである。
  - (3) 遺物実測図の番号は通し番号とし、本文中、観察表、写真図版のそれと一致する。
  - (4) 遺構名の略号は、SB＝掘立柱建物、SE＝井戸跡、SK＝土坑跡、SD＝溝・川跡、SX＝落ち込み・土器だまり跡、P＝ピットなどであるが、略号を用いず大河跡とした遺構がある。
  - (5) 土器については「壺」・「甕」・「高杯」・「器台」などと表記するが、用途を示すのではなく、形態による分類で、「壺形土器」などの略称である。
  - (6) 土器実測図の断面が黒色のものは須恵器を、その他のものは白抜きで示している。また、実測図内外面の目の粗いドットは黒色処理を、細かいものは赤彩処理を、細かな砂目状のものは灯明痕・焼痕を、50%アミ処理のものは漆塗膜を示している。
6. 本調査での出土遺物、記録資料は金沢市埋蔵文化財センターで保管している。

# 畝田・寺中遺跡区 目次

第1章 調査箇所と報告の内容 .....	1
第1節 調査箇所と既往の報告内容	
第2節 本書の報告について	
第2章 遺跡の位置と環境 .....	5
第1節 地理的環境	
第2節 歴史的環境	
第3章 検出遺構 .....	7
第1節 概要	
第2節 土坑・ピット	
第3節 溝・川	
第4章 遺物 .....	11
第1節 概要	
第2節 土坑・ピット	
第3節 溝・川	
第4節 遺構外	
第5節 補遺	
第5章 樹種同定記録 .....	(株東都文化財保存研究所) 65
第6章 総括 .....	67

写真図版

# 第1章 調査箇所と報告の内容

## 第1節 調査箇所と既往の報告内容

今回報告する畝田・寺中遺跡の発掘調査は、金沢市木曳野土地区画整理事業に伴い実施されたもので、事業全体では平成14年度から平成16年度にかけて、約13,760㎡の発掘調査が行われている。遺跡の発見から発掘調査へ至るまでの詳細な経緯は、既刊「木曳野遺跡群Ⅰ」を参照願いたい(金沢市2006)。

本事業による調査箇所は第1図のとおりである。調査時には、補助事業主体の名称として県費分A～C区、道路名称によって主幹線1～5区、支線部などと呼称して調査を実施している。既刊報告書の報告内容との対応については第1表および第2図のとおりである。

木曳野遺跡群Ⅰ(以下Ⅰ、Ⅱ等とする)では、調査に至る経緯や縮尺1/300、1/100遺構平面図版と共に植生や環境復元、木材・石材利用把握のための自然科学分析結果を掲載している。

Ⅱでは、寺中B遺跡と畝田・寺中遺跡内の桂・寺中遺跡として調査を実施した箇所の調査成果を掲載している。

Ⅲでは、桂町南遺跡と畝田・寺中遺跡の県費分A～C区の調査成果を掲載している。また、畝田・寺中遺跡の桂・寺中遺跡部分を除いた、縮尺1/500の畝田・寺中遺跡図版が別紙で用意されている。

Ⅳでは、畝田・寺中遺跡の主幹線1区と2区のSD222、SD303(大河跡)の調査成果を掲載している。

Ⅴでは、畝田・寺中遺跡の主幹線3区の調査成果と1区SD222、包含層、2区P20、SD222、SD240、SD244、SD303、4区大河跡出土の墨書土器を掲載している。

Ⅵでは、畝田・寺中遺跡の主幹線2区における遺構および土器・陶磁器、石製品について報告している。

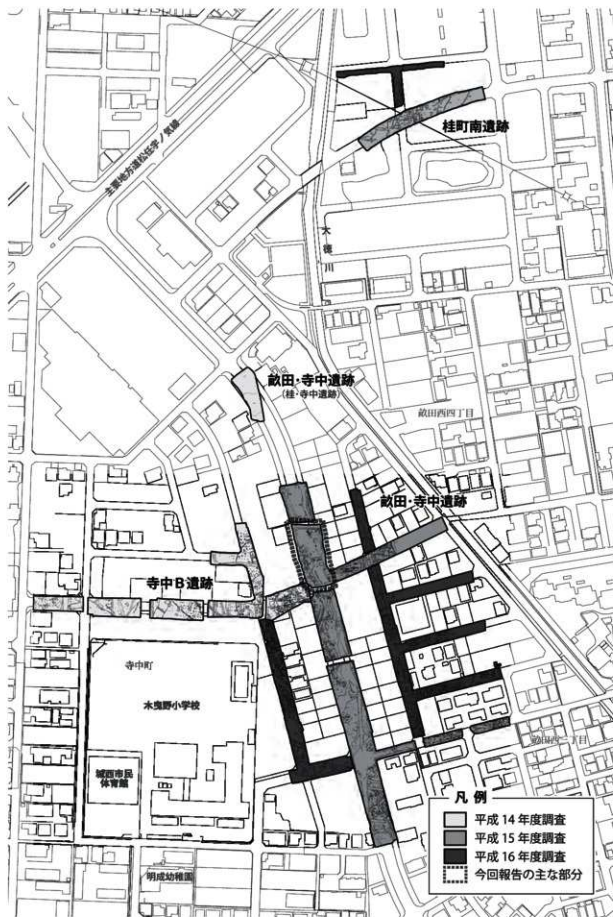
第1表 報告書の内容

紀要No	書名	内容	発行年
231	木曳野遺跡群Ⅰ 寺中B遺跡Ⅵ 桂町南遺跡Ⅰ 畝田・寺中遺跡Ⅲ	調査に至る経緯・経過、航空測量図版、自然科学分析	2006
239	木曳野遺跡群Ⅱ 寺中B遺跡Ⅳ 畝田・寺中遺跡Ⅳ	寺中B遺跡(報告完) 桂・寺中(畝田・寺中)遺跡	2007
249	木曳野遺跡群Ⅲ 桂町南遺跡Ⅱ 畝田・寺中遺跡Ⅴ	桂町南遺跡(報告完) 畝田・寺中遺跡(県費A・B・C区)	2008
259	木曳野遺跡群Ⅳ 畝田・寺中遺跡Ⅵ	畝田・寺中遺跡(主幹線1区・2区SD222、SD303)	2010
279	木曳野遺跡群Ⅴ 畝田・寺中遺跡Ⅳ	畝田・寺中遺跡(主幹線3区・2区墨書土器(1区・4区含))	2012
288	木曳野遺跡群Ⅵ 畝田・寺中遺跡Ⅳ	畝田・寺中遺跡(主幹線2区土器・陶磁器・石製品)	2013
293	木曳野遺跡群Ⅵ 畝田・寺中遺跡Ⅴ	畝田・寺中遺跡(主幹線4区、主幹線2区木製品・金属製品)	2014

## 第2節 本書の報告について

第1表および第2図のとおり、寺中B遺跡と桂町南遺跡の報告は終了しているが、調査面積が広く、遺物も大量に出土している畝田・寺中遺跡については、その多くが未報告となっている。これまでに県費分A～C区、主幹線1区、同2区、同3区が報告済みとなっている。本書は主幹線4区の遺構および遺物について報告するものであるが、既刊報告書にて掲載漏れのあった遺物、および木曳野遺跡群Ⅵで掲載できなかった主幹線2区出土の木製品と金属製品についても補遺という形で掲載している。

なお、本書刊行後の未報告範囲は主幹線5区、支線部、西工区、東工区、鉾津の自然科学分析、樹種同定分析となり、順次刊行していく予定である。



第1図 調査区位置図 (S=1/3,000)



## 第2章 遺跡の位置と環境

### 第1節 地理的環境

畝田・寺中遺跡は石川県金沢市畝田町、寺中町地内に所在する。

石川県は日本海に突き出た能登地方とその南の加賀地方に分かれ、金沢市は加賀地方の北部に位置しているが、その西部は日本海に接し、南東部には海拔1,500mを越える山地をかかえる。この山地からは市域を西流する浅野川と犀川が流れ、両河川に挟まれた地域に市街地が形成されている。また、犀川を境として、北部平野と南部平野に分かれ、前者は犀川・浅野川やその北部を流れる金腐川・森下川によって形成された沖積平野であり、後者は手取川が形成する扇状地の北辺である。

本遺跡は市内の北西部、現在の海岸線からは約2km内陸側に位置しており、周辺は海岸線に沿って南北に延びる内灘砂丘の後背湿地を形成している。また、南側を西流する犀川からの分流が本地域を北流し、北側を西流する大野川へと流れ込むことから、ますます湿潤な環境を形成している。



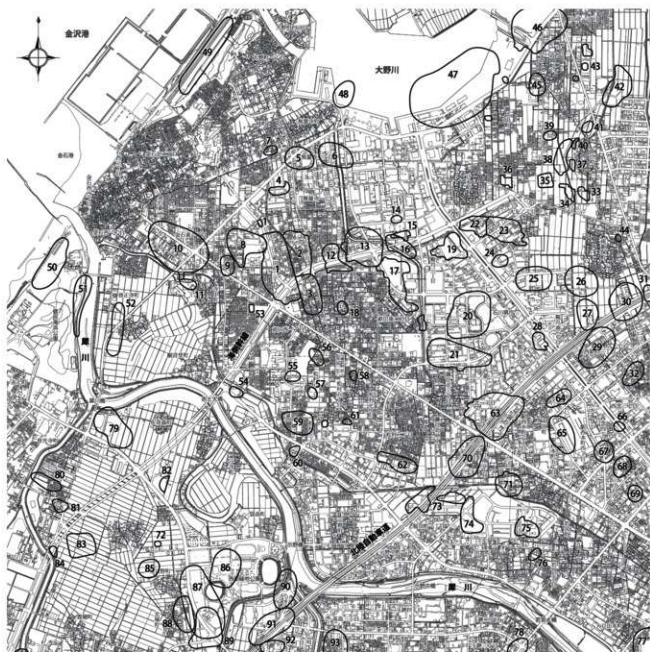
第3図 石川県と金沢市の位置

### 第2節 歴史的環境

畝田・寺中遺跡の周辺に分布する遺跡を時代毎に概観すると、縄文時代には後期中葉と晩期後葉の松村A遺跡(59)や晩期の土器・石器が出土する本遺跡があり、近岡遺跡(46)では昭和45年の調査で花粉分析から縄文晩期の農耕について話題になった。弥生時代は戸水B遺跡(20)、戸水C遺跡(47)、藤江C遺跡(21)などで前期からの遺物が確認されており、畝田C遺跡(13)などで遠賀川式土器が出土しているが、中期以降増加する傾向にあり、西念・南新保遺跡(29)のような後期へ繋がる拠点集落も出現する。本遺跡においては中期から遺物が確認されている。古墳時代は弥生終末期の遺跡が継続されることが多いが、中・後期になると激減し、本遺跡の他、周辺では藤江B遺跡(63)で確認できる。当該期の須恵器を多く確認している本遺跡や藤江C遺跡などが中・後期の拠点集落になる可能性があり、本遺跡に関しては弥生時代終末から7世紀代まで継続して確認できる稀有な事例である。

奈良・平安時代は再び遺跡が広く分布し、犀川や大野川河口周辺に津湊関連遺跡や官衙・荘園関連遺跡が出現する。本遺跡においても8世紀前半から中頃の大規模集落が確認され、遺構の規模や「津司」墨書土器から金石本町遺跡と一連の港湾関連遺跡と考えられている。また、石川県調査区から遺渤海使が帰国した「天平二年(730)」の記年銘墨書土器が出土しており、その際の饗応に使用された可能性が指摘されている。また、近隣の畝田ナベタ遺跡(17)からは大陸産とされる青銅金箔張の帯金具(巡方)が出土しており、具体的な大陸との交流を物語る遺跡群といえる。鎌倉・室町時代は、本遺跡も含めて当該期の遺跡が広く分布している。本遺跡では、堀で囲繞された方2町×1町半程度の空間が検出されている。南新保北遺跡(44)では銭の出納に関わる付札木簡が出土している。戸水C遺跡は古代以来の津湊関連遺跡と評価されている。

本遺跡は、大野荘を含み大野荘内(一時期は富永御厨内か)に所在する。畝田地名の初見は日本霊異記「大野郷畝田村」であり(金沢市1998)、平安時代にはその名が認められる。中世には「宇福田村」、「宇根田村」、「宇栲田村」、「うね田村」などとみえる。



- |                        |                         |                        |
|------------------------|-------------------------|------------------------|
| 1 総田・寺中遺跡 (弥生~中世)      | 32 西念東遺跡 (弥生)           | 63 藤江B遺跡 (弥生~室町)       |
| 2 総田遺跡 (縄文~平安)         | 33 高江ダンプシロ遺跡 (弥生~室町)    | 64 二口六丁A遺跡 (弥生~古墳)     |
| 3 総田大野川遺跡 (弥生~室町)      | 34 大友F遺跡 (弥生~平安)        | 65 二口六丁B遺跡 (弥生~古墳)     |
| 4 桂町南遺跡 (弥生~中世)        | 35 大友A遺跡 (古墳・奈良・平安)     | 66 西念シタ遺跡 (弥生・古墳)      |
| 5 無量寺南遺跡 (古墳)          | 36 大友D遺跡 (弥生~平安)        | 67 西念クボ遺跡 (縄文・古墳)      |
| 6 無量寺遺跡 (古墳・中世)        | 37 高江ニシヤ遺跡 (古墳~室町)      | 68 二口シタ遺跡 (弥生・古墳)      |
| 7 桂遺跡 (弥生・古墳・中世)       | 38 大友E遺跡 (弥生~奈良)        | 69 藤江A遺跡 (奈良・平安)       |
| 8 寺中B遺跡 (縄文~平安)        | 39 近衛カシタ遺跡 (弥生~奈良)      | 70 藤江B遺跡 (弥生~平安)       |
| 9 寺中遺跡 (弥生)            | 40 高江西遺跡 (弥生~室町)        | 71 中野遺跡 (縄文)           |
| 10 金石本町遺跡 (弥生~平安)      | 41 藤江中遺跡 (縄文~室町)        | 72 聖観音遺跡 (不詳)          |
| 11 寺中野台遺跡 (縄文)         | 42 藤江北遺跡 (縄文~室町)        | 73 松田・示野中遺跡 (弥生~平安)    |
| 12 総田台遺跡 (弥生~平安)       | 43 近衛アサヒ遺跡 (弥生~平安~室町)   | 74 入道屋ノミヤ遺跡 (弥生~平安)    |
| 13 総田C遺跡 (縄文~平安)       | 44 南新保北遺跡 (古墳~中世)       | 75 聖野堂遺跡 (弥生~平安)       |
| 14 無量寺D遺跡 (弥生~平安)      | 45 近衛ナカシマ遺跡 (弥生・奈良・平安)  | 76 若宮遺跡 (室町)           |
| 15 無量寺E遺跡 (弥生・平安)      | 46 近衛遺跡 (弥生~室町)         | 77 粟川段續遺跡 (縄文~古墳)      |
| 16 総田・無量寺遺跡 (弥生・奈良・平安) | 47 戸水C遺跡 (弥生~中世)        | 78 三輪台遺跡 (奈良・平安)       |
| 17 総田テナタ遺跡 (奈良・平安)     | 48 無量寺金沢遺跡 (縄文~古墳)      | 79 生奇森遺跡 (弥生・平安~江戸)    |
| 18 藤原前遺跡 (不詳)          | 49 金石北遺跡 (不詳)           | 80 尊光寺彩色土田遺跡 (古墳)      |
| 19 戸水大A遺跡 (弥生~平安)      | 50 聖正寺聖観音土遺跡 (弥生・奈良・平安) | 81 尊光寺彩色土田遺跡 (弥生)      |
| 20 戸水B遺跡 (弥生~平安)       | 51 聖正寺遺跡 (鎌倉・室町)        | 82 赤土遺跡 (弥生)           |
| 21 藤江C遺跡 (弥生~室町)       | 52 尊正寺高島遺跡 (古墳・鎌倉)      | 83 吉原尊光寺跡 (室町)         |
| 22 戸水C遺跡 (弥生~平安)       | 53 寺中南遺跡 (古墳)           | 84 尊光寺彩色土田遺跡 (古墳~平安)   |
| 23 大友西遺跡 (弥生・古墳・平安)    | 54 観音堂遺跡 (弥生~室町)        | 85 春日野遺跡 (縄文・古墳)       |
| 24 戸水・大友遺跡 (奈良・平安)     | 55 観音堂遺跡 (弥生)           | 86 保良・北塚C遺跡 (古墳~平安)    |
| 25 南新保E遺跡 (弥生~鎌倉)      | 56 松村西の城遺跡 (古墳~平安)      | 87 北塚B遺跡 (平安)          |
| 26 南新保C遺跡 (古墳前期)       | 57 松村中遺跡 (弥生~中世)        | 88 北塚A遺跡 (鎌倉・弥生~平安~室町) |
| 27 南新保三枚田遺跡 (弥生~平安)    | 58 松村南の遺跡 (弥生)          | 89 北塚B遺跡 (古墳)          |
| 28 二丁目南遺跡 (弥生~平安)      | 59 松村A遺跡 (縄文・古墳・鎌倉・室町)  | 90 古府カタガリ遺跡 (弥生~平安)    |
| 29 西宮・南新保遺跡 (弥生~平安)    | 60 松村Dの丸遺跡 (弥生・弥生~江戸)   | 91 古府Dの丸遺跡 (弥生)        |
| 30 南新保D遺跡 (弥生)         | 61 松村日遺跡 (弥生)           | 92 古府日遺跡 (不詳)          |
| 31 南新保日遺跡 (弥生)         | 62 松村高見遺跡 (弥生~中世)       | 93 高島遺跡 (弥生・古墳)        |

第4図 遺跡の位置と周辺の遺跡分布図 (S=1/30,000)

## 第3章 検出遺構

### 第1節 概要

本遺跡では、掘立柱建物、堅穴系建物、布柱建物、櫓列、井戸、土坑、区画溝、川跡などを検出しているが、本書で対象としている主幹線4区(以下、調査区)では土坑、ピット、溝、川を検出しており、主に古墳時代、奈良時代、平安時代、鎌倉時代のものがみつまっている。

遺構平面図については、「木曳野遺跡群Ⅰ」で各図を掲載したために本書では未掲載だが、第5図に今回報告対象となる調査区の遺構全体図と各遺構名を示した。併せてグリッド配置図を示したので参考にしていただきたい。また、第2図に木曳野遺跡群の全体図と建物や井戸、溝など主な遺構名を示したものを掲載した。「木曳野遺跡群Ⅵ」に掲載したものの誤記等を訂正したものである。「木曳野遺跡群Ⅱ」～「木曳野遺跡群Ⅴ」については、報告対象とする個別遺構が遺跡の中でどこに位置するかが図示されていないので、本図を参照いただきたい。

### 第2節 土坑・ピット

**SK200 (第6図)** 調査区中央西側に位置する土坑である。掘方は隅丸方形を呈し、SD203に切られる。長軸約1.6m、短軸約1.4m、深さ約0.4mで、古墳時代前期の土器(12)が出土している。

**SK201 (第6図)** 調査区中央東側、大河跡と重複する形で検出した円形土坑である。直径約1.0m、深さ約0.2mを測る。遺物は出土していない。

**P200 (第6図)** 調査区中央西側に位置する小穴である。掘方は南北に軸をとる楕円形状を呈し、長径約0.7m、短径約0.4m、検出面からの深さ約0.3mで、古墳時代前期に属するく字甕(3)が出土している。

### 第3節 溝・川

**SD200 (第6図)** 調査区中央西側に位置する、幅約1.5m、検出面からの深さ約0.2～0.3mを測る、北東-南西に軸をとる溝である。検出延長約8.0m、東側は大河跡と重複し、西側は調査区外へと延伸する。

**SD201 (第6図)** SD200の南側に位置する溝状の落ち込みで、軸を南北方向にとる。幅約1.2m、深さは0.1mに満たない。SD200との切り合いは不明、検出延長約3.3m、南側で2条に分かれる。

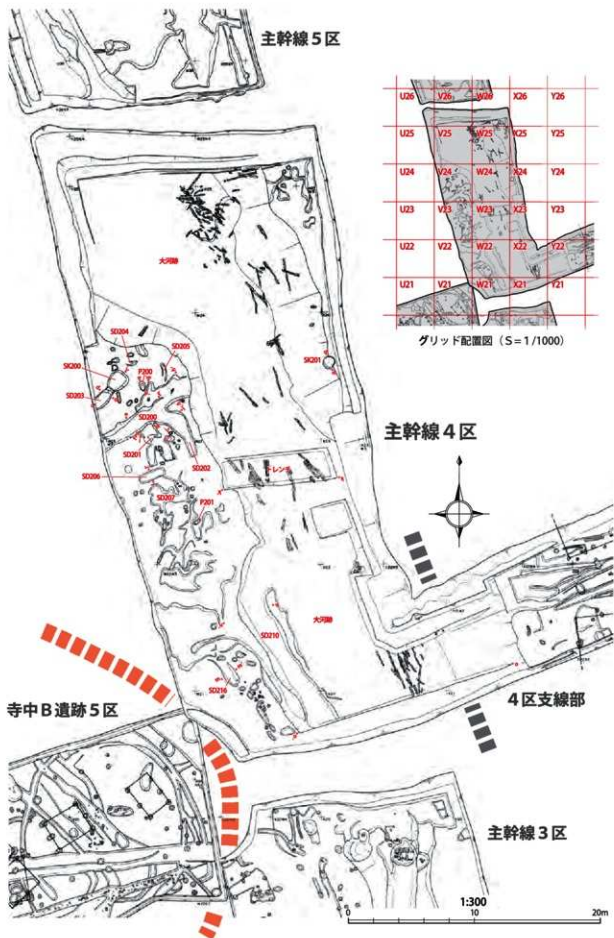
**SD202 (第6図)** 軸を南北にとり、SD202近辺で合流するかのよう屈曲する溝である。幅は約1.5m～0.6mとばらつきがあり、深さは約0.1mに満たない。検出延長は約4.3mである。

**SD206 (第7図)** SD200の南側に位置する浅い落ち込みである。軸を東西にとり、検出延長約2.2m、幅約0.8m、深さ約0.1m前後を測る。

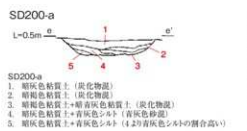
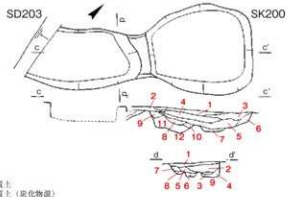
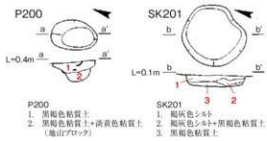
**SD210 (第7図)** 調査区南西側、大河跡西岸と重複する形で検出した軸を南北方向にとる溝で、主幹線3区のSD222と同一の溝である可能性が高い。検出延長約15.0m、幅約30m、検出面からの深さ約0.6m～0.9mを測る。11世紀～13世紀頃の遺物が出土している。詳細は既刊書(畝田・寺中遺跡Ⅴ)に詳しい。

**SD216 (第7図)** 調査区南西側で検出した溝状の落ち込みで、検出延長は約2.0m、幅約1.0m、深さは約0.1m前後である。軸は北北西-南南東、北側は浅くなり消失する。

**大河跡 (第6・7図)** 調査区東半を占める大規模河川である。主幹線1区SD303、同2区SD240・SD244、同3区SD201と同じ川と考えられる。詳細は既刊書(畝田・寺中遺跡Ⅴ・Ⅵ)に詳しい。土層確認用にトレンチを設定し、併せて調査区南壁でも土層断面図を作成したが、作図途中の崩落によって土色の一部に不備があることをお詫び申し上げたい。

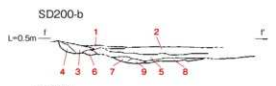


第5図 遺構全体図 (主幹線4区) (S=1/300)



- SK200
1. 黒灰色粘質土
  2. 黒褐色粘質土 (炭化物混)
  3. 黒灰色粘質土 (炭化物混, 1.2%黒い)
  4. 黒灰色粘質土 (炭化物混, 3.2%灰色強い, 1.2%黒い)
  5. 黒灰色シルト
  6. 黒灰色粘質土+灰色粘質土
  7. 暗灰色シルト+灰色シルト
  8. 灰褐色粘質土
  9. 暗灰色粘質土 (黒灰色粘質土ブロック混)
  10. 黒褐色粘質土 (2.2%褐色強い)
  11. 黒色シルト
  12. 青灰色シルト (地山)

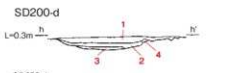
- SD203
1. 暗褐色粘質土 (炭化物混)
  2. 黒褐色粘質土 (炭化物混)
  3. 暗褐色粘質土+褐色粘質土
  4. 青灰色シルト
  5. 黒色粘質土
  6. 暗褐色粘質土 (黒灰色粘質土ブロック混)
  7. 暗褐色粘質土 (灰色粘質土ブロック混)
  8. 暗青灰色粘質土
  9. 青灰色砂 (地山)



- SD200-b
1. 暗灰色粘質土
  2. 暗褐色粘質土
  3. 暗褐色粘質土 (炭化物混)
  4. 暗褐色粘質土+青灰色砂
  5. 暗褐色粘質土+暗褐色粘質土 (炭化物混, 青灰色砂ブロック混)
  6. 青灰色砂+暗褐色粘質土
  7. 暗褐色シルト+青灰色シルト
  8. 暗褐色シルト+青灰色砂
  9. 青灰色シルト+暗褐色シルト (青灰色強い)



- SD200-c
1. 暗褐色粘質土 (炭化物混)
  2. 暗褐色粘質土 (炭化物混, 青灰色砂ブロック混)
  3. 暗褐色粘質土 (炭化物混, 青灰色砂ブロック混, 2.2%灰色強い)
  4. 暗褐色粘質土 (青灰色砂ブロック混, 1.2%灰色強い)
  5. 青灰色砂+暗褐色粘質土 (炭化物混)
  6. 暗褐色シルト



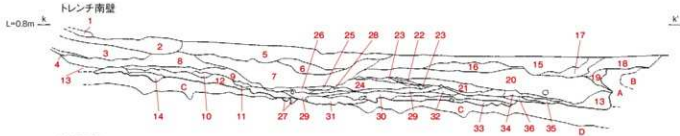
- SD200-d
1. 暗褐色粘質土 (炭化物混)
  2. 暗褐色粘質土 (炭化物混, 青灰色砂ブロック混)
  3. 暗褐色粘質土 (青灰色砂ブロック混, 1.2%灰色強い)
  4. 暗褐色粘質土+青灰色シルト (炭化物混, 青灰色砂ブロック混)



- SD201
1. 暗褐色粘質土 (炭化物混)
  2. 暗褐色粘質土
  3. 暗褐色粘質土 (2.2%褐色強い)
  4. 暗褐色粘質土+青灰色シルト



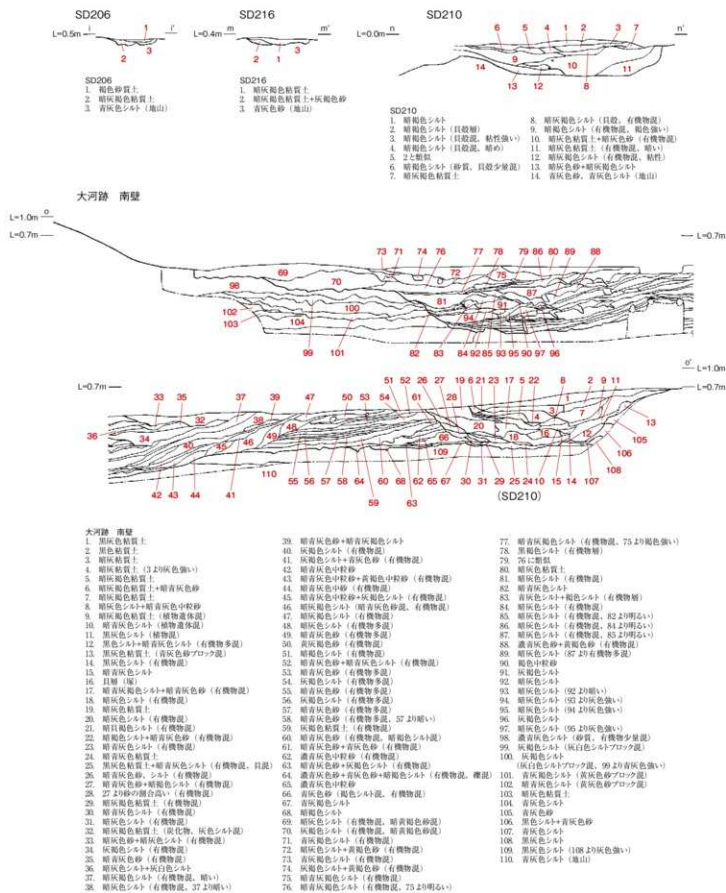
- SD202
1. 暗褐色粘質土 (炭化物混)
  2. 暗褐色粘質土
  3. 暗褐色粘質土 (炭化物混, 青灰色砂ブロック混, 1.2%灰色強い)



- トレンチ南壁
1. 暗褐色粘質土 (灰色シルト混)
  2. 暗青灰色シルト (有機物混)
  3. 灰褐色シルト (有機物混)
  4. 暗褐色シルト+暗褐色粘質土 (有機物混)
  5. 暗褐色粘質土 (炭化物, 有機物混)
  6. 暗褐色粘質土 (炭化物, 有機物混)
  7. 暗褐色粘質土 (炭化物, 有機物混, 灰色強い)
  8. 暗褐色シルト (炭化物, 有機物混, 灰色強い)
  9. 暗褐色シルト+暗褐色粘質土 (炭化物, 有機物混, 灰色強い)
  10. 灰褐色中粒砂 (灰褐色シルト混)
  11. 青灰色中粒砂 (灰色シルト混)
  12. 暗褐色シルト (灰色砂, 炭化物, 有機物混)
  13. 灰褐色大粒砂 (暗褐色シルト混)
  14. 青灰色砂 (暗褐色シルト, 暗褐色シルト混)
  15. 暗褐色シルト (炭化物, 有機物混, 保水少)
  16. 暗褐色砂 (暗褐色シルトブロック混)
  17. 暗褐色粘質土 (炭化物, 有機物混, 暗)
  18. 暗褐色粘質土 (炭化物, 有機物混, 暗)
  19. 青灰色砂 (暗褐色シルト, 暗褐色シルト混)
  20. 暗褐色粘質土 (炭化物, 有機物混, 灰色強い, 保水少)
  21. 灰褐色中粒砂
  22. 暗褐色シルト (灰色強い)
  23. 暗褐色粘質土
  24. 暗褐色粘質土+暗褐色シルト (炭化物, 有機物混)
  25. 暗褐色中粒砂+暗褐色シルト (炭化物, 有機物混)
  26. 暗褐色粘質土 (灰褐色強い)
  27. 青灰色大粒砂 (暗褐色シルトブロック混)
  28. 暗褐色シルト (有機物多混, 保水多)
  29. 灰褐色シルト (有機物混)
  30. 青灰色砂+暗褐色シルト (有機物混)
  31. 暗褐色シルト (有機物混, 褐色強い)
  32. 青灰色中粒砂 (シルト混)
  33. 灰褐色シルト (有機物混, 褐色強い)
  34. 青灰色砂+暗褐色シルト
  35. 暗褐色シルト (青灰色砂混)
  36. 青灰色砂 (やや暗)
  - A. 暗褐色シルト+暗褐色シルト (保水少)
  - B. 青灰色シルト (砂質)
  - C. 暗褐色シルト
  - D. 青灰色シルト



第6図 P200・SK200・SK201・SD200・SD201・SD202・SD203・トレンチ [S=1/60]



第7図 SD206・SD210・SD216・大河跡〔S=1/60〕

## 第4章 遺物

### 第1節 概要

本書で報告する出土遺物の大半は古墳時代前期～中期前葉のものであり、主に大河跡から出土している。第2節から遺構毎に報告する。大河跡出土遺物の図版は基本的にグリッド別・器種別となっており、説明については番号順に行うのでご了承願いたい。なお、グリッド配置については第5図を、遺物が属するグリッド、個々の遺物の法量や調整等は第3表～第5表を参照願いたい。同表遺構欄の「●区」は「主幹線●区」を示している。遺物取上時に錯誤のあったものは訂正して掲載しているのでご了承願いたい(Y25N4→W25)。また、文中の分類や年代観については、巻末の参考文献に記した各論考を参照願いたい。

### 第2節 土坑・ピット

SK200(第8図1・2) 1は土師器の甕で、有段口縁の内面に指頭圧痕、外面に擬凹線7条が確認できる。2は高杯で、杯部が屈曲して広がり、脚裾部が強く屈曲外反する。田嶋分類(田嶋1986)のH類に相当する。P200(第8図3) 3は口縁端部が肥厚するいわゆる布留甕であり、古墳時代前期の範疇である。

### 第3節 溝・川

4区 SD210(第8図4～31、第29図400、第30図438～440、第32図451～464) 4・5は土師器の蓋で、双方ミガキ調整が施される。6は土師器の小壺、7・8は甕である。いずれも古墳時代前期後葉のものであるが、この遺構は大河跡と重複して検出されており、これら遺物は混入品と考えられる。

9・10は須恵器の無台坏、11は灰釉陶器の碗、12は珠洲焼の鉢底部である。13は土師器の壺か。底部に糸切り痕が確認できる。14～24は土師器皿である。14・16・18・19・21・23・24がロクロ土師器皿、その他は非ロクロである。24は25とあわせて椀である可能性がある。26・27は内面黒色処理の施された台付椀で、26は高台外面に、27は底部に工具痕が顕著である。28・29は白磁碗で、それぞれ太宰府分類(太宰府市教育委員会2000)の白磁碗Ⅱ-4a類、白磁碗Ⅱ-1類であるだろうか。11世紀後半～12世紀代のものと考えられる。30・31は珠洲焼の鉢で、口縁部の形態から珠洲焼編年(吉岡1994)I期の製品と考えられる。12世紀後半のものと考えられる。

石製品には400の撥形打製石斧があるが、混入品とみられる。金属製品では438・439の鉄製刀子、双方茎に目釘穴が確認できる。440は不明鉄製品で、飾り金具の可能性もある。451～464は木製品である。457・458は他の材との結束装置が認められ、雑具部材と考えられる。461・462は円形板で、桶か曲物の底板であろう。463は篋状に薄く加工されている。464は火鑽目で6箇所の炭化した使用痕が認められる。

4区 大河跡(第9図～第28図、第29図401～419、第30図420～437・441～444、第31図、第32図465～490、第33図～第35図) 32～42は土師器甕である。32は頸部で緩やかに外傾し、先端に向かって内湾する口縁部を持つ。33の口縁部は直線的に立ち上がり端部に面取りがみられる。34・35・37の口縁は緩やかに外湾する。36・38の口縁は直線的に外傾する。39は山陰系の大形甕で口縁下端に突帯ともいえる明瞭な稜が確認できる。40～42は小形の甕である。43～46は壺で、43は長めの頸部をもち、口縁部に6条の擬凹線が施される。44は有段の口縁を有する。45は外反する口縁部先端に内屈する口縁帯が付されている特徴的なもので、弥生時代中期前半のものと考えられる。条痕が施され、口縁外面に浮文・刺突文、口縁内面には波状文が確認できる。46は外反して延びる口縁部先端に断面三角形の口縁帯を作り出し、そこに棒状浮文が2条確認され、全面に赤彩処理が施されている。田嶋分類のF類に相当する。47は壺の体部である。48・49はミニチュアの土器で、48は甕形、49は壺形である。50・



51は手捏土器である。52～54は小型壺で、田嶋分類F類に該当する。55は装飾器台で、内面に一部赤彩が残る。56は外面に赤彩の施された小型器台の脚部か。57～61は高杯で、57の杯部は緩く内湾する。58～61は田嶋分類のH類に相当しようか。62は有孔鉢の底部で、内外面ハケ調整が施されている。63～66は土師器鉢で、いずれも内面は丁寧にミガキ調整が施される。67～77は土鍾である。78は桶羽口で、滓が付着している。

79～92は土師器甕で、79～86は口縁部が外反する甕、87～88は口縁端部が肥厚するいわゆる布留甕で、古墳時代前期の範疇である。91は有段口縁で擬凹線が施されている。92は小型の甕で、口縁外面に弱い段をもつ。93～100は土師器壺である。93～95は頸部から外反する長めの口縁を有する。96は口縁部を欠損する壺の体部だが、頸径が小さく、長頸壺と考えられる。97は田嶋分類のF類に相当する壺の口縁部で、棒状浮文が2条確認できる。98・99は壺の頸部で1条の突帯を巡らせ、突帯上にキザミを施している。100は大形壺で、口縁部は段を持ち直線的に立ち上がり、口縁外面に棒状浮文が2条確認できる。田嶋分類H類に相当する。101は肩部にキザミ突帯を巡らせる小型の壺であろうか。102は外面に黒漆を施す。101・102ともに精緻な作りではないが、装飾的要素が強く、特筆される。103は杯状の土師器であるが、小型の高杯であろう。104は小型高杯の杯部、105は小型の高杯ないし器台の脚で、ミガキ調整が施されている。106～124は土師器高杯の杯部で、106～112・114・115は杯部が屈曲して広がる。113は碗形の杯底部と外反する口縁部をもつ。田嶋分類のB1類に分類される。116は大きな杯底部から屈曲外反する口縁部をもち、弥生時代後期のものと考えられる。117～123は土師器高杯の脚部である。117は緩やかに広がる裾部をもち、透穴が3箇所確認できる。118～123はいずれも脚裾部が強く屈曲外反しており、田嶋分類のH類に相当する。古墳時代前期中葉～後葉のものである。124は碗形の杯部と透穴を有する八の字状の脚が付く。田嶋分類のG類である。125は台付鉢か。鋭く開く裾部の先端は面をとる。126～135は器台である。126・127は小型器台で、碗状の受部と八の字状に開く脚に透穴が確認できる。128・129は脚部で、裾部に段を有し透穴と装飾を加え、丁寧なミガキ調整が施される。130は縦位に2孔1対の透穴を設ける脚部である。131は赤彩が施される有段の脚部である。132は外反的に開く深めの受部を持ち、脚は透穴をもち緩やかに開く。古墳時代前期中葉か。133は装飾器台の受部下端、134は鼓形器台である。135は大形の器台で、裾部に透穴と4条の沈線による加飾が確認できる。136は壺か鉢の底部であろう。137は小振りで碗状の体部に直線的に開く口縁部をもつ鉢である。138・139は鉢で、くの字状に屈曲し内湾する口縁部をもつ。139は平底である。140～143は蓋である。143は赤彩・加飾の状態から蓋としたが、鉢であるかもしれない。144・145はミニチュアの土器で、144は菱形、145は鉢形で、双方精緻な作りである。146は小型の丸底壺、147・148は手捏土器である。149・150は有孔鉢の底部で、151は小型の鉢か高杯の杯部であろう。152～157は碗で、154は内湾する体部と外反する口縁部をもつが、他のものは内湾する口縁部を端部で丸くおさめる。いずれもミガキ調整が施される。158・159はロクロ土師器の皿である。160は内面黒色処理の施される有台碗、161は柱状高台をもつ碗であろう。162・163はロクロ土師器の碗である。164は台付壺の脚部か。脚内部に指頭圧痕が認められる。165は柱状の高台をもつが、鉢であろうか。143に似る。168～172は土鍾である。172は有孔土玉とするべきか。出土したロクロ土師器は大河跡と重複するSD210からの混入であろう。

173～175は縄文土器である。173・175には対向玉抱き三叉文がみられ、晩期初頭御経塚式期であろうか。176～219は土師器甕とした。176～181は有段口縁をもつ。176は口縁に波状文を巡らせ、177～181は擬凹線である。182は近江・東海系、183は山陰系の口縁をもつ。184は受口状の短い口縁部をもつ。185～193は口縁端部が肥厚する布留甕である。189は口唇に沈線状の調整がみられるほか、肩部にキザミを巡らせている。漆11群、古墳時代前期後葉に該当すると考えられる。194～208は土師器甕で、口縁部が屈曲し外反するタイプのものである。202・203は小振りで、203は特に粗い作りである。



209は大型の山陰系甕で、肩部に櫛描波状文が施される。210は同じく山陰系甕か、口縁の段は明瞭でない。211～216は甕類の底部である。217～219は土師器甕だが一様に粗雑で、口縁に歪みがみられる。218は波状の口縁が微妙である。220～230は土師器の壺である。220は田嶋分類F類、棒状浮文は3条1対である。221は同じく2条1対の棒状浮文をもつが口縁端部の肥厚は認められない。223は円形スタンプ状の文様を口縁外面に巡らす。223は口縁外面に赤彩が施されている。224は直立する頸部からわずかな段を経て口縁部を形成している。225は直立した頸部に強く外反する口縁部をもち、頸部はキザミをもつ突帯で加飾される。226は大形の壺で、大きな有段口縁の外面に円形浮文が付く。227・228は櫛描文が施されており、弥生時代まで遡る可能性があるが不明である。227は山形文、228は山形文と直線文が確認できる。229・230は外面ハケ調整後に粗雑な櫛描文で加飾している。231～237は球状の体部から屈曲し直線的な口縁部を持つ土師器壺である。238は小型の壺で、外面に赤彩が施されている。239は外面と口縁部内面に赤彩処理がなされる。240は無頸壺で、蓋装着用と思われる孔が確認できる。241は外面赤彩された台付壺の体部、242は壺類の底部である。243は台付壺の脚であろう。244～246はミニチュア土器で、244は壺形、245は台付鉢形で赤彩が施される。246は有孔鉢形であろうか、底部に穿孔される。247～252は手握土器である。253は内外面にミガキ処理の施された鉢である。254は椀で、同様の調整が施される。255は蓋である。256～262は土錘で、257・261・262は有孔土玉か。263～275は球状の体部と直線的な口縁部を持つ土師器小壺である。274は田嶋分類のE1類、275はC類に相当する。漆12群・古墳時代中期前葉のものであろう。276～279は土師器高杯の杯部、280～285は脚部である。276は口縁部まで内湾気味の粗雑な作りのものである。283は脚部に工具で横溝の加飾を施している。286～300は土師器高杯である。287は直線的に開き端部を面取りする口縁部をもち、内外面に赤彩が施される。289は碗状の受部から外反する口縁部をもち、丁寧なミガキが施される。田嶋分類のB2類に相当する。293は杯部内面のミガキ調整を中央から放射状に行うことで加飾的な要素をもたせる。294は丁寧なミガキの後、内外面に赤彩を施している。295は脚部であるが、頸部から直線的に開き、裾部で短く屈曲する。298の杯部内面はハケ状工具で単位を区切って調整されており、加飾的要素と認識される。300は小型のもので、縦径2孔1対の透孔が認められる。301・302は台付鉢とした。301内面のミガキ処理は特徴的で、中心から弧を描く放射状に施されており、加飾的な要素が強い。302の内面も放射状のミガキが施されている。303～308は器台である。303はいわゆる小型器台で、透孔は3箇所確認できる。304は脚部に櫛描直線文を2条巡らせている。307は脚部と裾部の変化点に突帯をもつ。透孔は2孔1対で3箇所確認できる。308も同様に突帯をもち、突帯上にキザミを施す。透孔は2孔1対2箇所を確認できる。309は受部に透孔をもつ装飾器台である。310は鼓形器台である。311は須恵器甕で、細かな櫛描波状文が施されている。

312～319は土師器椀である。314は高台をもち、内面は黒色処理が施される。315～317はクロコ土師器椀で、317は柱状の高台をもつ。318・319は内面黒色土師器椀で、318は外面に赤彩処理がなされ、高台をもつ。320は内面黒色の鉢であろう。321はクロコ土師器皿である。322・323は白磁碗で、322は小片のためもう少し傾き太宰府分類Ⅱ-1類、323はⅣ-1a類に相当するか。ここで報告した土師器椀・皿・白磁類は重複するSD210からの混入と考えられる。324～326は土師器甕としたが、325は口縁形態とキザミ、櫛描波状文による加飾から壺とすべきか。324は口縁外面に擬凹線を巡らせ、内面には指頭圧痕が認められる。326は甕で、体部は中央部で大きく張り出す。327・328は山陰系の壺か。口縁下端に弱い突出が認められる。

329はミニチュアの土師器蓋である。330は大型の有段甕で、12条の擬凹線が施されている。331～333は土師器甕で、331は直線的な頸部と受口状の口縁部を持つ。334は甕か。浅い体部と短い口縁をもち、調整は粗い。335は土錘である。336は高杯の脚部を蓋として転用したもので、欠損断面が研磨されている。337は壺としたが、形状から甕形土師器の可能性が高い。338は高杯の杯部か。内面に丁寧なミガ

キ調整が施され、須恵器杯身の形状に似る。339は小型の器台で、透孔を4箇所確認できる。340は高杯で、裾部端に1条の沈線を巡らす。341～343は椀で、内外面ともにミガキ調整が施されている。

344は装飾壺で、口縁部のみ出土だが、内外面に櫛状工具を使用した華美な装飾が施される。345は壺の口縁部で、口縁下端を断面三角形に拡張し、擬凹線を巡らせたのち凹形浮文を貼り付けている。346は土師器甕である。347・348は高杯で、347は厚手の器壁を有し、内外面をミガキ調整とする。348は脚部で、透孔が3箇所確認できる。349は装飾器台で、受部下端拡張部に擬凹線を施し、赤彩が施される。359は器台の脚で、透孔は2孔1対3箇所に確認される。351は鉢か。体部中央に1条の凹みを設け上部と下部を区分けし、上部に篋状の工具を用いた綾杉状刺突で加飾するが全容は不明である。352は土師器の壺で、丁寧なミガキ調整が施されている。353～356はグリッドから3区出土の可能性がある。353は壺の肩部で、粗雑な櫛波状文と直線文で加飾される。354・355はミニチュア土器で、354は壺形、355は台付鉢で外面に線刻がある。356は有孔鉢の底部であるが、高杯杯部の転用か。357は須恵器蓋、358は須恵器杯身で、いずれも和泉陶器窯編年(田辺1981)のTK47～MT15形式が想定される。359は多孔の瓶である。外面には粗いハケ調整、内面にはケズリが見受けられ、孔13個が残存する。グリッドから3区出土のものか。360は土師器の甕である。厚手で、くの字状に外傾する口縁をもつ。361は須恵器の甕で、タタキ目の分類については外面が内堀分類(内堀1989)平行線文a類、内面は同心円文b類である。

362は器台とした。田嶋分類の壺F類と同様の口縁形態を持つが、口縁部が緩やかに内湾する。棒状浮文2条1対が確認できる。363は同様の口縁形態をもつ壺である。364は頸部にキザミ突帯を巡らす壺と判断した。弥生時代中期か。365は壺の体部破片か。外面に線刻が確認でき、絵画土器の可能性もある。366は土師器壺の口縁部で、端部を面取りし、綾杉状のキザミを巡らせる。367は突帯上キザミをもつ壺の頸部である。368は強く開く壺の口縁部で、キザミのある棒状浮文が2条確認できる。369は土師器壺形土器、370は土師器小壺、371は鉢である。371は無頸壺で、蓋装着用と考えられる孔が2孔1対2箇所に確認できる。373・374は土師器蓋で、丁寧なミガキ調整が施される。375は壺類の支脚である。376は高杯で、杯部と比して太い脚部である。377は直線状に開く器台の脚部で、透孔は3箇所確認できる。杯部を結合、充填した後に再穿孔している。

378は布留甕で、379は口唇部肥厚がわずかに認められる土師器甕である。380・381は縄文土器で、御経塚式期に属する。381は前出174と同一個体と思われる、突帯と刺突文が確認できる。382は土師器甕で、粗い作りで口縁部は外反する。383は土師器の丸底壺、384は口縁に段をもつ小壺、385・386は小壺である。387は鉢で、底部内面は厚く、指頭圧痕が認められる。388は大型の壺である。389は土師器有孔鉢の底部、390～392は土師器高杯である。390は杯部内面のミガキ調整が中心から弧を描く放射状に施されており、加飾性が強い。391・392は田嶋分類のH類に相当する。

393は直立気味の口縁に2条の沈線を巡らせる。弥生時代のものか。394は青磁染付皿か、高台内に染付で「洪武年造」の記載がある。395は龍泉窯系青磁碗で、太宰府分類のⅢ-1Bに相当する。13世紀代のものか。396・397は土師器小壺で古墳時代前期～中期、398は須恵器無台杯、399は瓦塔の屋蓋部である。方形の縁長押部、半截竹管状工具で作り出した丸瓦部が2面に残存し、中央部に設けられた穴の一部が確認できる。孔径は不明だが、7cm前後と想定すれば、縁長押内法で約13cm前後となる。4区大河跡からは当該期出土の遺物はほとんどなく、時期は不詳と言わざるを得ないが、既刊報告書(木曳野遺跡群Ⅳ～Ⅵ)で報告されている同一河川(主幹線1区SD303・同2区SD240・SD244・同3区SD201)からは田嶋編年(田嶋1988)Ⅲ期～Ⅳ期の遺物が多く報告されている。

401は粘板岩製の石庭丁か。402は蛇紋岩製の磨製石斧で、基部を欠損する。403は蛇紋岩製の磨製石斧で、基部から刃部にかけて幅広となる。404は全周に敲打痕の認められる敲石である。405は全面に使用痕のある流紋岩製の砥石である。406・407は施溝分割痕の残る変質流紋岩製の剥片である。408～410は凝灰岩製の打製石斧である。411は刃部を欠く磨製石斧、412は石英の剥片・413は変質流紋岩の

剥片である。414は変質流紋岩の石核、415は粘板岩の石核とした。416は擦痕から砥石としての用途が想定されるが、周囲全面に敲打痕が認められる。417は縄文時代の節彫形石器で、粗い調整が施されており、未成品と考えられる。418は安山岩製の砥石、419は安山岩製の打製石斧で、撥形を呈する。420は玄武岩製の打製石斧で基部を欠く。421は石錘で、括部に使用痕が明瞭である。422は被熱した安山岩で煤が付着しており、灰石と考えている。423は変質流紋岩製の剥片としたが、鐵形石製品未成品の可能性もある。424は石錘で、括部に使用痕がある。425～427は砥石で、426・427は凝灰岩製で中央部に線状の擦痕が残る。428は石錘で、使用痕が顕著である。429は砥石か。431・432は変質凝灰岩製の管玉で、いずれも両面穿孔である。433は変質蛇紋岩製の勾玉、434は碧玉製の丁字頭定形勾玉で、頭部を欠くが、孔部周囲に5条の施溝が確認できる。435・436は滑石製の勾玉である。437は蛇紋岩製の勾玉で、両面穿孔である。

441は銅鏃で、有茎式である。442は鉾鏃、443は鉄製であるが用途不明で鉄製品残欠とした。台付の円錐形を呈する。鏃か。444は鉄製の角釘である。445はシカの右肩甲骨で、焼灼痕は認められない。計測箇所は青谷上寺地遺跡Ⅲの計測法(井上2001)による。446はシカの右上腕骨で、445と同一個体と考えられる。447はシカか。448はイヌの頭骨である。中世犬、雑種犬か。448の同定結果は既刊「木曳野遺跡群Ⅰ」に掲載しているのでそちらを参照願いたい。

木製品は449・450・465～579が出土している。時間的には漠然とはあるが大河跡出土土器が参考になる。449は弓で、弦を突状に加工する。450は堅柱である。465は結菌式堅櫛で、黒漆で固められる。466～479は加工痕の残る板状・棒状の木製品である。467は木皿か。477は糸巻部材、479は履物の可能性がある。480～482は弓で、480・482には加工された弦が確認できる。494・495は同一個体と思われ、鏃であろうか。496は杓子状の木製品、500は薄い作りで篋状とした。508は棒状で、一端が薄く加工されており、杓子状か。511は工具等の柄である可能性がある。514は箸、522は櫛状を呈する。524は鏃ない楔であろう。525は桶の側板であると考えられ、上下を黒漆で装飾する。526は漆器の椀で、全面に黒漆が塗られている。527は建築部材と考えられる。屋根材か。528は折敷底板である。530は平面楕円形を呈し、槽とした。531は組合式の刀柄である。532は木錘である。533は弓で弦に造出が認められる。541～543はナスビ形の平鏃である。544は舟形で、軸先に細かな加工がみられる。545は湾曲した一材の両端を粗く削り、中央左右に挟りを加えてあるが、用途は不明である。546はタタリ基礎部材か。547～563は加工が認められる棒状・板状の木製品である。564は堅柱で中央部で欠損している。569は表面に挟り加工が認められ、容器の未成品と考えられる。565は篋状木製品の残欠か。570・571は靴である。双方ともに馬扶に沿って突帯を設け居木結束のための装置である方孔を穿っている。570は断片のため詳細は不明だが、571は後輪と考えている。573は平鏃であろうか。579は円形板で、桶か曲物の底板であろう。

## 第4節 遺構外

遺構外(第30図430) 430は4区包含層出土遺物で、粘板岩製の石剣断片である。研磨により両面に鏡部分を作り出す。刃部・基部の両端を欠損する。

## 第5節 補遺

過年度に刊行した報告書に掲載できなかった遺物について併せて報告する。主に木曳野遺跡群Ⅵで掲載できなかった木製品・金属製品であるが、その他のものもここで取り上げて報告する。出土した調査区・遺構等は第3表～第5表を参照願いたい。

寺中B遺跡、畝田・寺中遺跡1区・3区・県費分C区(第36図580～587・589～593、第37図) 580は土師器の甕で、くの字に屈曲する口縁部をもつ。581は無頸壺である。球胴で小さな底部をもつ。582は

柁目取りの木製盤。583は土師器高杯で、八の字状に延びる薄作りの脚部に透穴が認められる。584は高台をもつ須恵器壺の底部である。585は丸木に突帯を作り出した木製品で、栓か。586は高杯の受部を再加工した円盤状の土製品である。587は弓であろう。引は突起を削り出し穿孔する。589は土器の注口部を再加工したものと考えられ、再研磨されている。590はガラス玉である。591は鉄製の柄付刀子である。刃部の蛍光X線分析結果によると、成分はFe（鉄）、Ca（カルシウム）、Rb（ルビジウム）から成り、濃度(wt%) - 標準偏差 - 強度(cps/ $\mu$  A)はそれぞれFe: 99.40 - 0.06 - 188046, Ca: 0.49 - 0.06 - 0.081, Rb: 0.11 - 0.01 - 0.410である。柄材はスギである。592は挟りと穿孔がある木製品、593は鉄箸である。594は滑石製の勾玉、595・596は変質流紋岩製の管玉、597は翡翠の剥片だが大きさ等から勾玉の材と考えた。598は土師器蓋、599は須恵器の広口壺か。602・603はそれぞれ木錘・櫂であろうか。604は石錘、605・606は不明で、自然滓の可能性もある。607は鉄製の刀子で、刃部先端を欠損する。

2区出土土製品・金属製品(第38図) 608～626は土錘で、625・626は有孔土玉か。627～632は輪羽口。633は鉾滓、634は有茎の鉄鎌、635は鉄製刀子の刃部。636は元豊通宝、637は皇宗通宝である。

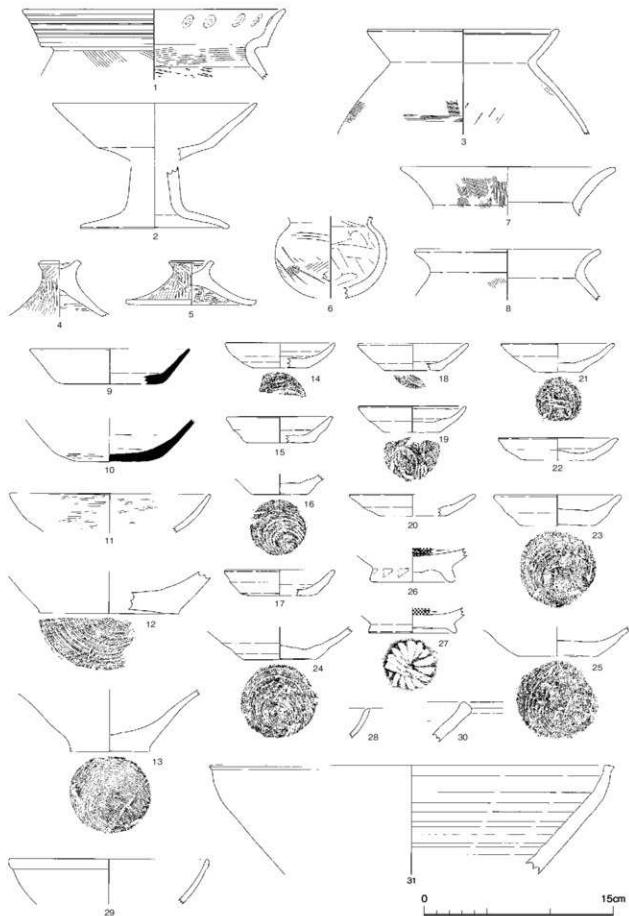
2区出土木製品(第36図588、第39図～41図) 588は角材か。639は先端を円柱状に削り出し下端に2つの孔を設ける棒状の木製品で、柄であろうか。646は飾板か。647は下駄の歯である。648は折敷で、4枚が残存している。650～653は箸状で、SE251から出土した。658・661・662・665も箸状木製品である。671は飾板であろうか。672は折敷または円形板、637は横槌である。678は木杵と考えられる。680は漆器蓋か。断面は半楕円形を呈し、中央部に孔を設け、裏面と思しき面に黒漆が残存する。682は鋏であろうか。683・691・699は弓の可能性もある。700は弓で、引を削り出して突帯状に作る。703は木杵であろうか。704は円形板で、外縁を削って段を設ける。桶の底板か。706は容器または椅子の用途が考えられる木製品である。707は杵または槌、708は何かの柄と考えられる。709はクスギ材の多又鋏で、柄には2つの方孔が確認できる。泥除具装着装置か。710は火鑽白で、使用痕は3箇所である。711～719は加工痕が確認できる棒状・板状の木製品である。720・721は雑具の部材であろう。722は漆器碗で、内外面黒漆である。732は農具の柄であろうか。733は紡織具部材、739は斎串である。741～743・745は円形板、744は曲物の櫛で、結束具としてサクラ類の樹皮が残る。742と同一か。749は井戸の圓板と考えられる。

## 再掲：鑑定対照表

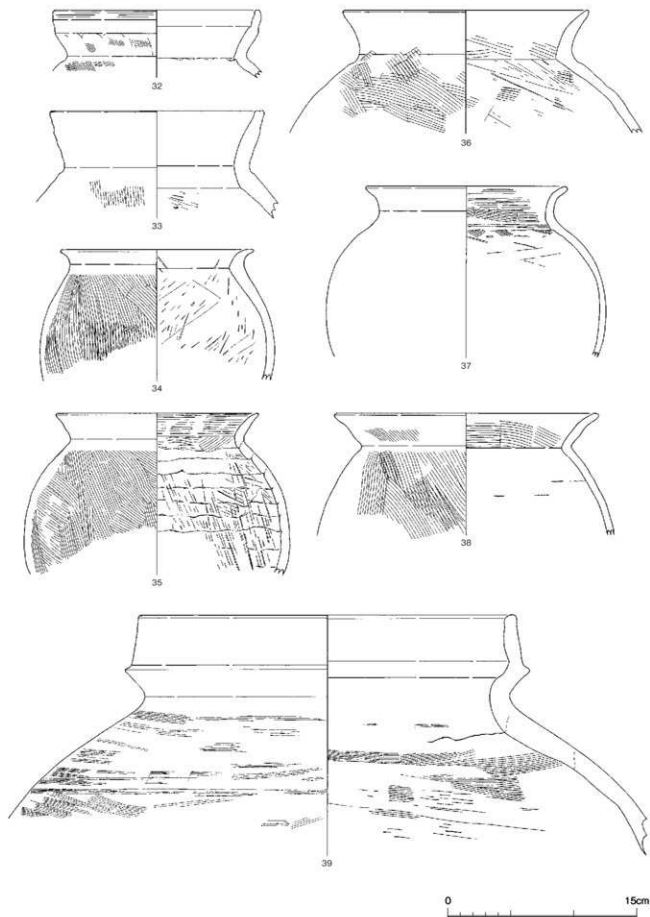
平成14年度～16年度にかけて行った木更野遺跡群発掘調査において出土した貝類・骨類、石製品の一部について、バリノ・サーヴェイ株式会社に委託し肉眼観察による種・材の鑑定を行っており、今回報告した遺構からの遺物も含まれている(第1分冊P18～29)。今回報告文についてここに再掲し、第1分冊との対照を図ることとした。なお、詳細については第1分冊を参照願いたい。

第2表 鑑定対照表

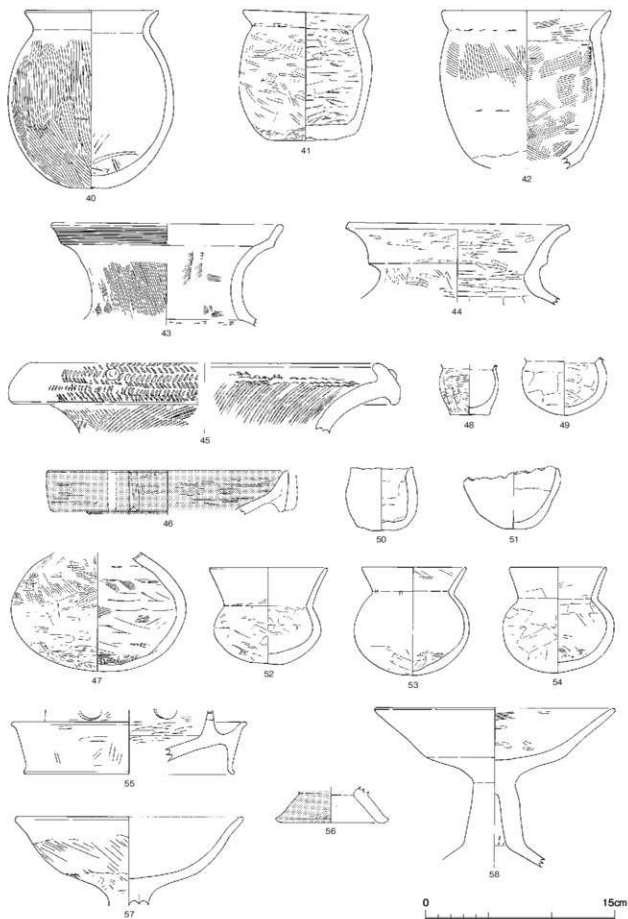
番号	器種	図版番号	対照表番号	鑑定	備考	実測番号	番号	器種	図版番号	対照表番号	鑑定	備考	実測番号
1	管玉	第30図-431	表18-10	変質凝灰岩	4区 W23 大河跡	Y25	7	勾玉	第30図-437	表19-2	蛇紋岩	4区 X21 大河跡	A48
2	管玉	第30図-432	表18-12	変質凝灰岩	4区 W25 大河跡	G20	8	鎌骨	第31図-448	表13-表15	イヌ	4区 W25 大河跡	H36
3	勾玉	第30図-433	表18-13	変質蛇紋岩	4区 W-X22 大河跡	G21	9	勾玉	第37図-594	表17-上段	滑石	寺中B通跡 4-2区 跡土	G15
4	丁字頭 変形勾玉	第30図-434	表18-6	碧玉	4区 W24 大河跡	A53	10	管玉	第37図-595	表17-中段	変質流紋岩	寺中B通跡 4-2区 SO28	G22
5	勾玉	第30図-435	表18-7	滑石	4区 W24 大河跡	Y24	11	管玉	第37図-596	表17-中段	変質流紋岩	寺中B通跡 4-2区 SO25	G23
6	勾玉	第30図-436	表18-11	滑石	4区 W23 大河跡	N17	12	勾玉 未成品	第37図-597	表17-下段	翡翠	寺中B通跡 4-2区 SO28	N18



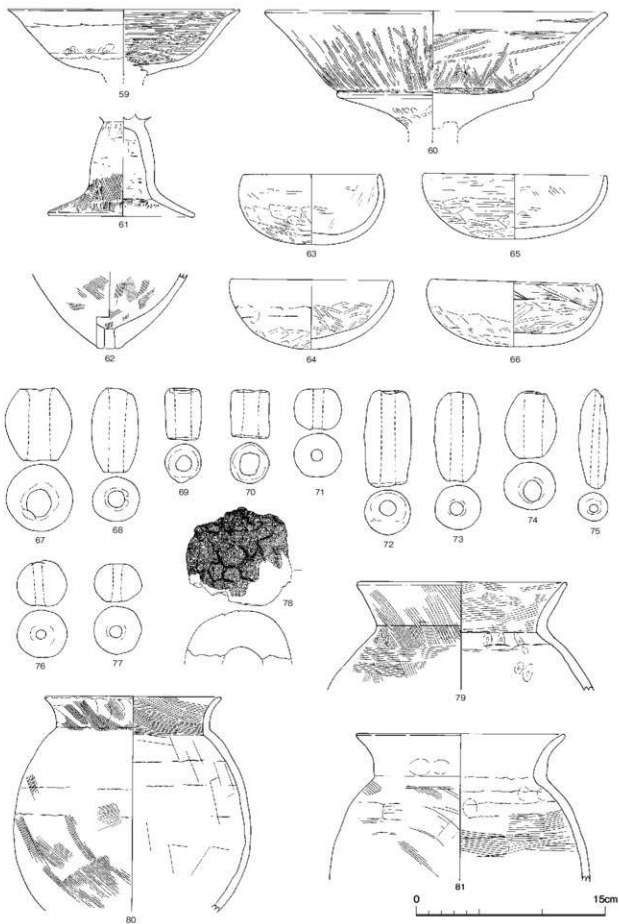
第 8 图 SK200・P200・SD210 出土遺物 (S = 1/3)



第9図 大河跡 (W25) 出土遺物 (S = 1/3)



第10図 大河跡 (W25) 出土遺物 (S = 1/3)

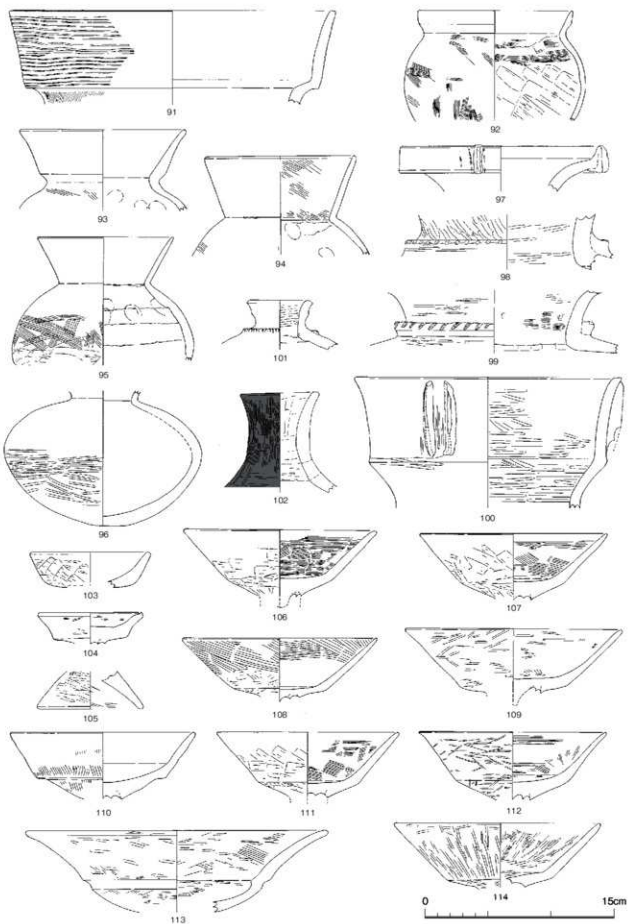


第 11 図 大河跡 (W25・W24) 出土遺物 [S = 1/3]

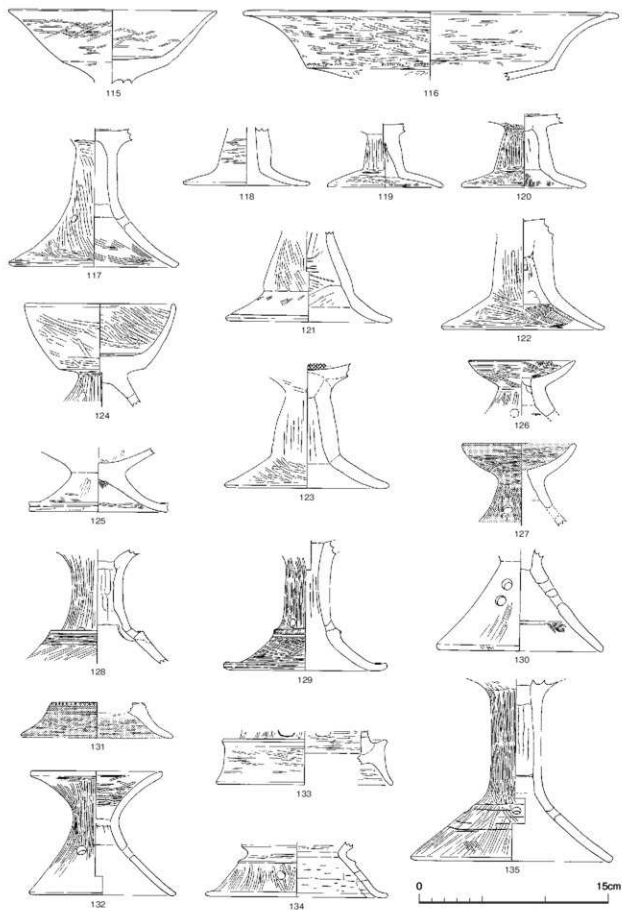




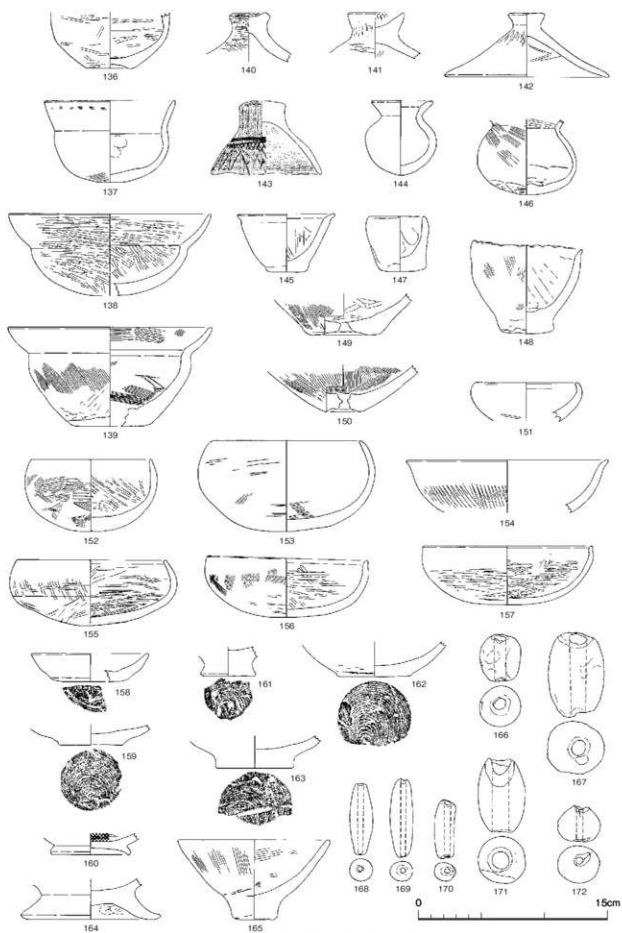
第12図 大河跡 (W24) 出土遺物 (S = 1/3)



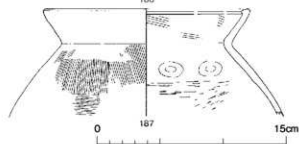
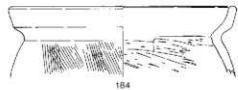
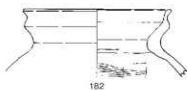
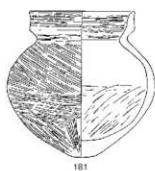
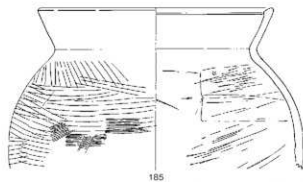
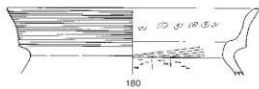
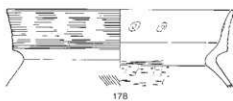
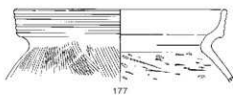
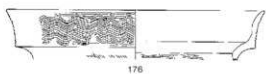
第13図 大河跡 (W24) 出土遺物 (S = 1/3)



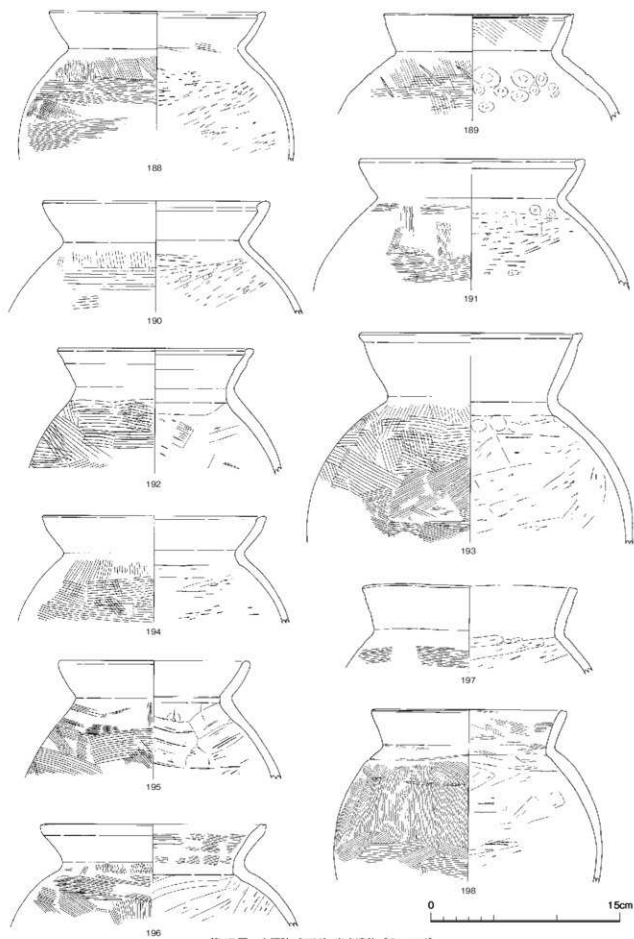
第 14 图 大河跡 (W24) 出土遺物 (S = 1/3)



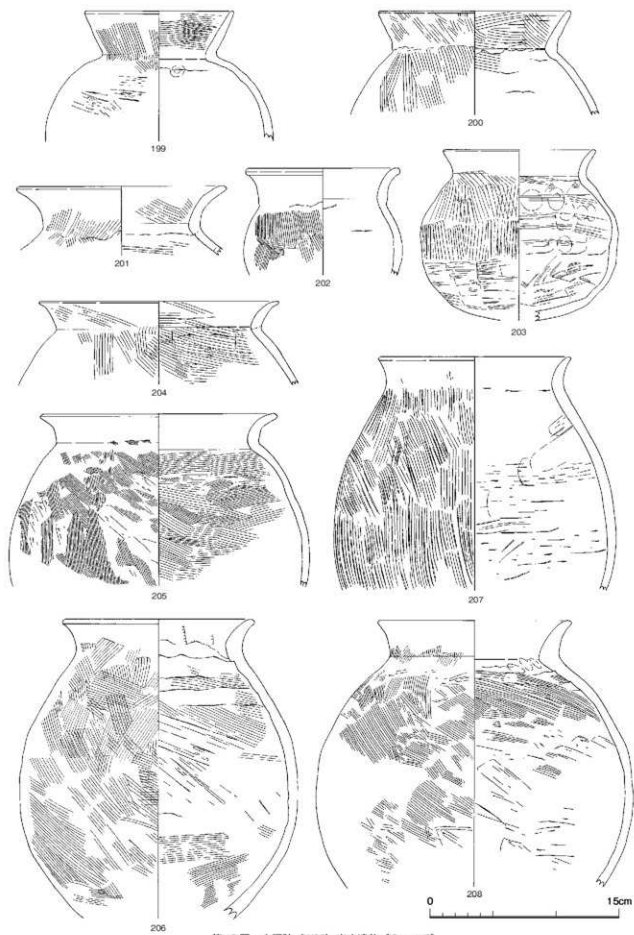
第15圖 大河跡 (W24) 出土遺物 (S = 1/3)



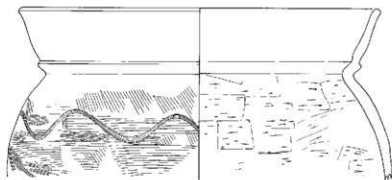
第 16 图 大河跡 (W23) 出土遺物 (S = 1/3)



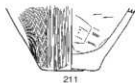
第17図 大河跡 (W23) 出土遺物 (S = 1/3)



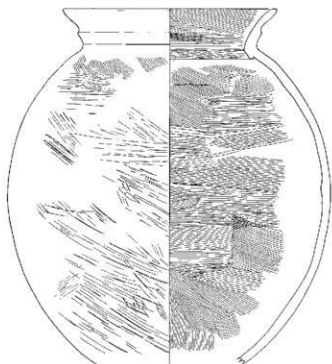
第18図 大河跡 (W23) 出土遺物 (S = 1/3)



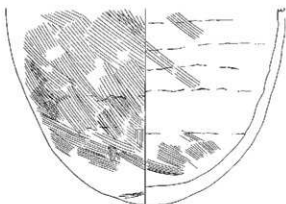
209



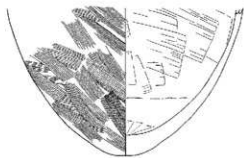
211



210



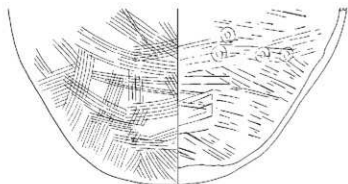
214



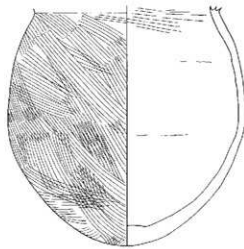
215



212



213

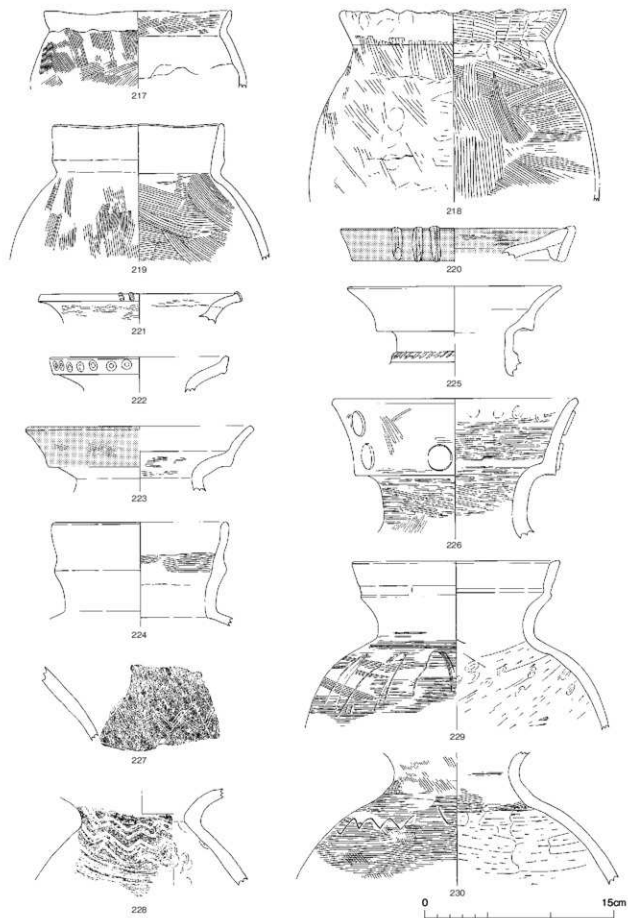


216

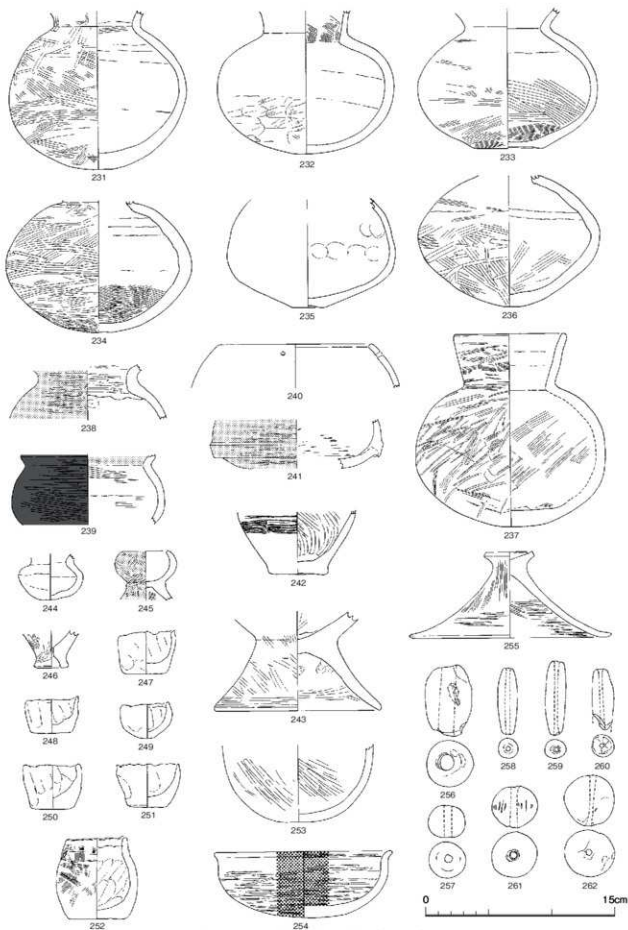


第19圖 大河跡 (W23) 出土遺物 (S = 1/3)

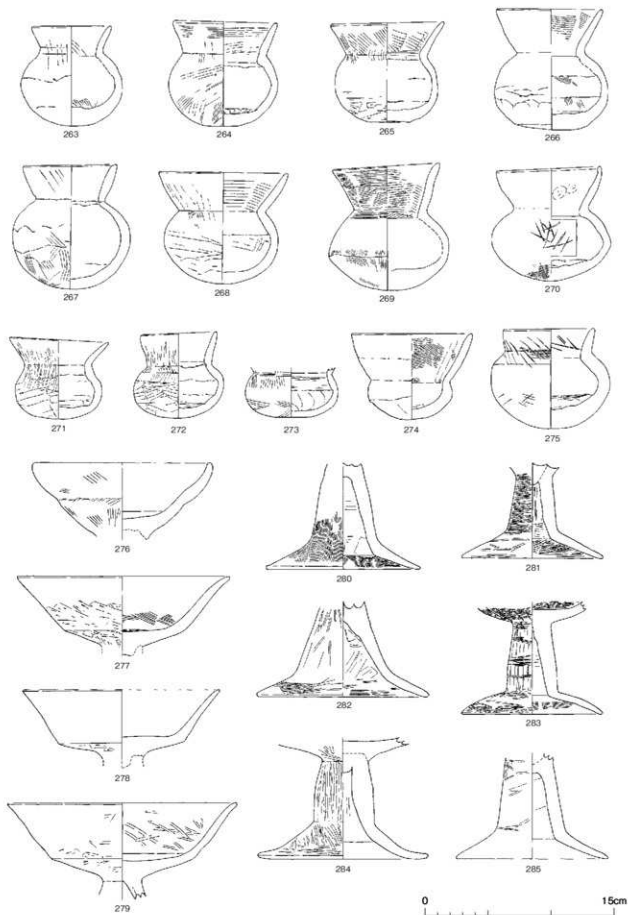




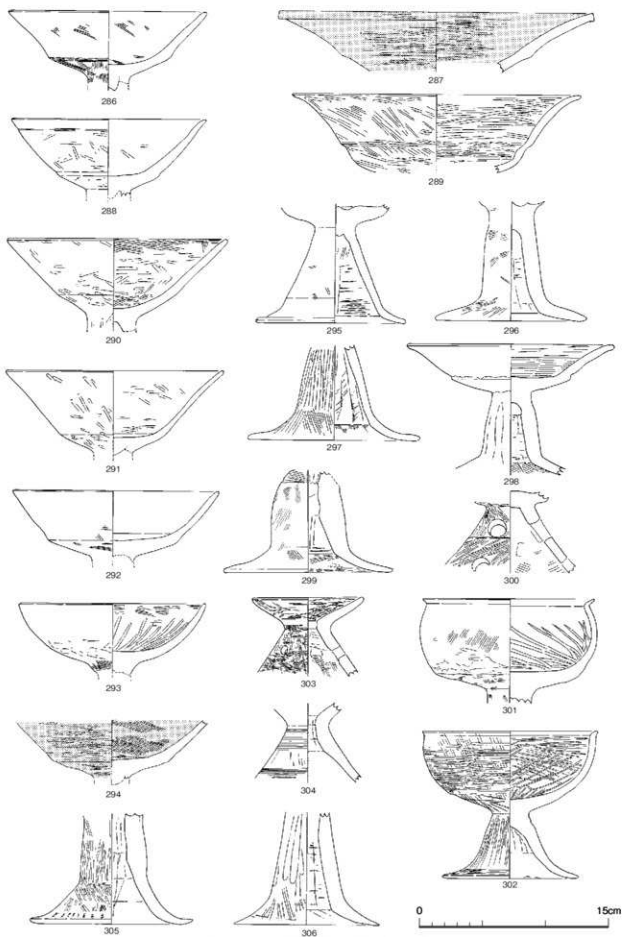
第20图 大河跡 (W23) 出土遺物 (S = 1/3)



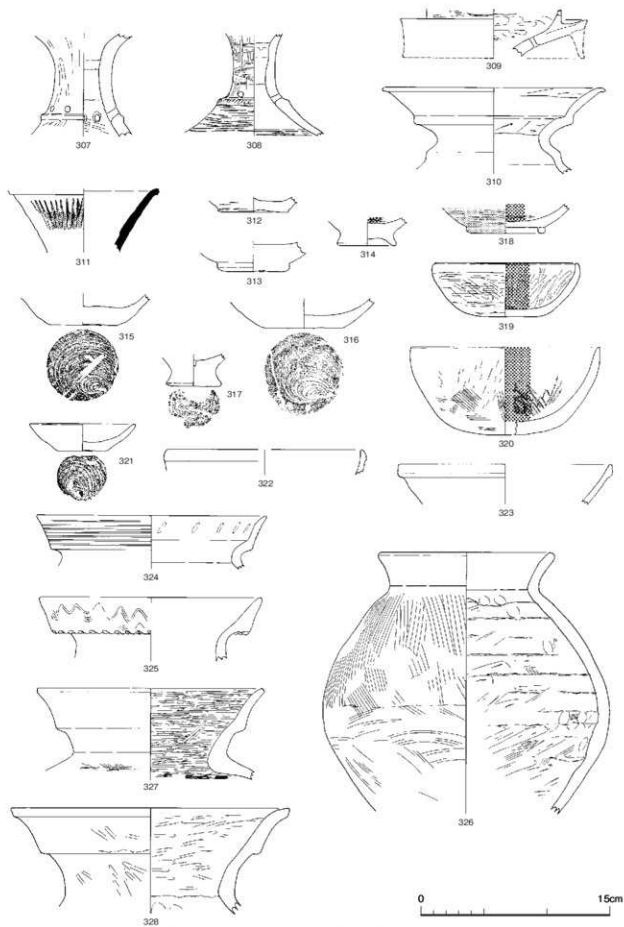
第 21 図 大河跡 (W23) 出土遺物 (S = 1/3)



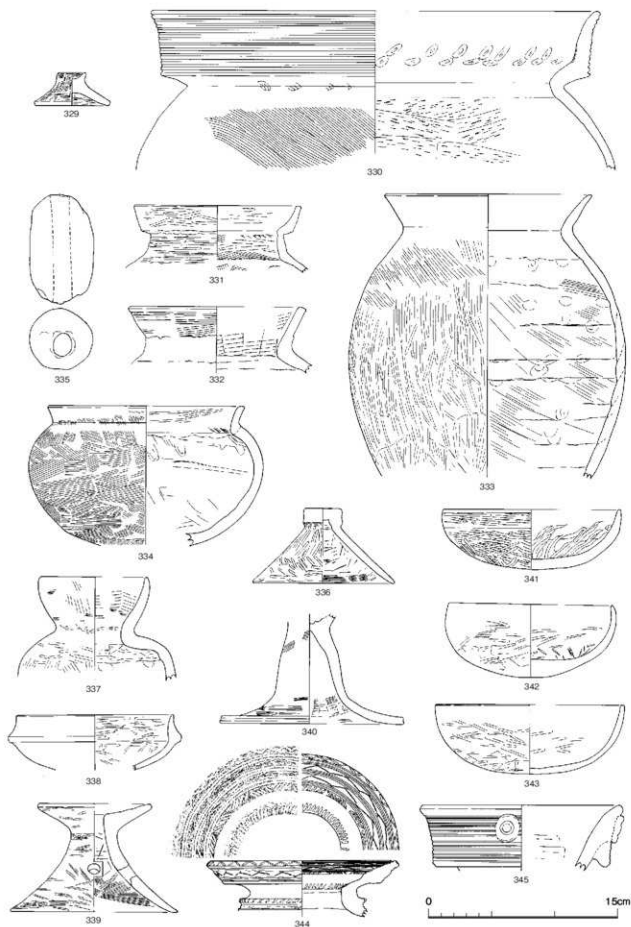
第 22 図 大河跡 (W23) 出土遺物 (S = 1/3)



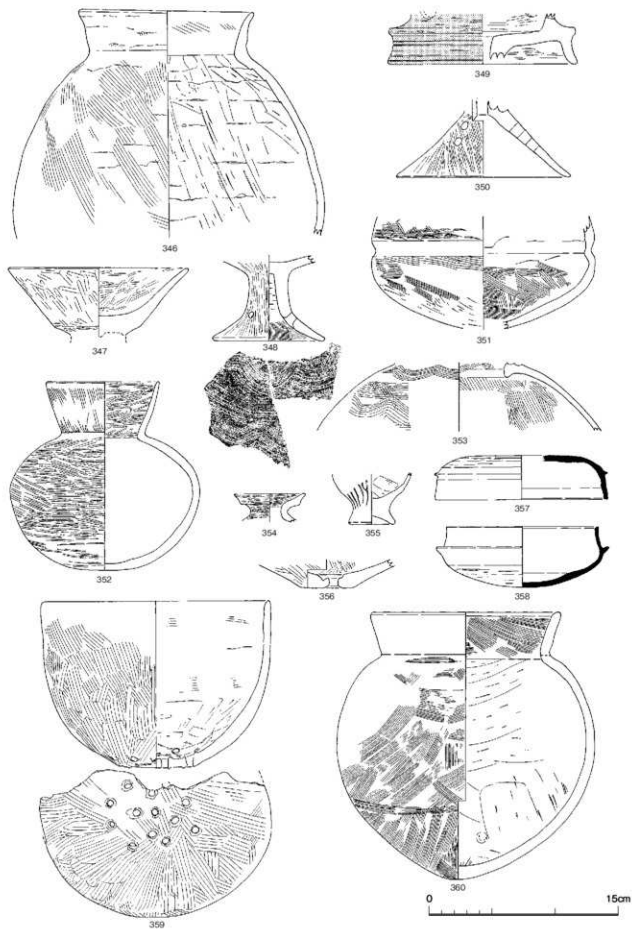
第 23 図 大河跡 (W23) 出土遺物 (S = 1/3)



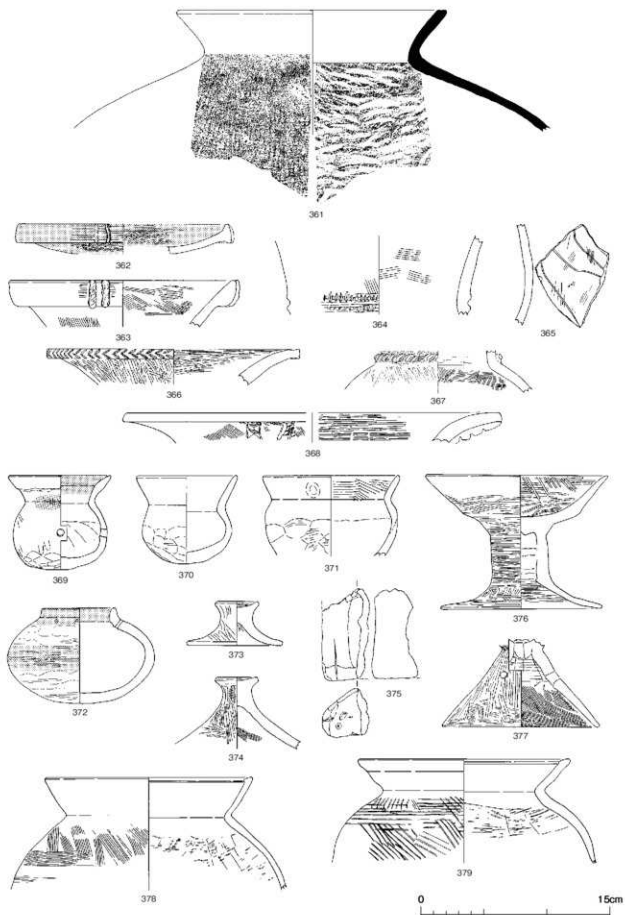
第24図 大河跡 (W23・W22・W) 出土遺物 (S = 1/3)



第25图 大河跡 (X24・X22・WX22) 出土遺物 (S = 1/3)

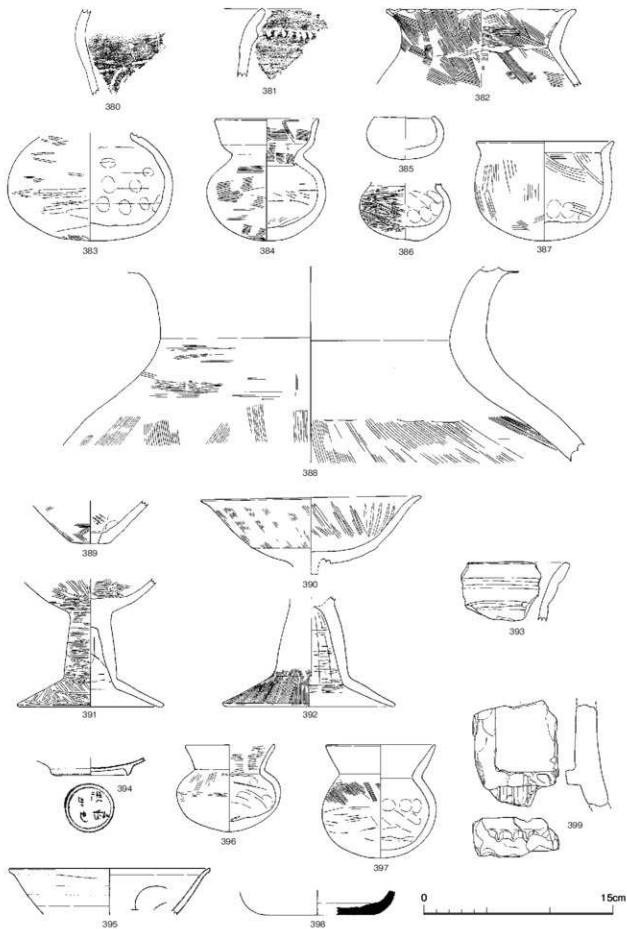


第26图 大河跡 (W·X22 · X21 · X20 · Y22) 出土遺物 (S = 1/3)

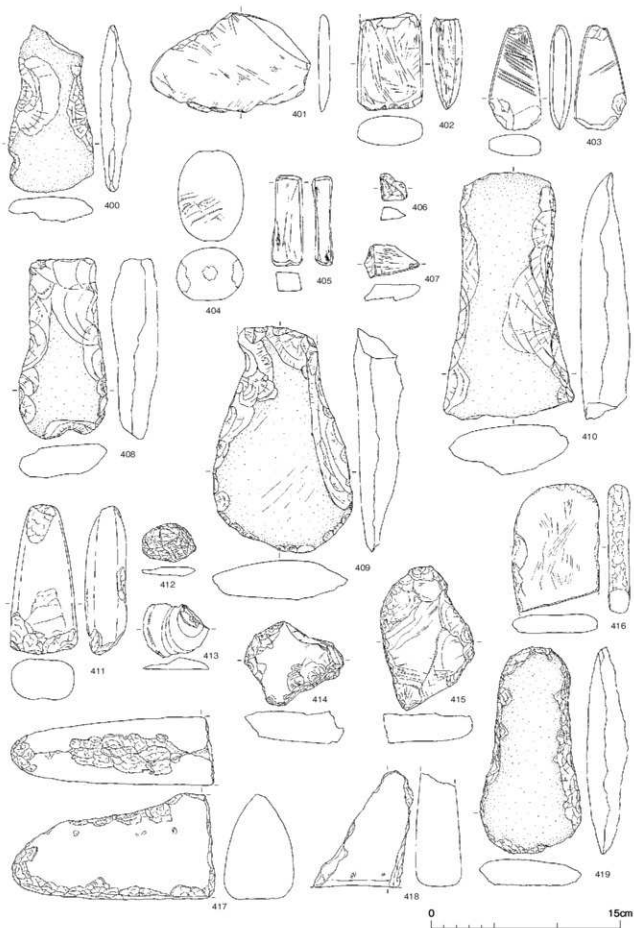


第27図 大河跡 (Y22・北半・中央畦) 出土遺物 (S = 1/3)





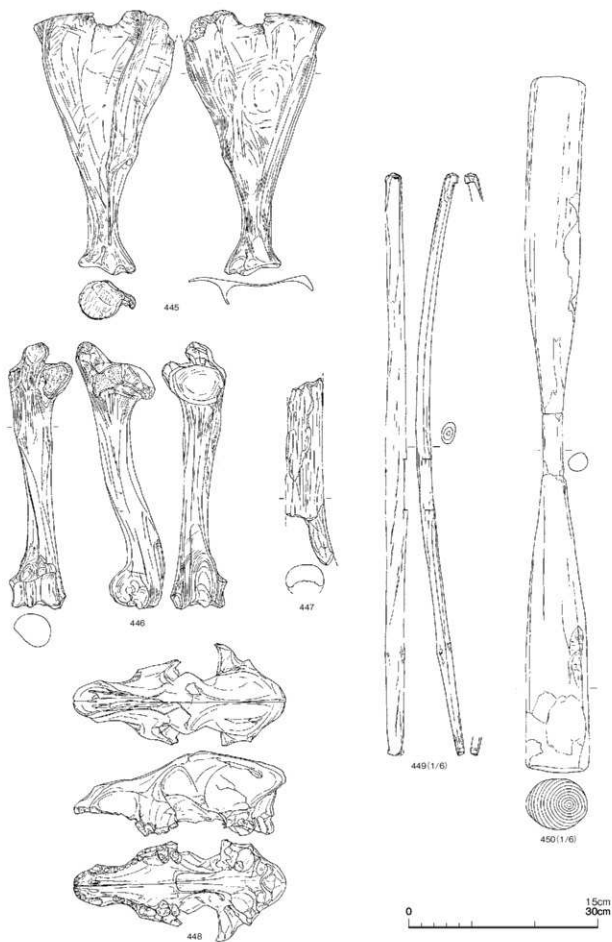
第 28 圖 大河跡 (中央哇・南平・不明) 出土遺物 (S = 1/3)



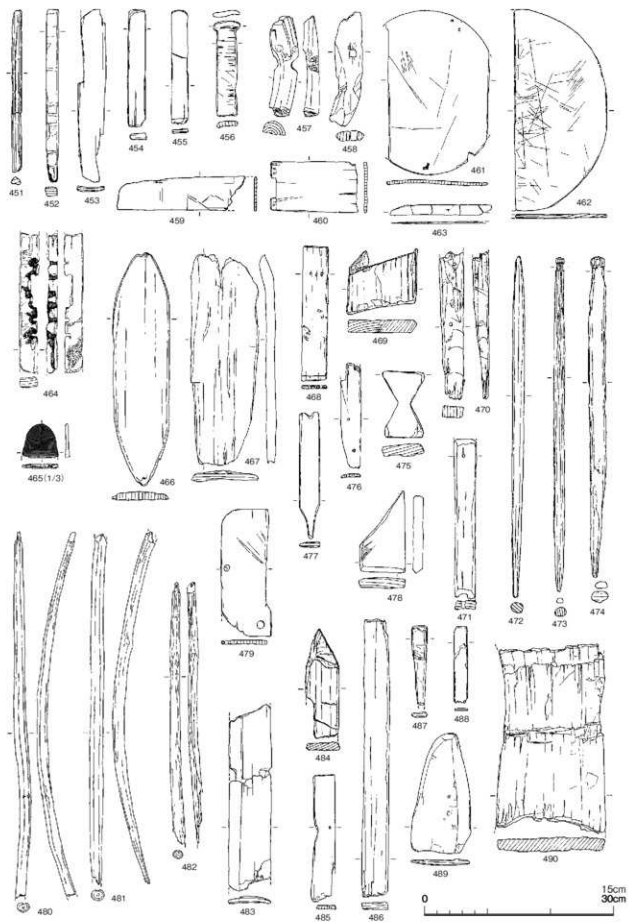
第29図 SD210・大河跡 (W25・W24・W23) 出土石製品 (S=1/3)



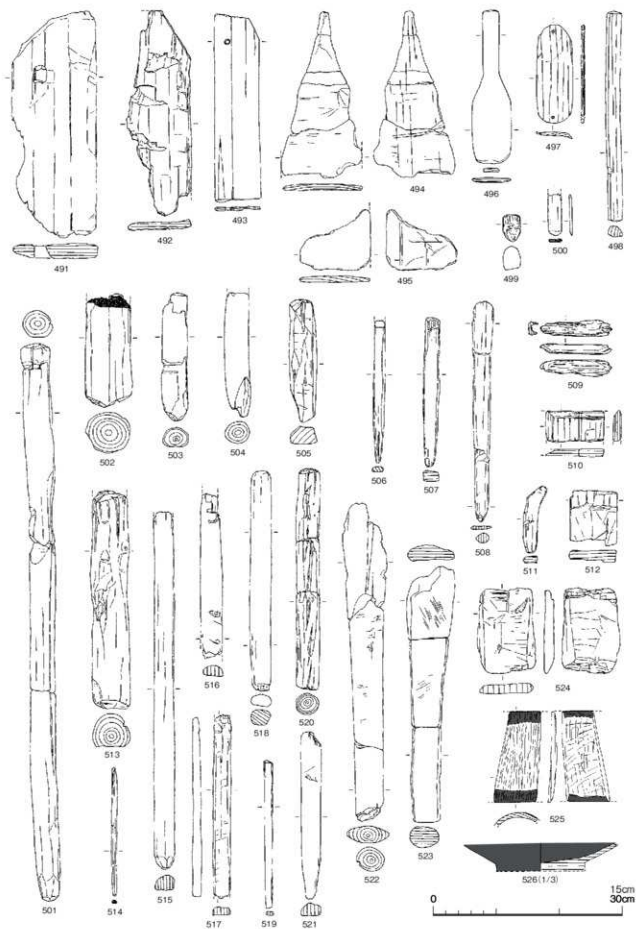
第30圖 大河跡(W25-W24-WX22-X21・北半・中央畦・南半)・SD210・包含層出土石製品・金屬製品(S=1/3・1/2)



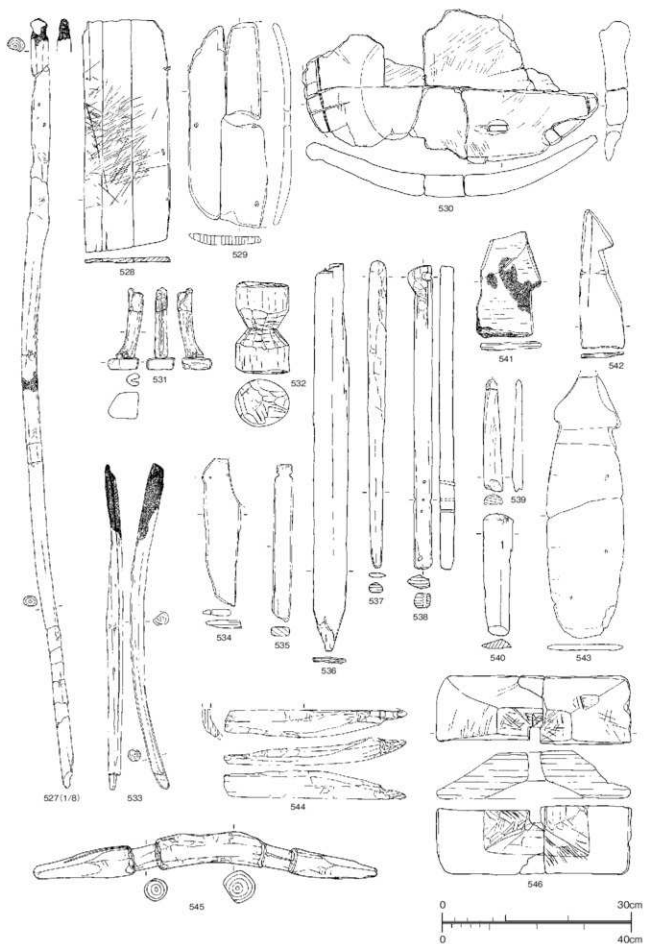
第31图 大河跡 (W25・W23) 出土骨・木製品 (S = 1/3・1/6)



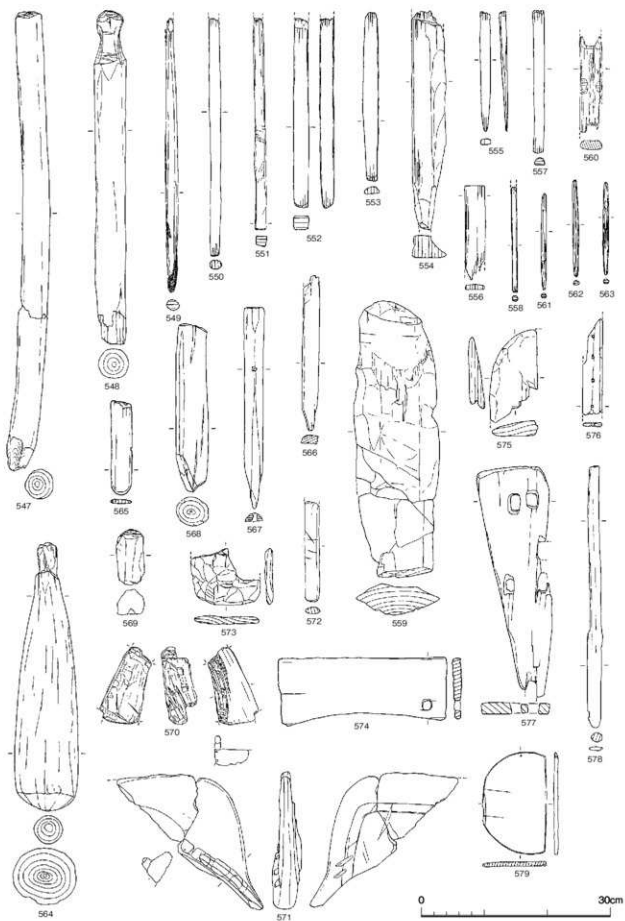
第 32 图 SD210・大河跡 (W25・W24) 出土木製品 [S = 1/6・1/3]



第33图 大河跡 (W24・W23) 出土木製品 [S = 1/6・1/3]

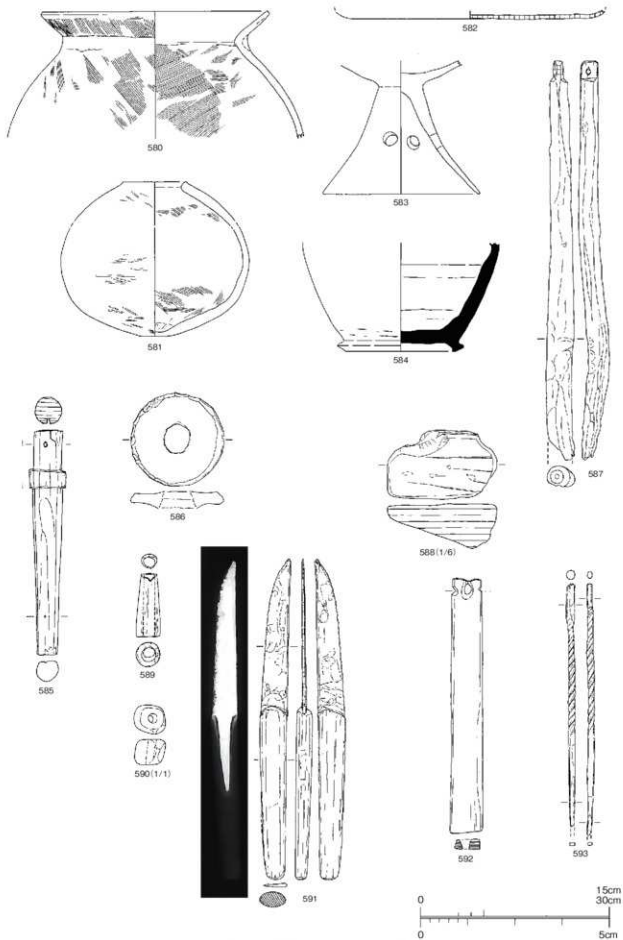


第34圖 大河跡 (W24・W23・W22・WX22・X22・X21・Y21) 出土木製品 (S = 1/6・1/8)

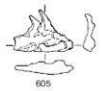
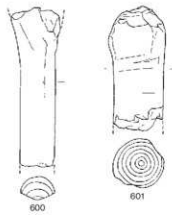
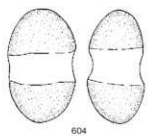
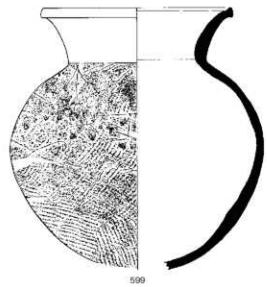
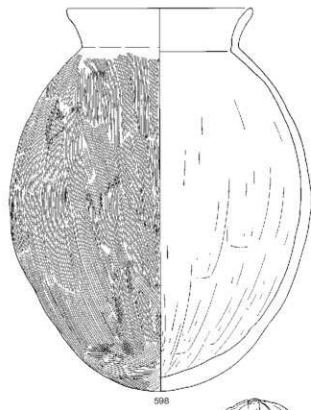
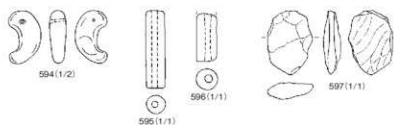


第35图 大河跡 (W25~W21·W-X22·X22·X20·Y22·北半·中央畦·南半) 出土木製品 (S=1/6)

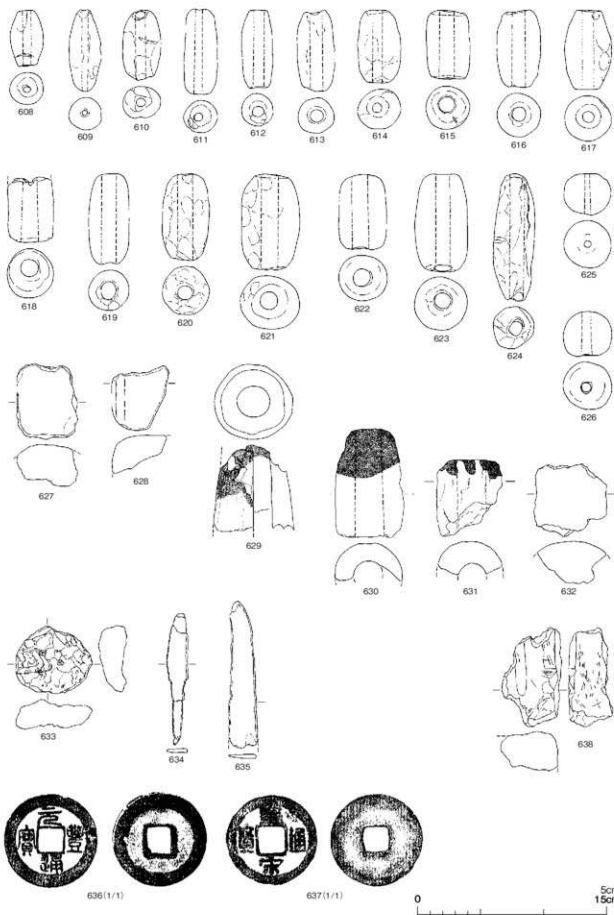




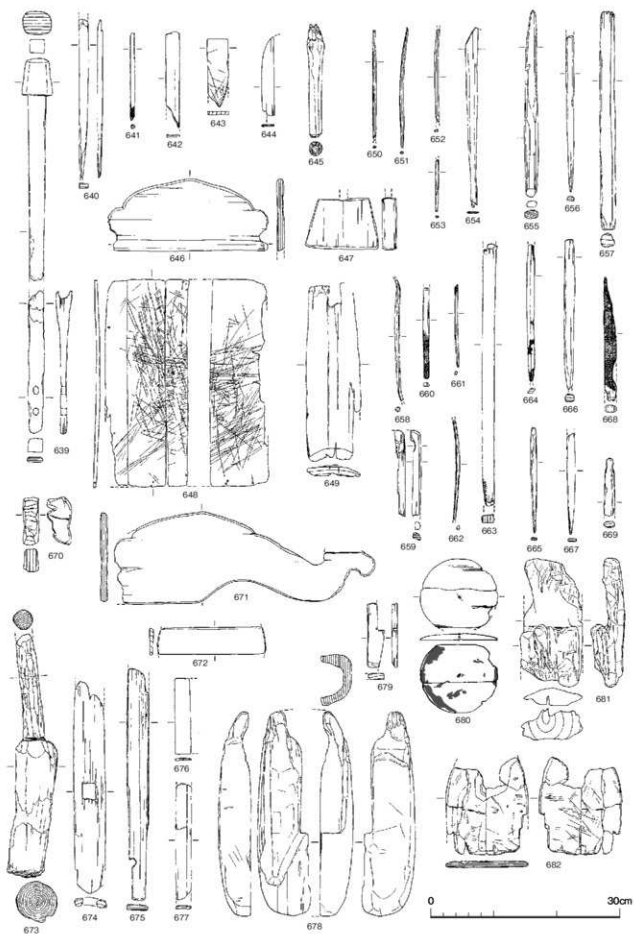
第36図 補遺 (S = 1/3 · 1/1 · 1/6)



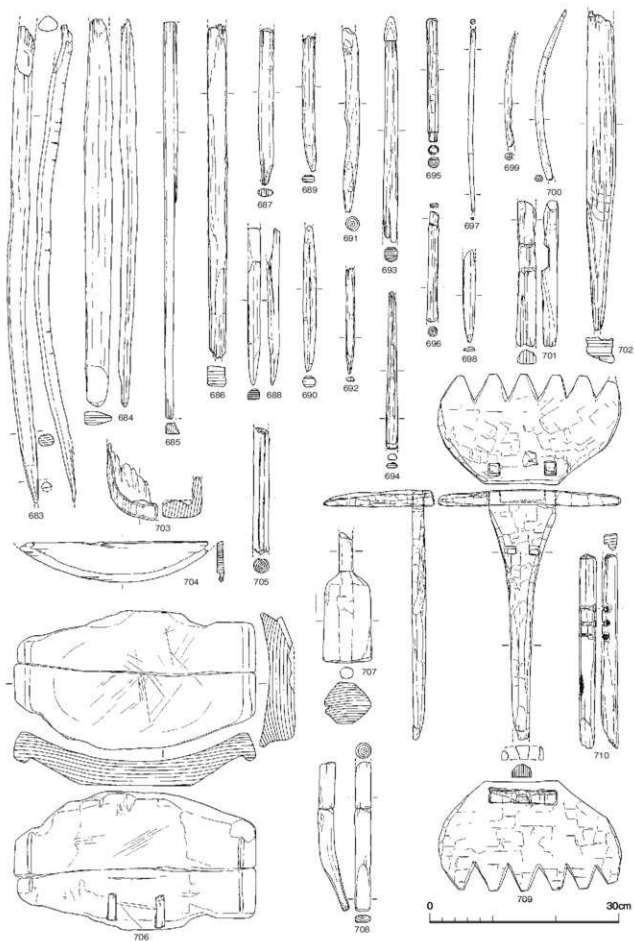
第37圖 補遺 [S = 1/3 · 1/1 · 1/2 · 1/6]



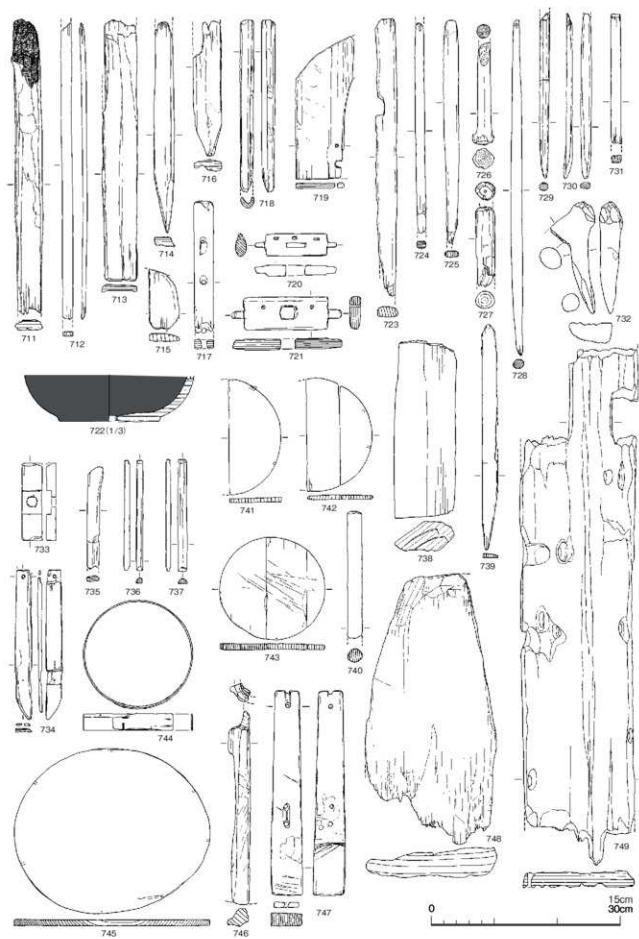
第38図 補遺 (S = 1/3 · 1/1)



第39图 补遗 (2区: SD303·SD222·SE251·SD240出土木製品) (S=1/6)



第40图 捕遺(2区:SD244出土木製品)(S=1/6)



第41圖 補遺(2区:SD244・SD303出土木製品)(S=1/6・1/3)

第3表 土器・土製品観察表

図録番号	名称	規格	寸法(mm)				製作年代	産地	胎土				胎體				色澤		備考	図録番号
			口径	高さ	胴径	底径			胎土	胎土	胎土	胎土	胎土	胎土	胎土	胎土	胎土	胎土		
8	4R-V24 SK200	土製器 壺	206	(56)			158	Q	○	○	線刻線	ハケ	ナデ	ハケ+ナデ	2.5Y8-3 淡黄褐色	2.5Y8-3 淡黄褐色	内面黒土層 縁面刻線7筋	T406		
	4R-V24 SK200	土製器 高杯	160	(100)	118		Q15-12 黄12/12	○	△	○	摩滅	摩滅	摩滅	摩滅	摩滅	2.5Y8/4 淡黄褐色	2.5Y8/4 淡黄褐色		T407	
	4R-V24 SK200	土製器 壺	150	(84)			116	Q3-12	○	○	ナデ	ハケ	ナデ	ナデ	10Y8/4 淡黄褐色	7.5Y8/4 淡黄褐色	内面障子層	T405		
	4R-W22 SD210	土製器 壺	(45)		線34	26	黄12/12	○	△	2.5Y8-3 淡黄褐色	2.5Y8-3 淡黄褐色	2.5Y8-3 淡黄褐色	2.5Y8-3 淡黄褐色	2.5Y8-3 淡黄褐色	2.5Y8-3 淡黄褐色	2.5Y8-3 淡黄褐色		H20		
	4R-W22 SD210	土製器 小壺	103	35	線36	28	黄12/12 黄11/12	○	△	2.5Y8-3 淡黄褐色	2.5Y8-3 淡黄褐色	2.5Y8-3 淡黄褐色	2.5Y8-3 淡黄褐色	2.5Y8-3 淡黄褐色	2.5Y8-3 淡黄褐色	2.5Y8-3 淡黄褐色		H21		
	4R-W22 SD210	土製器 小壺	(85)	88	64		黄5-12	△	△			ハケ+ナデ	ナデ	10Y8/3 淡黄褐色	7.5Y8/4 淡黄褐色		H22			
	4R-W22 SD210	土製器 壺	167	(36)			117	Q1-12	○			ハケ	ナデ	ナデ	2.5Y8-3 淡黄褐色	10Y8/3 淡黄褐色		H24		
	4R-W22 SD210	土製器 壺	144	(41)			122	Q1-12	○	○	摩滅	ハケ	摩滅	ナデ	7.5Y8/4 淡黄褐色	7.5Y8/1 黄褐色		H26		
	4R-W22 SD210	土製器 壺	124	28	82		Q3-12 黄12/12	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	F145
	4R-W22 SD210	土製器 壺	(35)		76		黄12/12	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	F144
	4R-W22 SD210	土製器 壺	158	(32)			Q1-12	○		2.5Y8-1 黄褐色	2.5Y8-1 黄褐色	2.5Y8-1 黄褐色	2.5Y8-1 黄褐色	2.5Y8-1 黄褐色	2.5Y8-1 黄褐色	2.5Y8-1 黄褐色		F150		
	4R-W22 SD210	土製器 壺	(34)		112		黄3-12	○		ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	黄赤切	黄赤切	黄赤切	黄赤切		F146	
	4R-W21 SD210	土製器 壺	(56)		63		黄12/12	○	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	黄赤切	10Y8/4 淡黄褐色	10Y8/4 淡黄褐色		F130		
	4R-W21 SD210	土製器 壺	86	20	48		Q2-12 黄12/12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	黄赤切	2.5Y7-3 淡黄褐色	2.5Y7-3 淡黄褐色		F138		
	4R-W21 SD210	土製器 壺	82	21	50		Q4-12 黄12/12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y7-3 淡黄褐色	2.5Y6-2 淡黄褐色		F141		
	4R-W22 SD210	土製器 壺	(13)		44		黄12/12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	黄赤切	10Y8/4 淡黄褐色	10Y8/4 淡黄褐色		F131		
	4R-W22 SD210	土製器 壺	85	21	60		Q5-12 黄12/12	○	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10Y8/4 淡黄褐色	10Y8/4 淡黄褐色		F139		
	4R-W22 SD210	土製器 壺	85	22	45		Q2-12 黄12/12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	黄赤切	2.5Y7-3 淡黄褐色	2.5Y7-3 淡黄褐色	外周黒土層	F136		
4R-W22 SD210	土製器 壺	84	21	44		Q2-12 黄12/12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	黄赤切	10Y8/4 淡黄褐色	2.5Y7/4 淡黄褐色		F135			
4R-W21 SD210	土製器 壺	98	18	52		Q2-12 黄12/12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10Y8/2 淡黄褐色	10Y8/2 淡黄褐色		F142			
4R-W22 SD210	土製器 壺	88	23	38		Q1-12 黄10/12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10Y8/2 淡黄褐色	10Y8/4 淡黄褐色		F134			
4R-W22 SD210	土製器 壺	92	18	59		Q1-12 黄12/12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y8-4 淡黄褐色	7.5Y8/4 淡黄褐色		F140			
4R-W22 SD210	土製器 壺	98	25	60		Q1-12 黄12/12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	黄赤切	10Y8/2 淡黄褐色	10Y8/2 淡黄褐色		F133			
4R-W22 SD210	土製器 壺	(26)		59		黄12/12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	黄赤切	10Y8/2 淡黄褐色	10Y8/2 淡黄褐色	内面黒土層	F132			
4R-W22 SD210	土製器 壺	(24)		62		黄11/12	△	○	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	黄赤切	10Y8/4 淡黄褐色	10Y8/4 淡黄褐色		F129			
4R-W22 SD210	土製器 壺	(27)		67		黄9-12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y7-2 淡黄褐色	2.5Y3-1 黄褐色	内面黒土層	F143			
4R-W22 SD210	土製器 壺	(15)		70		黄3-12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	黄赤切	10Y8/3 淡黄褐色	10Y8/3 淡黄褐色	内面黒土層	F137			
4R-W22 SD210	土製器 壺	(140)	(29)			Q1-12	○							10Y8-1 淡黄褐色	10Y8-1 淡黄褐色		F11			
4R-W22 SD210	土製器 壺	156	(36)			Q1-12	○							10Y8-2 淡黄褐色	10Y8-2 淡黄褐色		F149			
4R-W22 SD210	土製器 壺	(31)				Q1-12 黄12/12	○	○						2.5Y7-1 淡黄褐色	2.5Y7-1 淡黄褐色		F148			
4R-W22 SD210	土製器 壺	313	(87)			Q2-12	○		ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	黄赤切	黄赤切		F147			
9	4R-W25 大天部	土製器 天部	158	(54)			142	Q3-12	○	△	ハケ+ナデ	ハケ	ナデ	ナデ	10Y8/4 淡黄褐色	10Y8/4 淡黄褐色		T271		
	4R-W25 大天部	土製器 天部	168	(85)	146		Q3-12	○	△	ナデ	ハケ	ナデ	ナデ	2.5Y7-3 淡黄褐色	2.5Y7-3 淡黄褐色		T272			
	4R-W25 大天部	土製器 天部	150	(104)	186		Q9-12	○	△	○	ナデ	ハケ	ナデ	ナデ	2.5Y8-3 淡黄褐色	2.5Y4-1 黄褐色	内面黒土層	T149		
	4R-W25 大天部	土製器 天部	158	(128)	210		Q3-12	○	△	△	ナデ	ハケ	ハケ	ナデ	2.5Y7-3 淡黄褐色	10Y8/4 淡黄褐色	内面障子層	T154		
	4R-W25 大天部	土製器 天部	192	(98)			Q1-12 黄12/12	○	○	ナデ	ハケ	ハケ	ハケ+ナデ	10Y8/4 淡黄褐色	10Y8/4 淡黄褐色	内面黒土層	T273			
	4R-W25 大天部	土製器 天部	156	(136)	222		138	Q3-12	○	○	ナデ	ナデ	ハケ+ナデ	ナデ	7.5Y8/1 黄褐色	2.5Y7-2 淡黄褐色	内面障子層	T148		
	4R-W25 大天部	土製器 天部	204	(96)			196	Q1-12 黄12/12	○	△	△	ハケ+ナデ	ハケ	ナデ+ハケ	2.5Y3-1 黄褐色	10Y8/3 淡黄褐色	内面障子層	T142		
	4R-W25 大天部	土製器 天部	298	(191)			200	Q1-12	○	△	ナデ	ハケ	ナデ	ハケ+ナデ	10Y8/1 淡黄褐色	10Y8/1 淡黄褐色	内外障子層	T242		
	4R-W25 大天部	土製器 天部	104	141	130	31	92	Q2-12	○	△	△	ナデ	ハケ	ナデ	ナデ+ナデ	ハケ	10Y8/2 淡黄褐色	2.5Y7-2 淡黄褐色	内面障子層	T147
10	4R-W25 大天部	土製器 天部	98	102	104	78	88	Q7-12 黄12/12	△	△	ナデ	ハケ+ナデ	ナデ	ナデ	10Y8/6 黄褐色	10Y8/7 黄褐色	内面障子層	F153		
	4R-W25 大天部	土製器 天部	132	(126)	130		121	Q1-12	△	△	△	ナデ	ハケ+ナデ	ハケ+ナデ	ハケ+ナデ	7.5Y8/2 淡黄褐色	10Y8/4 淡黄褐色	内面障子層	T150	
	4R-W25 大天部	土製器 天部	180	(81)			118	Q3-12	○	○	線刻線	ナデ+ハケ	ナデ	ハケ+ナデ	7.5Y8/4 淡黄褐色	7.5Y8/4 淡黄褐色	内面障子層	T260		

第3表 土器・土製品観察表 (1)

図説	番号	通称	形状	寸法 (mm)				透存係数	土質		図型				色調		備考	調査番号		
				口径	高さ	底径	底厚		口径内径	口径外径	胴部外径	口径内径	口径外径	底径内径	底径外径	外面			内面	
10	44	4E-W25 大列鉢	土製鉢	172	(64)			121	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 裏面	F156
	45	4E-W25 大列鉢	土製鉢		(56)				○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 裏面	S471
	46	4E-W25 大列鉢	土製鉢	190	(35)				○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 裏面	S470
	47	4E-W25 大列鉢	土製鉢		(95)	139	19		○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	外面部分付	F155
	48	4E-W25 大列鉢	土製鉢 ミニチュア		(40)	46	31	42		○	△	△	△	△	△	△	△	△	裏面	F168
	49	4E-W25 大列鉢	土製鉢 ミニチュア		(46)	67	8	60		○	△	△	△	△	△	△	△	△	裏面	F169
	50	4E-W25 大列鉢	手裡土器	48	50	56	38		○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	外面部分付	F171
	51	4E-W25 大列鉢	手裡土器	74	45		12		○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	外面部分付	F170
	52	4E-W25 大列鉢	土製鉢 小壺	92	77	84	23	70		○	△	△	△	△	△	△	△	△	外面部分付	F154
	53	4E-W25 大列鉢	土製鉢 小壺	81	86	91	10	64		○	△	△	△	△	△	△	△	△	外面部分付	F151
54	4E-W25 大列鉢	土製鉢 小壺	76	84	88	4	63		○	△	△	△	△	△	△	△	△	外面部分付	F152	
55	4E-W25 大列鉢	土製鉢 小壺		(51)			187		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 内面一部部分付	F190	
56	4E-W25 大列鉢	土製鉢 高杯		(29)			83	54		○	△	△	△	△	△	△	△	外面部分付	F167	
57	4E-W25 大列鉢	土製鉢 高杯		(69)			37		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	F166	
58	4E-W25 大列鉢	土製鉢 高杯		(100)			33		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	F191	
11	59	4E-W25 大列鉢	土製鉢 高杯		(53)				○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付	S445
	60	4E-W25 大列鉢	土製鉢 高杯		(94)				○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付	S450
	61	4E-W25 大列鉢	土製鉢 高杯		(78)			156		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付	F169
	62	4E-W25 大列鉢	土製鉢 乳鉢		(81)			14		○	△	△	△	△	△	△	△	△	外面部分付	T151
	63	4E-W25 大列鉢	土製鉢 乳鉢		(56)			18		○	△	△	△	△	△	△	△	△	外面部分付	F163
	64	4E-W25 大列鉢	土製鉢 乳鉢		(28)			12		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	F161
	65	4E-W25 大列鉢	土製鉢 乳鉢		(51)			19		○	△	△	△	△	△	△	△	△	外面部分付	F165
	66	4E-W25 大列鉢	土製鉢 乳鉢		(52)			76		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	F166
	67	4E-W25 大列鉢	土製鉢		(57)			52		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	F193
	68	4E-W25 大列鉢	土製鉢		(37)			36		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	F194
69	4E-W25 大列鉢	土製鉢		(29)			31		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	F199	
70	4E-W25 大列鉢	土製鉢		(38)			33		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	F200	
71	4E-W25 大列鉢	土製鉢		(32)			30		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	F201	
72	4E-W25 大列鉢	土製鉢		(76)			27		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	F197	
73	4E-W25 大列鉢	土製鉢		(71)			35		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	F196	
74	4E-W25 大列鉢	土製鉢		(54)			41		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	F195	
75	4E-W25 大列鉢	土製鉢		(78)			22		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	F198	
76	4E-W25 大列鉢	土製鉢		(36)			39		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	F202	
77	4E-W25 大列鉢	土製鉢		(30)			37		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	F203	
78	4E-W25 大列鉢	土製鉢		(82)			(30)		○	△	△	△	△	△	△	△	△	外面部分付	T408	
79	4E-W24 大列鉢	土製鉢		(85)			135		○	△	△	△	△	△	△	△	△	外面部分付	T141	
80	4E-W24 大列鉢	土製鉢		(171)			168		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	E140	
81	4E-W24 大列鉢	土製鉢		(116)			137		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	E141	
12	82	4E-W24 大列鉢	土製鉢		(125)			134		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	E142
	83	4E-W24 大列鉢	土製鉢		(78)			149		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	T145
	84	4E-W24 大列鉢	土製鉢		(222)			204		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	T143
	85	4E-W24 大列鉢	土製鉢		(180)			156		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	N33
	86	4E-W24 大列鉢	土製鉢		(219)			196		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	T142
	87	4E-W24 大列鉢	土製鉢		(102)			140		○	△	△	△	△	△	△	△	△	内外面部分付 外面部分付	T140

第3表 土器・土製品観察表(2)



国産	番号	通称	形状	寸法 (mm)				存在感	触手		模様						色調		備考	基準番号	
				口径	高さ	筒径	筒壁厚		筒底厚	筒底径	砂	骨	口縁外面	胴部外面	口縁内面	胴部内面	底部外面	外面			内面
12	88	4R-W24 大径線	土製線 盤	148	(107)			134	□3:12	○	△	ハケ→ナデ	ハケ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y8.3 淡黄色	2.5Y8.3 淡黄色	外面濃茶色 外面濃茶色	T130
	89	4R-W24 大径線	土製線 盤	168	(117)			147	□6:12	○	△	ナデ	ハケ	ナデ	ナデ	ナデ	7.5Y8-4 濃黄色	10Y8-3 淡黄色	口縁濃茶色 外面濃茶色	E135	
	90	4R-W24 大径線	土製線 盤	166	(141)	222		140	□3:12	○	△	ナデ	ハケ→ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	7.5Y87-6 褐色	7.5Y87-6 褐色	外面輝付茶	T144	
13	91	4R-W24 大径線	土製線 盤	258	(78)				□1:12	○	△	縦線	ハケ→ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	5YR8-2 灰黄色	10YR8-2 淡黄色	外面輝付茶	S472	
	92	4R-W24 大径線	土製線 盤	122	(87)			112	D4:12	○	△	ナデ	ハケ	ナデ	ハケ→ナデ	10Y87-4 淡黄色	2.5Y87-1 黄灰色	外面輝付茶	E139		
	93	4R-W24 大径線	土製線 盤	130	(64)			88	□3:12	○	△	ナデ	ハケ→ナデ	ナデ	ナデ	10Y96-3 淡黄色	10Y96-3 淡黄色	外面輝付茶	E138		
	94	4R-W24 大径線	土製線 盤	118	(78)			89	D4:12	△	△	ナデ	ハケ→ナデ	ハケ→ナデ	ナデ	10Y98-3 淡黄色	10Y98-4 淡黄色	外面輝付茶	E197		
	95	4R-W24 大径線	土製線 盤	108	(98)	144		72	D4:12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y8-4 淡黄色	2.5Y7-2 黄灰色	内面全面濃茶 内面全面濃茶	E147		
	96	4R-W24 大径線	土製線 盤		(107)	150	20	52	□2:12	○	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	5YR7-3 淡黄色	7.5Y96-1 黄灰色	外面濃茶色	E140		
	97	4R-W24 大径線	土製線 盤	158	(37)				□1:12	○	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y7-3 淡黄色	2.5Y7-3 淡黄色	黄褐色	S475		
	98	4R-W24 大径線	土製線 盤		(45)			156	□4:12	○	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	7.5Y87-4 淡黄色	10Y88-2 灰白色	黄褐色	S477		
	99	4R-W24 大径線	土製線 盤		(50)			140	□1:12	○	○	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	5YR7-2 淡黄色	5YR7-2 淡黄色	黄褐色	S474		
	100	4R-W24 大径線	土製線 盤	210	(104)			146	□1:12	○	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	7.5Y86-6 淡黄色	7.5Y86-6 淡黄色	口縁全面濃茶 外面全面濃茶	S442		
101	4R-W24 大径線	土製線 盤	46	(37)				□12:12	△	△	ナデ	ナデ	ハケ	ナデ	ナデ	2.5Y7-4 淡黄色	2.5Y6-1 黄灰色	黄褐色	T168		
102	4R-W24 大径線	土製線 盤	62	(79)			49	□6:12	△	△	ハケ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10Y1-7/1 黒色	10Y92-3 黒色	外面濃茶 外又土色	S438		
103	4R-W24 大径線	土製線 盤	90	28			40	D5:12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10Y98-6 淡黄色	10Y98-6 淡黄色	黄褐色	E134		
104	4R-W24 大径線	土製線 高杯	80	(25)				□7:12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10Y98-3 淡黄色	10Y98-4 淡黄色	外面濃茶色	F180		
105	4R-W24 大径線	土製線 高杯		(30)		81	39	□12:12	○	○	ナデ	ハケ	ナデ	ハケ→ナデ	ナデ	7.5Y87-4 淡黄色	7.5Y87-4 淡黄色	外面濃茶色	T284		
106	4R-W24 大径線	土製線 高杯	150	(62)				□12:12	○	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10Y88-2 灰白色	7.5Y87-2 淡黄色	外面濃茶色	F182		
107	4R-W24 大径線	土製線 高杯	147	(53)				□12:12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y8-4 淡黄色	2.5Y7-3 淡黄色	外面濃茶色	F185		
108	4R-W24 大径線	土製線 高杯	152	(50)				□12:12	○	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y8-3 淡黄色	10Y98-3 淡黄色	外面濃茶色	F181		
109	4R-W24 大径線	土製線 高杯	170	(80)				D5:12	○	○	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y8-4 淡黄色	7.5Y84-2 淡黄色	外面濃茶色	F179		
110	4R-W24 大径線	土製線 高杯	144	(53)				□10:12	○	○	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10Y97-6 淡黄色	7.5Y87-6 淡黄色	外面濃茶色	F183		
111	4R-W24 大径線	土製線 高杯	147	(52)				□6:12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y8-4 淡黄色	2.5Y7-4 淡黄色	外面濃茶色	F177		
112	4R-W24 大径線	土製線 高杯	146	(54)				□11:12	○	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	7.5Y87-3 淡黄色	10Y96-3 淡黄色	外面輝付茶 二次焼物	F186		
113	4R-W24 大径線	土製線 高杯	235	(65)				□3:12	○	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10Y87-4 淡黄色	10Y87-3 淡黄色	外面濃茶色	F175		
114	4R-W24 大径線	土製線 高杯	161	(51)				□9:12	○	○	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10Y96-2 淡黄色	10Y95-3 淡黄色	内外面濃茶色	F178		
14	115	4R-W24 大径線	土製線 高杯	163	(59)				D5:12	○	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y7-3 淡黄色	2.5Y7-4 淡黄色	外面濃茶色	F184	
	116	4R-W24 大径線	土製線 高杯	276	(54)				D8:12	○	○	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	7.5Y88-3 淡黄色	7.5Y88-3 淡黄色	外面濃茶色	F176	
	117	4R-W24 大径線	土製線 高杯		(110)	128	33	86	6:12	○	○	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y8-4 淡黄色	10Y88-4 淡黄色	黄褐色	T274	
	118	4R-W24 大径線	土製線 高杯		(45)	96	32	81	11:12	△	○	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10Y96-6 淡黄色	10Y87-4 淡黄色	内外面輝付茶	T280	
	119	4R-W24 大径線	土製線 高杯		(50)	90	25	81	11:12	○	○	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10Y98-3 淡黄色	10Y98-3 淡黄色	外面濃茶色	T281	
	120	4R-W24 大径線	土製線 高杯		(59)	96	32	89	12:12	○	○	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10Y87-3 淡黄色	10Y87-3 淡黄色	内外面濃茶色	T278	
	121	4R-W24 大径線	土製線 高杯		(72)	130	41	84	11:12	○	○	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	5YR8-5 淡黄色	5YR8-5 淡黄色	外面濃茶色	T282	
	122	4R-W24 大径線	土製線 高杯		(68)	124	44	83	12:12	○	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10Y87-4 淡黄色	10Y85-3 淡黄色	内外面濃茶色	T277	
	123	4R-W24 大径線	土製線 高杯		(99)	126	36	83	12:12	△	○	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	7.5Y96-4 淡黄色	7.5Y96-4 淡黄色	内外面土色 外面濃茶色	T275	
	124	4R-W24 大径線	土製線 高杯	116	(82)			38	□2:12	△	○	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	5YR7-6 褐色	5YR7-6 褐色	外面輝付茶 鉄粉孔	T276	
	125	4R-W24 大径線	土製線 高杯		(51)	108	42	88	12:12	○	○	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	5YR4-2 灰黄色	5YR4-2 灰黄色	内外面濃茶色	T279	
	126	4R-W24 大径線	土製線 高杯		(44)	82		36	□3:12	○	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	10Y87-6 淡黄色	5YR4-2 灰黄色	黄褐色 黄褐色	S434	
	127	4R-W24 大径線	土製線 高杯		(65)	88		37	□2:12	○	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	5YR6-6 淡黄色	5YR6-6 淡黄色	黄褐色 黄褐色	S435	
	128	4R-W24 大径線	土製線 高杯		(85)	40		81	12:12	△	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	7.5Y88-6 淡黄色	7.5Y88-6 淡黄色	黄褐色 黄褐色	S433	
	129	4R-W24 大径線	土製線 高杯		(103)	120	36	88	12:12	○	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	7.5Y88-6 淡黄色	7.5Y88-6 淡黄色	黄褐色 黄褐色	S432	
	130	4R-W24 大径線	土製線 高杯		(75)	130	32	81	11:12	○	○	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	7.5Y87-6 淡黄色	7.5Y87-6 淡黄色	黄褐色 黄褐色	S431	
	131	4R-W24 大径線	土製線 高杯		(28)	118		81	11:12	○	△	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	2.5Y9G-6 褐色	10Y6-6 淡黄色	内外面濃茶 ナデ	S473	

第3表 土器・土製品観察表 (3)





図説	番号	通称	形状	寸法 (mm)				透存部	胎土		胎體				胎色		備考	基準番号	
				口径	底径	高さ	口縁高さ		口径内面	胎土	口径外面	胎体外面	口径内面	胎体外面	口径内面	胎体外面			外面
20	220	4E-W23 大列鉢	土製露色	180	(28)			□2-12	○	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	2.5Y7/4 淡赤褐色	2.5Y7/4 淡赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	SH19	
	221	4E-W23 大列鉢	土製露色	154	(24)			□2-12	○	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	10YR7/6 赤褐色	2.5Y7/4 淡赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	F173	
	222	4E-W23 大列鉢	土製露色	136	(28)			□3-12	○	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	10YR6/6 赤褐色	10YR6/4 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	F204	
	223	4E-W23 大列鉢	土製露色	175	(51)		100	□2-12 底12	○	△	ハケーナテ	ハケーナテ	ハケーナテ	ハケーナテ	2.5Y7/4 淡赤褐色	2.5Y8/2 黄褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	T190	
	224	4E-W23 大列鉢	土製露色	136	(77)			□1-11/2	○	△	ナテ	ナテ	ハケーナテ	ハケーナテ	10YR7/6 赤褐色	10YR7/6 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	SH18	
	225	4E-W23 大列鉢	土製露色	168	(62)			□2-12	○	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	10YR6/6 赤褐色	7.5YR7/4 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	SH15	
	226	4E-W23 大列鉢	土製露色	194	(106)			□2-12	○	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	10YR7/6 赤褐色	2.5Y8/4 淡赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	SH14	
	227	4E-W23 大列鉢	胎生土製 露色					胎形	○	△	露底	露底	ハケ	ハケ	10YR6/6 赤褐色	2.5Y4/1 黄褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	SH12	
	228	4E-W23 大列鉢	胎生土製 露色				94	胎形	△	△	ナテ	露底	露底	露底	10YR6/6 赤褐色	10YR6/6 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	SH12	
	229	4E-W23 大列鉢	土製露色	162	(133)			□2-12	○	△	ナテ	ハケ	ナテ	ナテ	10YR6/6 赤褐色	10YR6/6 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	SH12	
	230	4E-W23 大列鉢	土製露色	(100)			100	胎形	○	△	ハケ	ハケ	ハケーナテ	ハケーナテ	10YR6/6 赤褐色	10YR6/6 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	SH12	
	21	231	4E-W23 大列鉢	土製露色	(126)	140	20	68	底12/12	○	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	5YR7/6 褐色	5YR4/1 黄褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	EE188
232		4E-W23 大列鉢	土製露色	(113)	140	14	68	底12/12	○	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	2.5Y8/4 淡赤褐色	2.5Y8/4 淡赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	EE187	
233		4E-W23 大列鉢	土製露色	(111)	142	52	67	底12/12	○	△	ハケーナテ	ハケーナテ	ナテ	ハケ	2.5Y8/4 淡赤褐色	2.5Y6/6 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	EE186	
234		4E-W23 大列鉢	土製露色	(104)	146	20	55	底12/12	○	△	ハケーナテ	ハケーナテ	ナテ	ハケ	7.5YR8/4 赤褐色	7.5YR8/4 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	EE185	
235		4E-W23 大列鉢	土製露色	(86)	134	24		底12/12	○	△	露底	ハケーナテ	露底	ハケ	7.5YR6/6 赤褐色	2.5Y8/4 淡赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	EE184	
236		4E-W23 大列鉢	土製露色	(104)	144	9	47	底12/12	○	△	ハケーナテ	ハケーナテ	ナテ	ハケ	2.5Y7/6 赤褐色	2.5Y6/2 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	EE183	
237		4E-W23 大列鉢	土製露色	86	153	150	10	72	胎形	△	○	ハケーナテ	ハケーナテ	ナテ	ナテ	7.5YR8/6 赤褐色	7.5YR8/6 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	EE183
238		4E-W23 大列鉢	土製露色	(44)			78	胎形	△	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	10M4/4 赤褐色	10YR6/6 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	T196	
239		4E-W23 大列鉢	土製露色	(56)	120		100	胎形	△	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	10YR2/3 暗赤褐色	2.5Y7/4 淡赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	T191	
240		4E-W23 大列鉢	土製露色	120	(35)			□1-12	○	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	10YR6/6 赤褐色	10YR7/6 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	T244	
241		4E-W23 大列鉢	土製露色	139	(37)			胎形	△	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	2.5YR6/6 赤褐色	2.5Y5/1 黄褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	T194	
242		4E-W23 大列鉢	土製露色	(50)			42	底12/12	○	△	ハケーナテ	ハケーナテ	ナテ	ナテ	2.5Y7/6 赤褐色	10YR6/4 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	EE182	
243	4E-W23 大列鉢	土製露色	(79)			130	胎形	△	△	ハケーナテ	ハケーナテ	ナテ	ナテ	10YR7/6 赤褐色	2.5Y8/4 淡赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	SH163		
244	4E-W23 大列鉢	土製露色	(37)	51	22	33	胎形	△	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	7.5YR6/6 赤褐色	7.5YR6/6 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	T242		
245	4E-W23 大列鉢	土製露色	34	(36)			□4-12	△	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	10YR7/6 赤褐色	10YR6/6 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	T237		
246	4E-W23 大列鉢	土製露色	(29)			24	胎形	△	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	10YR7/6 赤褐色	10YR7/6 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	SH189		
247	4E-W23 大列鉢	手製土製	42	34		33	胎形	○	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	2.5Y7/4 淡赤褐色	10YR6/6 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	T238		
248	4E-W23 大列鉢	手製土製	41	29	31		□10-12 底12/12	○	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	10YR6/6 赤褐色	2.5Y7/4 淡赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	T240		
249	4E-W23 大列鉢	手製土製	37	29	9		□1-12 底12/12	△	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	10YR3/1 黄褐色	10YR6/1 黄褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	T243		
250	4E-W23 大列鉢	手製土製	44	36	32		□10-12 底12/12	△	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	2.5Y7/4 淡赤褐色	2.5Y7/4 淡赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	T241		
251	4E-W23 大列鉢	手製土製	48	35	32		□9-12 底12/12	○	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	10YR7/6 赤褐色	2.5Y6/3 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	T239		
252	4E-W23 大列鉢	手製土製	45	66	64	44	□10-12 底12/12	△	△	ハケーナテ	ハケーナテ	ナテ	ナテ	2.5Y6/2 赤褐色	2.5Y7/2 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	T256		
253	4E-W23 大列鉢	土製露色	(61)	159	30		底12/12	○	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	2.5Y7/4 淡赤褐色	2.5Y7/4 淡赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	T193		
254	4E-W23 大列鉢	土製露色	138	53	80		□1-12	○	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	2.5Y3/1 黄褐色	2.5Y3/1 黄褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	SH120		
255	4E-W23 大列鉢	土製露色	160	68		80	□1-12	○	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	5YR4/6 赤褐色	7.5YR6/6 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	SH117		
256	4E-W23 大列鉢	土製露色	56	37	37		胎形	△	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	2.5Y7/3 淡赤褐色		胎縁部、胎彩 一部脱落あり	EE208		
257	4E-W23 大列鉢	土製露色	26	29	26		胎形	△	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	10YR6/3 赤褐色		胎縁部、胎彩 一部脱落あり	T400		
258	4E-W23 大列鉢	土製露色	53	15	16		胎形	△	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	2.5Y4/1 黄褐色		胎縁部、胎彩 一部脱落あり	EE206		
259	4E-W23 大列鉢	土製露色	59	16	15		胎形	△	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	2.5Y6/3 赤褐色		胎縁部、胎彩 一部脱落あり	EE210		
260	4E-W23 大列鉢	土製露色	(48)	17	18		胎形	△	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	2.5Y6/1 黄褐色		胎縁部、胎彩 一部脱落あり	EE211		
261	4E-W23 大列鉢	土製露色	33	37	36		胎形	△	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	7.5YR4/4 赤褐色		胎縁部、胎彩 一部脱落あり	EE206		
262	4E-W23 大列鉢	土製露色	41	39	37		胎形	△	△	ナテ	ナテ	ナテ	ナテ	2.5Y6/4 淡赤褐色		胎縁部、胎彩 一部脱落あり	EE207		
22	263	4E-W23 大列鉢	土製露色	62	59	80	16	50	胎形	○	△	ハケーナテ	ハケーナテ	ハケーナテ	ハケーナテ	10YR6/3 赤褐色	7.5YR6/4 赤褐色	胎縁部、胎彩 一部脱落あり	T254

第3表 土器・土製品観察表 (6)



図説	番号	通称	形状	寸法 (mm)				胎土		胎體						胎色		備考	調査番号						
				口径	底径	高さ	胎体厚	口径内径	口径外径	胎体厚	口径内径	口径外径	胎体厚	口径内径	口径外径	胎体厚	口径内径			口径外径	胎体厚	口径内径			
24	306	4R-W23 大形鉢	土製陶器 鉢	(81)		33														子2502製 内径250mm×H2	S408				
	309	4R-W23 大形鉢	土製陶器 鉢	(39)		148	変1/2	△	○												子2502製 内径250mm×H2 変1/2	F205			
	310	4R-W23 大形鉢	土製陶器 鉢	172	(65)		88	変2/2	○	△											内径250mm×H2 変1/2	S418			
	311	4R-W23 大形鉢	土製陶器 鉢	(51)																	内径250mm×H2 変1/2	T197			
	312	4R-W23 大形鉢	土製陶器 鉢	(12)		56	変4/12	△													内径250mm×H2 変1/2	T189			
	313	4R-W23 大形鉢	土製陶器 鉢	(23)		57	変1/12	△	○												内径250mm×H2 変1/2	T183			
	314	4R-W23 大形鉢	土製陶器 鉢	(22)		44	変6/12	△	△												内径250mm×H2 変1/2	T184			
	315	4R-W23 大形鉢	土製陶器 鉢	(25)		56	変12/12	△	△												内径250mm×H2 変1/2	T188			
	316	4R-W23 大形鉢	土製陶器 鉢	(23)		62	変12/12	△	△												内径250mm×H2 変1/2	T185			
	317	4R-W23 大形鉢	土製陶器 鉢	(26)		42	変5/12	○	△												内径250mm×H2 変1/2	T186			
	318	4R-W23 大形鉢	土製陶器 鉢	(23)		60	変11/12	△	△												内径250mm×H2 変1/2	T187			
	319	4R-W23 大形鉢	土製陶器 鉢	111	43	46	変10/12	△	△												内径250mm×H2 変1/2	T186			
	320	4R-W23 大形鉢	土製陶器 鉢	148	70	34	変11/12 変11/12	△	△												内径250mm×H2 変1/2	T190			
	321	4R-W23 大形鉢	土製陶器 鉢	82	22	40	変4/12 変11/12	△	△												内径250mm×H2 変1/2	T182			
	322	4R-W23 大形鉢	白磁 鉢	154	(20)																	T199			
	323	4R-W23 大形鉢	白磁 鉢	166	(32)																	T198			
	324	4R-W22 大形鉢	土製陶器 鉢	180	(40)		142	変1/12	○	○												変1/12	W25		
	325	4R-W22 大形鉢	土製陶器 鉢	174	(50)		118	変12/12	○	○													変1/12	W23	
326	4R-W22 大形鉢	土製陶器 鉢	134	(207)	228	118	変12/12	○	○													変1/12	F83		
327	4R-W22 大形鉢	土製陶器 鉢	178	(66)		120	変3/12	○	△													変1/12	S611		
328	4R-W22 大形鉢	土製陶器 鉢	220	(84)		134	変4/12	○	△													変1/12	F86		
25	329	4R-X24 大形鉢	土製陶器 鉢	58	26		變12/12 變10/12	△	△													変1/12	S46		
	330	4R-X22 大形鉢	土製陶器 鉢	352	(127)		298	変4/12	○	△													変1/12	D261	
	331	4R-X22 大形鉢	土製陶器 鉢	130	(53)		105	変6/12	○	○													変1/12	T258	
	332	4R-X22 大形鉢	土製陶器 鉢	132	(52)		116	変11/12	○	○														変1/12	T259
	333	4R-X22 大形鉢	土製陶器 鉢	162	(28)	219	134	変6/12	○	○														変1/12	S482
	334	4R-X22 大形鉢	土製陶器 鉢	154	(111)	186	148	変6/12	○	△														変1/12	S484
	335	4R-X22 大形鉢	土製陶器 鉢	87	51	49																		変1/12	F192
	336	4R-X22 大形鉢	土製陶器 鉢	112	59		變12/12 變10/12	△	△															変1/12	S487
	337	4R-X22 大形鉢	土製陶器 鉢	84	(82)		62	変4/12	△	△														変1/12	F158
	338	4R-X22 大形鉢	土製陶器 鉢	123	(44)																			変1/12	F184
	339	4R-X22 大形鉢	土製陶器 鉢	90	66		變12/12 變11/12	△	△															変1/12	E242
	340	4R-X22 大形鉢	土製陶器 鉢	(85)		146	33	變12/12	△															変1/12	S244
	341	4R-X22 大形鉢	土製陶器 鉢	140	48	8																		変1/12	S488
	342	4R-X22 大形鉢	土製陶器 鉢	128	58	20																		変1/12	F160
	343	4R-X22 大形鉢	土製陶器 鉢	146	55	10																		変1/12	F162
	344	4R-W X22 大形鉢	土製陶器 鉢	146	(44)		89	変12/12	○	△														変1/12	F81
	345	4R-W X22 大形鉢	土製陶器 鉢	155	(51)																			変1/12	F87
	26	346	4R-W X22 大形鉢	土製陶器 鉢	140	(179)	247	125	変12/12	○	○													変1/12	F85
347		4R-W X22 大形鉢	土製陶器 鉢	140	(55)																			変1/12	F82
348		4R-W X22 大形鉢	土製陶器 鉢	(68)		86	31	變12/12	○	○														変1/12	T134
349		4R-W X22 大形鉢	土製陶器 鉢	(40)		150	變12/12	○	△															変1/12	F84
350		4R-W X22 大形鉢	土製陶器 鉢	(62)		136	變12/12	○	○															変1/12	T133
351		4R-W X21 大形鉢	土製陶器 鉢	(89)	176																			変1/12	T153

第3表 土器・土製品観察表(6)

図説	番号	通称	形状	寸法 (mm)				遺存数	出土	属性	器種		色別		備考	調査番号				
				口径	底径	高さ	容量				口縁外面	胴部外面	口縁内面	胴部内面			底面外面	外面	内面	
26	352	4E-X21 土師器	土師器鉢	89	150	150	50	66	彫	△	△	ハケ→土赤	土赤	土赤	土赤	赤褐色土質	S48			
	353	4E-X20 土師器	土師器鉢	(52)				100	彫/12	△	△	ハケ	ハケ	ハケ	10YR6/3 赤褐色	5YR7/2 灰赤	焼結土質 赤褐色土質	F172		
	354	4E-X20 土師器	土師器鉢	56	(21)			29	口12/12	△	△	土赤	土赤	土赤	土赤	10YR6/3 赤褐色	2.5Y7/2 灰赤	赤褐色土質 赤褐色土質	EE20	
	355	4E-X20 土師器	土師器鉢	(40)				36	底12/12	△	△	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	2.5Y7/2 灰赤	2.5Y7/2 灰赤	赤褐色土質 赤褐色土質	EE20	
	356	4E-X20 土師器	土師器鉢	(23)				42	底12/12	○	△	△	土赤	土赤	ナシ	10YR6/3 赤褐色	2.5Y6/4 灰赤	赤褐色土質 赤褐色土質	S182	
	357	4E-Y22 土師器	土師器鉢	136	35				口2/12	○	○	口コナナ	胴部ナシ	口コナナ	口コナナ	胴部ナシ	10Y4/1 灰赤	5Y5/1 灰赤	赤褐色土質	S425
	358	4E-Y22 土師器	土師器鉢	120	49				口6/12	○	○	口コナナ	胴部ナシ	口コナナ	口コナナ	胴部ナシ	7.5YR4/1 赤褐色	7.5YR3/2 赤褐色	赤褐色土質	S425
	359	4E-X21 土師器	土師器鉢	178	132	57			口6/12 底7/12	△	△	ナシ	ハケ	ナシ	ハケナシ	ハケ	10YR6/3 赤褐色	10YR6/3 赤褐色	内外面部分 赤褐色土質	F159
	360	4E-Y22 土師器	土師器鉢	148	213	204	20	132	口1/12 底2/12	○	○	ナシ	ハケ	ハケ	ナシ	ハケ	7.5YR6/3 赤褐色	10YR6/3 赤褐色	内外面部分 赤褐色土質	S425
	27	361	4E-Y22 土師器	土師器鉢	2/12	(97)				口2/12	○	○	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	5Y4/1 灰赤	7.5YR5/1 赤褐色	赤褐色土質
362		4E-北土 土師器	土師器鉢	166	(24)				口1/12	○	△	土赤	土赤	土赤	土赤	2.5YR6/3 赤褐色	2.5YR6/3 赤褐色	赤褐色土質	T294	
363		4E-北土 土師器	土師器鉢	176	(37)				口1/12	○	△	ハケナシ	ハケ	ハケ	2.5YR6/3 赤褐色	7.5YR7/4 赤褐色	赤褐色土質	T291		
364		4E-北土 土師器	土師器鉢	(63)				140	口1/12	○	△	ハケ	ハケ	ハケ	5YR6/4 赤褐色	2.5Y7/2 灰赤	赤褐色土質	T289		
365		4E-北土 土師器	土師器鉢	(82)	(55)				口1/12	○	△	ハケ	ハケ	ナシ	ナシ	2.5Y6/4 灰赤	2.5Y6/4 灰赤	赤褐色土質	T295	
366		4E-北土 土師器	土師器鉢	200	(28)				口2/12	○	△	土赤	土赤	土赤	土赤	10YR6/3 赤褐色	7.5YR6/3 赤褐色	赤褐色土質	T290	
367		4E-北土 土師器	土師器鉢	(35)				91	口1/12	○	△	ハケ	ハケ	土赤	土赤	7.5YR6/4 赤褐色	7.5YR6/3 赤褐色	赤褐色土質	T293	
368		4E-北土 土師器	土師器鉢	296	(24)				口1/12	○	△	ハケ	ハケ	土赤	土赤	7.5YR6/4 赤褐色	7.5YR6/3 赤褐色	赤褐色土質	T292	
369		4E-北土 土師器	土師器鉢	79	75	75	46	55	口9/12 底12/12	○	△	土赤	土赤	ナシ	ナシ	ナシ	10YR6/3 赤褐色	10YR6/3 赤褐色	赤褐色土質	S430
370		4E-北土 土師器	土師器鉢	78	70	71	22	60	彫	△	△	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	2.5YR6/4 赤褐色	2.5YR6/4 赤褐色	赤褐色土質	S433
371	4E-北土 土師器	土師器鉢	104	(64)	106	94	94	口2/12	△	△	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	10YR2/1 灰赤	7.5YR7/6 赤褐色	赤褐色土質	S436	
372	4E-北土 土師器	土師器鉢	57	76	116	40		口6/12 底12/12	△	△	ナシ	土赤	ナシ	ナシ	土赤	2.5Y7/2 灰赤	2.5Y7/2 灰赤	赤褐色土質	S435	
373	4E-北土 土師器	土師器鉢	74	35				口12/12 底2/12	○	△	土赤	土赤	ナシ	ナシ	2.5Y7/2 灰赤	2.5Y6/2 灰赤	赤褐色土質	S434		
374	4E-北土 土師器	土師器鉢	(57)					口2/12	○	△	ハケ	ハケ	ハケ	ハケ	10YR7/4 赤褐色	10YR7/4 赤褐色	赤褐色土質	T288		
375	4E-北土 土師器	土師器鉢	支脚 (71)	(37)	(36)				口1/12	○	○	○	○	○	○	2.5Y7/4 灰赤	2.5Y7/4 灰赤	赤褐色土質	T296	
376	4E-北土 土師器	土師器鉢	144	107				口12/12 底9/12	○	△	ナシ	土赤	土赤	土赤	土赤	10YR6/3 赤褐色	5YR7/4 赤褐色	内外面部分 赤褐色土質	S438	
377	4E-北土 土師器	土師器鉢	(70)					口4/12	○	△	ハケ	ハケ	ナシ	ナシ	土赤	7.5YR7/4 赤褐色	7.5YR7/4 赤褐色	赤褐色土質	T287	
378	4E-中土 土師器	土師器鉢	162	(88)				口2/12	○	△	ナシ	ハケ	ナシ	ナシ	ナシ	10YR1/1 灰赤	10YR6/3 赤褐色	赤褐色土質	E301	
379	4E-中土 土師器	土師器鉢	164	(83)				口2/12	○	△	ナシ	ハケ	ハケ	ナシ	ナシ	10YR1/1 灰赤	10YR6/3 赤褐色	赤褐色土質	E300	
28	380	4E-中土 土師器	土師器鉢	(69)					口1/12	△	○	○	○	○	○	○	5Y4/2 灰赤	5Y4/2 灰赤	赤褐色土質	E303
	381	4E-中土 土師器	土師器鉢	(54)					口1/12	△	○	○	○	○	○	○	10YR6/4 赤褐色	10YR6/3 赤褐色	赤褐色土質	EE130
	382	4E-中土 土師器	土師器鉢	148	(62)				口12/12	○	△	ハケ	ハケ	ハケ	ハケ	ハケ	10YR3/1 灰赤	10YR6/3 赤褐色	赤褐色土質	EE138
	383	4E-中土 土師器	土師器鉢	(86)	130	18			底12/12	○	△	土赤	土赤	ナシ	土赤	土赤	10YR6/3 赤褐色	2.5Y6/2 灰赤	赤褐色土質	EE131
	384	4E-中土 土師器	土師器鉢	82	97	94	10	56	口2/12 底12/12	○	△	ナシ	ハケ	ナシ	ナシ	ナシ	2.5Y7/1 灰赤	2.5Y7/1 灰赤	赤褐色土質	EE134
	385	4E-中土 土師器	土師器鉢	(35)	61	12	48	12/12	△	△	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	2.5Y7/4 灰赤	2.5Y7/4 灰赤	赤褐色土質	EE135	
	386	4E-中土 土師器	土師器鉢	(46)	72	11	57	底12/12	△	△	土赤	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	2.5Y7/4 灰赤	10YR6/3 赤褐色	赤褐色土質	EE132	
	387	4E-中土 土師器	土師器鉢	108	79	109	10	106	口1/12 底12/12	○	△	ナシ	ハケ	ナシ	ハケ	ハケ	10YR6/3 赤褐色	10YR6/3 赤褐色	赤褐色土質	EE133
	388	4E-中土 土師器	土師器鉢	(156)					口6/12	○	△	○	○	○	○	○	2.5Y7/3 灰赤	2.5Y7/1 灰赤	赤褐色土質	EE137
	389	4E-中土 土師器	土師器鉢	(34)					口12/12	△	△	ハケ	ハケ	ナシ	ナシ	ナシ	2.5Y7/3 灰赤	2.5Y7/3 灰赤	赤褐色土質	EE133
390	4E-中土 土師器	土師器鉢	174	(62)				口1/12	○	○	ハケ	ハケ	ナシ	ナシ	ナシ	2.5Y7/3 灰赤	2.5Y7/3 灰赤	赤褐色土質	EE131	
391	4E-中土 土師器	土師器鉢	(102)					底12/12	○	△	土赤	土赤	土赤	土赤	土赤	10YR6/3 赤褐色	5Y5/1 灰赤	赤褐色土質	EE139	
392	4E-中土 土師器	土師器鉢	(87)					底11/12	△	△	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	2.5Y6/4 灰赤	10YR7/4 赤褐色	赤褐色土質	EE140	
393	4E-中土 土師器	土師器鉢	(48)					口1/12	△	△	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	10YR6/3 赤褐色	10YR6/3 赤褐色	赤褐色土質	S478	
394	4E-中土 土師器	土師器鉢	(14)					底5/12								7.5YR8/1 赤褐色	7.5Y7/1 灰赤	赤褐色土質	S497	
395	4E-中土 土師器	土師器鉢	158	(37)				口1/12								2.5Y7/3 灰赤	2.5Y7/2 灰赤	赤褐色土質	S496	

第3表 土器・土製品観察表 (9)





第4表 石製品・金属製品・骨製標本

国産	番号	遺構	品類	法量(mm)			遺存状況	色別	備考	実測番号	国産	番号	遺構	品類	法量(mm)			遺存状況	色別	備考	実測番号		
				高	幅	厚									高	幅	厚						
29	400	4E-W20 大内群	打製石片	(133)	66	19	単純欠端	2.5Y5/3 黄褐色	壁状部 重190.0g	H27	30	442	4E-W25 大内群	砥石	62	43	18		10Y93/2 黒褐色	内外両面分付磨	1400		
	401	4E-W24 大内群	石衝丁	(126)	79	9	山打形	10GY4/1 緑褐色	鉋痕部 重105.0g	E232		443	4E-W24 大内群	鉄製品 鍔文	47	39	23			付付同群別	E230		
	402	4E-W24 大内群	磨製石片	(75)	52	24	単純欠端	2.5Y5/2 黄褐色	鉋痕部 重185.0g	E237		444	4E-W24 大内群	鉄製品 釘	69	33	5			肉打 重10.0g	T410		
	403	4E-W25 大内群	磨製石片	63	41	17	変形	10Y8/1 赤褐色	鉋痕部 重95.7g	S419		445	4E-W25 大内群	骨製品 骨棒	210	50	26			石衝部 重13.3g 骨棒部 重11.1g 付付同群別 重44.0g 付付同群別 重25.0g	N7		
	404	4E-W24 大内群	砥石	72	52	42	変形	5Y6/3 赤褐色	砂目 重230.0g オニノツ骨部	E235		446	4E-W25 大内群	シロ 土製器	212	50	26			土製器 重10.9g	N6		
	405	4E-W24 大内群	砥石	71	25	15	変形	2.5Y5/4 黄褐色	赤褐色部 重33.7g 黄褐色部	E240		447	4E-W25 大内群	シロ 骨	(148)	(30)	(17)			重52.1g	N9		
	406	4E-W24 大内群	磨片	22	22	10		10GY4/1 緑褐色	変形部 重4.4g 付付同群別	G1		448	4E-W25 大内群	イロ 漆器	骨棒 169	骨棒 67	骨棒 67			重125.0g 付付同群別	N36		
	407	4E-W24 大内群	磨片	44	26	13		10Y5/2 赤褐色	変形部 重13.7g 付付同群別	G2		36	590	3E-Y19 S2022	鉄製品 網付刀子	8	7	7			重10.0g 付付同群別	O18	
	408	4E-W24 大内群	打製石片	(144)	69	24	刀痕欠	7.5Y2/1 灰色	鉋痕部 重33.0g	E241			591	3E-Y17 S2022	鉄製品 網付刀子	255	22	骨 3	骨 12		重47.9g 付付同群別	N34	
	409	4E-W24 大内群	打製石片	(179)	110	31	単純欠端	7.5Y5/2 赤褐色	鉋痕部 重84.0g	E242			592	不明	鉄製品 骨	(151)	7	5			2ホ 重41.2g	N6	
	410	4E-W24 大内群	打製石片	(197)	102	39	刃状欠端	5Y6/4 赤褐色	鉋痕部 重92.2g	N30		37	594	不明	骨玉	28	17	9			流石 重4.74g 付付同群別	G15	
	411	4E-W23 大内群	磨製石片	(118)	53	32	刃状欠端	5Y6/3 赤褐色	内外両面分付磨 重10.0g	T304			595	不明	骨玉	21	5	5			骨玉部 重1.44g 付付同群別	G22	
	412	4E-W23 大内群	磨片	30	42	9		N8/ 灰白色	石葉 重11.3g	T300			596	不明	骨玉	(13)	5	5			骨玉部 重0.27g 付付同群別	G23	
	413	4E-W23 大内群	磨片	42	52	9		10GY4/1 緑褐色	変形部 重16.4g	T299			597	不明	骨玉 S2025	17	12	5			骨玉 重1.31g	N18	
	414	4E-W23 大内群	砥石	67	78	25		5GY1/1 緑褐色	変形部 重115.0g	T298			604	不明	石鏝	90	54	45				E300	
	415	4E-W23 大内群	砥石	114	72	30		7.5Y2/1 灰色	鉋痕部 重200.0g	T305			605	不明	不明	33	47	10			骨2.24g 付付同群別	T419	
	416	4E-W23 大内群	砥石	(94)	69	17	破片	7.5Y5/1 灰色	骨部全体に磨片 付付同群別	T301			606	不明	不明	35	7	6			重1.91g 付付同群別	T420	
	417	4E-W23 大内群	磨製石片	(160)	83	54	1/2	5Y8/4 赤褐色	全体に磨片 付付同群別	T302			607	不明	鉄製品 刀子	(125)	18	3			重11.01g	T417	
	418	4E-W23 大内群	砥石	(69)	(93)	42	破片	5Y6/3 赤褐色	内外両面分付磨 山打形 重130.0g	T303			38	633	2E-Y12 S2040	砥石	60	53	21			重93.86g	T418
	419	4E-W23 大内群	打製石片	164	80	30	変形	2.5Y5/6 黄褐色	内外両面分付磨 山打形 重440.0g	T306				634	2E-Y12 S2040	鉄製品	(104)	16	3			重9.30g	T415
	420	4E-W22 大内群	打製石片	(97)	60	27	単純欠端	2.5Y5/3 黄褐色	変形部 重205.0g 内外両面分付磨	F207		635		2E S2040	鉄製品 刀子	(116)	23	3			重21.32g	T413	
	421	4E-W22 大内群	石鏝	126	71	52	変形	2.5Y5/2 黄褐色	鉋痕部 重110.0g	S183		636	2E S2040	不明	25.2	25.5	1.1			重3.51g 付付同群別	E190		
	422	4E-W24 大内群	伊石	(324)	192	168	磨製	10Y96/2 赤褐色	山打形 重12.94g 鉋痕部 付付同群別	F206		637	2E S2040	不明	25.2	25.2	1.2			重3.96g 付付同群別	E191		
	423	4E-W22 大内群	磨片	87	53	21		10Y96/2 赤褐色	変形部 重50.0g 内外両面分付磨	F187													
	424	4E-W21 大内群	石鏝	139	72	55	変形	7.5Y5/7 黄褐色	鉋痕部 重500.0g	S407													
	425	4E-W21 大内群	砥石	(76)	47	25	欠端	10Y84/6 褐色	鉋痕部 重122.0g 内外両面分付磨	E224													
	426	4E-W21 大内群	砥石	(65)	35	6	欠端	2.5Y5/7 黄褐色	鉋痕部 重40.3g 中央部 重28g	E221													
	427	4E-W21 大内群	砥石	108	36	39	変形	10Y87/3 赤褐色	鉋痕部 重175.0g 内外両面分付磨	E222													
	428	4E-W21 大内群	石鏝	104	71	52	変形	10Y87/6 赤褐色	伊石 重493.10g 内外両面分付磨	E223													
429	4E-W21 大内群	砥石	(94)	(92)	33	欠端	7.5Y5/4/4 褐色	鉋痕部 重442.0g 内外両面分付磨	E228														
430	4E-W22 大内群	石鏝	(46)	25	5	欠端	10GY3/1 緑褐色	鉋痕部 重8.4g	E225														
431	4E-W23 大内群	骨玉	26	6	6	変形	2.5GY7/1 黄褐色	変形部 重80.85g 高部 重1.0g	Y25														
432	4E-W25 大内群	骨玉	17	5	5	変形	7.5Y5/3 赤褐色	変形部 重80.09g 高部 重1.0g	G20														
433	4E-W22 大内群	骨玉	13	8	4	変形	N8/ 灰白色	変形部 重3.34g 高部 重1.0g	G21														
434	4E-W24 大内群	丁字鏝 変形骨玉	(43)	(23)	(13)	破片	10GY4/1 緑褐色	変形部 重50g 付付同群別	A53														
435	4E-W24 大内群	骨玉	42	24	12	変形	10GY4/1 緑褐色	変形部 重16.48g 付付同群別	Y24														
436	4E-W23 大内群	骨玉	34	22	14	変形	7.5R1/2/1 赤褐色	流石 重15.00g 赤褐色部	N17														
437	4E-W21 大内群	骨玉	28	17	7	変形	10GY3/1 黄褐色	鉋痕部 重3.99g 高部 重1.0g	A48														
438	4E-W22 S2010	鉄製品 刀子	(198)	24	4.5		7.5Y8/2/2 黄褐色	鉋痕部 重165.00mm 重49.4g 付付同群別	T414														
439	4E-W22 S2010	鉄製品 刀子	282	25	5.5		7.5Y8/4/4 褐色	鉋痕部 重207.00mm 重101.7g 付付同群別	T416														
440	4E-W22 S2010	不明	(97)	(43)	6		7.5Y8/4/3 褐色	不明部 重305.5g 鉋痕部	T412														
441	4E-W23 大内群	鉄製品 鏝	(104)	17	5		7.5Y8/2/2 黄褐色	変形部 重7.1g	T411														

※法量欄の () は現存値を示している。

第4表 石製品・金属製品・骨製標本

第5表 木製品觀察表

品別	番号	品名	部材	寸法(mm)	構造	備考	実測番号	品別	番号	品名	部材	寸法(mm)	構造	備考	実測番号			
				高	幅	厚					高	幅	厚					
31	449	48 W23 大内扉	木製品	830	35	23	M15	33	493	48 W24 大内扉	木製品 木製品 木製品	298 (72)	7	断片	針葉樹 板目 1.7×100×10mm	F11		
	450	48 W23 大内扉	木製品 木製品 木製品	112	97	80	S17		494	48 W24 大内扉	木製品 木製品 木製品	263	126	10	断片	針葉樹 板目 厚1.7×495×10mm	E17	
	451	48 W22 SD210	楕球 木製品	257	14	12	文型		針葉樹 辺材	495	48 W24 大内扉	木製品 木製品 木製品	243	112	10	断片	針葉樹 板目 厚1.7×494×10mm	E18
	452	48 W22 SD210	楕球 木製品	(274)	19	14	文型		針葉樹 辺材 丸端加工	496	48 W24 大内扉	木製品	91	62	7	文型	針葉樹 板目	E20
	453	48 W22 SD210	楕球 木製品	(275)	42	7	文型		広葉樹 板目	497	48 W24 大内扉	木製品	156	58	6	文型	針葉樹 板目 厚1.7×494×10mm	N17
	454	48 W22 SD210	楕球 木製品	136	28	9	文型		針葉樹 板目 丸端加工	498	48 W24 大内扉	楕球 木製品	(334)	24	17	断片	針葉樹 辺材 (1.7×100)	T38
	456	48 W22 SD210	楕球 木製品	(131)	25	7	文型		針葉樹 板目 丸端加工	499	48 W24 大内扉	木製品	43	37	28	文型	針葉樹 板目	S11
	456	48 W21 SD210	楕球 木製品	151	41	8	文型		針葉樹 板目 丸端加工	500	48 W24 大内扉	木製品	60	21	4	断片	板目	F14
	457	48 W22 SD210	木製品 楕球	159	43	(20)	1/2		広葉樹 板目 中央部加工	501	48 W24 大内扉	楕球 木製品	896	45	43	文型	針葉樹 芯材 丸端加工	M13
	458	48 W21 SD210	木製品	(181)	44	15	断片		広葉樹 板目 厚1.7×110×10mm	E10	502	48 W24 大内扉	楕球 木製品	1180	70	70	断片	針葉樹 芯材
459	48 W21 SD210	楕球 木製品	(220)	53	4	文型	針葉樹 板目	S24	503	48 W24 大内扉	楕球 木製品	(214)	40	40	文型	広葉樹 芯材	S5	
460	48 W21 SD210	楕球 木製品	(138)	79	5	文型	針葉樹 板目 厚1.7×100×10mm	S23	504	48 W24 大内扉	楕球 木製品	(196)	38	35	断片	針葉樹 芯材	F10	
461	48 W22 SD210	木製品 内和板	261 (164)	5	2/3	断片	楕球 板目厚1.7×100×10mm	S26	505	48 W24 大内扉	楕球 木製品	193	44	27	文型	針葉樹 板目 工上製	F12	
462	48 W22 SD210	木製品 内和板	320 (145)	5	1/2	断片	楕球 板目厚1.7×100×10mm	S27	506	48 W23 大内扉	楕球 木製品	(226)	18	9	断片	針葉樹 板目	T23	
463	48 W22 SD210	木製品 蓋	(161)	16	3	文型	針葉樹 板目	S29	507	48 W23 大内扉	楕球 木製品	(237)	26	16	断片	針葉樹 辺材	E24	
464	48 W22 SD210	木製品 火鍵	(222)	27	16	片端文型	針葉樹 板目 丸端加工(1)	T4	508	48 W23 大内扉	楕球 木製品	349	33	16	文型	針葉樹 板目 厚1.7×100	N10	
468	48 W25 大内扉	楕球式 製機	(27)	28	4	片端文型	漆塗	T401	509	48 W23 大内扉	木製品 厚削	113	27	15	一部文型		G8	
466	48 W25 大内扉	楕球 木製品	371	89	14	文型	針葉樹 板目 丸端加工	T34	510	48 W23 大内扉	楕球 木製品	(50)	(93)	12	断片	針葉樹 板目 丸端加工	N14	
467	48 W25 大内扉	木製品 木製品	(333)	(107)	16	文型	広葉樹 板目 木製品	S3	511	48 W23 大内扉	木製品	107	37	12	文型	針葉樹 辺材 精削	G11	
468	48 W25 大内扉	楕球 木製品	164	41	5	文型	針葉樹 板目 厚1.7×100×10mm	N28	512	48 X23 大内扉	楕球 木製品	(87)	74	19	断片	針葉樹 板目	M9	
469	48 W25 大内扉	木製品	105	111	20	文型	針葉樹 板目	N29	513	48 W23 大内扉	楕球 木製品	345	60	52	文型	針葉樹 芯材	N11	
470	48 W25 大内扉	楕球 木製品	(234)	39	25	断片	針葉樹 板目 厚1.7×100×10mm	T35	514	48 W23 大内扉	楕球 木製品	215	9	8	文型	針葉樹 辺材	F24	
471	48 W25 大内扉	楕球 木製品	(253)	34	15	断片	針葉樹 板目 厚1.7×100×10mm	T11	515	48 W23 大内扉	楕球 木製品	(567)	32	24	文型	針葉樹 板目 丸端加工	F21	
472	48 W25 大内扉	楕球 木製品	541	19	16	文型	針葉樹 板目 丸端加工	T33	516	48 W23 大内扉	楕球 木製品	(262)	34	16	断片	針葉樹 辺材	M11	
473	48 W25 大内扉	楕球 木製品	531	18	15	文型	針葉樹 板目 丸端加工	T36	517	48 W23 大内扉	楕球 木製品	(292)	28	15	断片	針葉樹 板目	M10	
474	48 W24 大内扉	楕球 木製品	510	27	18	文型	針葉樹 板目 丸端加工	T37	518	48 W23 大内扉	楕球 木製品	(349)	34	26	文型	針葉樹 板目	F23	
475	48 W25 大内扉	木製品	105	66	19	文型	針葉樹 板目 丸端加工	T1	519	48 W23 大内扉	楕球 木製品	(234)	13	5	断片	針葉樹 板目	E26	
476	48 W25 大内扉	楕球 木製品	(167)	32	6	断片	針葉樹 板目 厚1.7×100×10mm	T2	520	48 W23 大内扉	楕球 木製品	352	37	34	文型	広葉樹 芯材	G10	
477	48 W25 大内扉	楕球 木製品	(200)	32	10	1/2	針葉樹 板目 丸端加工	T7	521	48 W23 大内扉	楕球 木製品	(265)	21	19	断片	針葉樹 板目	E25	
478	48 W25 大内扉	楕球 木製品	(130)	72	17	断片	広葉樹 板目 厚削	T9	522	48 W23 大内扉	楕球 木製品	(504)	67	38	断片	針葉樹 芯材 厚削	M12	
478	48 W25 大内扉	楕球 木製品	215 (71)	7	断片	針葉樹 板目 厚1.7×100×10mm	T10	523	48 W23 大内扉	楕球 木製品	(407)	(74)	34	断片	針葉樹 板目	S14		
480	48 W25 大内扉	木製品	(573)	20	15	片端文型		F6	524	48 W23 大内扉	楕球 木製品	135	92	16	文型	広葉樹 板目 丸端加工	M8	
481	48 W25 大内扉	木製品	(550)	20	21	片端文型	針葉樹 芯材	F8	525	48 X23 大内扉	木製品 丸端加工	144 (67)	10	断片	針葉樹 板目 厚1.7×100×10mm	N15		
482	48 W25 大内扉	木製品	(413)	18	15	片端文型	針葉樹 芯材 丸端加工	F7	526	48 W23 大内扉	漆塗	(20)			厚1.2	内面漆塗	N12	
483	48 W24 大内扉	楕球 木製品	(301)	68	10	断片	針葉樹 板目	E22	34	527	48 Y21 大内扉	木製品 木製品 木製品	1650	50	40	片端文型	針葉樹 芯材 厚削 厚削 厚削	M7
484	48 W24 大内扉	楕球 木製品	(174)	53	13	断片	広葉樹 板目	N25		528	48 W23 大内扉	木製品 板目	366 (133)	8	文型	針葉樹 板目 厚1.7×100×10mm	F9	
485	48 W24 大内扉	楕球 木製品	(199)	(33)	(5)	断片	針葉樹 板目	F15		529	48 W23 大内扉	木製品	325 (125)	14	断片	針葉樹 板目 厚1.7×100×10mm	S9	
486	48 W24 大内扉	楕球 木製品	(441)	42	12	山文型	針葉樹 板目	O4		530	48 W23 大内扉	木製品 厚削	468 (235)	48	文型	針葉樹 板目 厚1.7×100×10mm	T25	
487	48 W24 大内扉	楕球 木製品	(125)	24	7	文型	針葉樹 板目	S7		531	48 W23 大内扉	木製品 厚削	130	43	49	山文型	楕球式 厚削 厚削 厚削	NA1
488	48 W24 大内扉	楕球 木製品	(121)	20	4	文型	針葉樹 板目	S8		532	48 W23 大内扉	木製品 厚削	146	86	75	文型	広葉樹 木目不明	G1
489	48 W24 大内扉	楕球 木製品	191	94	11	断片	針葉樹 板目	O5		533	48 W24 大内扉	木製品	(257)	25	25	文型	針葉樹 板目 丸端加工	G3
490	48 W24 大内扉	楕球 木製品	(300)	(63)	22	断片	広葉樹 板目 中央部加工	N27		534	48 W23 大内扉	木製品	542	(58)	15	断片	針葉樹 板目 厚削	T21
491	48 W24 大内扉	楕球 木製品	416 (133)	25	文型	針葉樹 板目 厚削 厚削 厚削	S4	535		48 W23 大内扉	楕球 木製品	(250)	29	15	文型	針葉樹 板目 丸端加工	S2	
492	48 W24 大内扉	楕球 木製品	(327)	(101)	12	断片	針葉樹 板目	N26		536	48 W23 大内扉	楕球 木製品	(616)	56	8	文型	針葉樹 板目 丸端加工	F25

第5表 木製品觀察表 (1)

国産	番号	品名	仕様	寸法(mm)			備考	国産番号	国産	品名	仕様	寸法(mm)			備考	国産番号		
				高	幅	厚						高	幅	厚				
34	537	44 W 121 大内径	特殊 木製品	485	29	15	成形 材質: 辺材	E14	36	567	28 S0220	木製品 角	1318	21	15	文庫 材質: 木製材 厚さ: 1.1孔3.0mm	T117	
	538	44 W 121 大内径	木製品 縁材	681	34	23	削片? 材質: 辺材 厚さ: 1.1孔3.0mm	E15		568	28 S0244	木製品 角材	1174	109	70	文庫 広葉樹・芯材材	0403	
	539	44 W 121 大内径	特殊 木製品	1177	30	26	削片 材質: 辺材	E19		592	不明	木製品	230	26	10	成形 材質: 厚さ: 1.1孔7.0mm 厚さ: 1.1	1433	
	540	44 W 121 大内径	木製品 縁材	194	46	13	成形 材質: 辺材	S33		600	28 S0244	特殊 木製品	126	38	18	削片 材質: 広葉樹・芯材材	F5	
	541	44 W 121 大内径	特殊 木製品	1163	19	12	削片 材質: 広葉樹 厚さ: 1.1孔3.0mm	T10		601	28 S0244	特殊 木製品	198	45	44	削片 材質: 広葉樹・芯材材	F3	
	542	44 W 121 大内径	特殊 木製品	2201	168	12	削片 材質: 広葉樹 厚さ: 1.1孔3.0mm	T12		602	28 S0244	特殊 木製品	1176	160	148	削片 材質: 広葉樹・芯材材	Q2	
	543	44 W 121 大内径	特殊 木製品	1415	121	8	基部文庫 材質: 広葉樹	S13		603	28 S0244	特殊 木製品	378	87	28	文庫 材質: 広葉樹	F4	
	544	44 W 121 大内径	木製品 縁材	2081	141	17	削片 材質: 広葉樹 厚さ: 1.1孔3.0mm	M5		640	28 S0222	特殊 木製品	1500	48	36	文庫 材質: 広葉樹 厚さ: 1.1孔3.0mm	0405	
	545	44 W 121 大内径	木製品 縁材	543	51	51	削片 材質: 広葉樹 厚さ: 1.1孔3.0mm	M6		640	28 S0222	特殊 木製品	250	15	8	文庫 材質: 広葉樹	E300	
	546	44 W 121 大内径	木製品 縁材	307	109	75	1/2 材質: 広葉樹 厚さ: 1.1孔18.0mm以上	E30		642	28 S0222	特殊 木製品	1151	6	6	文庫 材質: 広葉樹	E308	
	35	547	44 W 121 大内径	木製品 縁材	730	46	46	削片 材質: 広葉樹		S16	642	28 S0222	特殊 木製品	1131	21	4	文庫 材質: 広葉樹	E310
		548	44 W 121 大内径	木製品 縁材	630	47	47	削片 材質: 広葉樹 厚さ: 1.1孔3.0mm		S15	643	28 S0222	特殊 木製品	1109	33	5	文庫 材質: 広葉樹	E311
		549	44 W 121 大内径	特殊 木製品	6430	19	15	削片 材質: 広葉樹 厚さ: 1.1孔3.0mm		0418	644	28 S0222	特殊 木製品	1126	120	3	文庫 材質: 広葉樹	S183
		550	44 W 121 大内径	特殊 木製品	3771	18	15	削片 材質: 広葉樹		0419	645	28 S0222	特殊 木製品	1180	21	11	削片 材質: 広葉樹	S182
		551	44 W 121 大内径	特殊 木製品	336	18	16	削片 材質: 広葉樹		0419	646	28 S0222	特殊 木製品	254	116	12	成形 材質: 広葉樹	S181
		552	44 W 121 大内径	特殊 木製品	3301	24	22	削片 材質: 広葉樹		0419	647	28 S0222	特殊 木製品	82	117	24	一層文庫 材質: 広葉樹	S180
		553	44 W 121 大内径	特殊 木製品	267	24	11	成形 材質: 広葉樹 厚さ: 1.1孔3.0mm		0418	648	28 S0222	特殊 木製品	327	231	1	文庫 材質: 広葉樹	E279
		554	44 W 121 大内径	特殊 木製品	3348	53	35	削片 材質: 広葉樹		0418	649	28 S0222	特殊 木製品	281	185	16	文庫 材質: 広葉樹	E272
		555	44 W 121 大内径	特殊 木製品	1190	15	9	削片 材質: 広葉樹 厚さ: 1.1孔3.0mm		0418	650	28 S0222	特殊 木製品	1174	6	3	文庫 材質: 広葉樹	0414
		556	44 W 121 大内径	特殊 木製品	1167	30	8	削片 材質: 広葉樹		0418	651	28 S0222	特殊 木製品	1100	6	4	削片 材質: 広葉樹	0415
		557	44 W 121 大内径	特殊 木製品	226	16	12	削片 材質: 広葉樹		0418	652	28 S0222	特殊 木製品	1147	6	4	文庫 材質: 広葉樹	0416
		558	44 W 121 大内径	特殊 木製品	1166	8	8	削片 材質: 広葉樹		0419	653	28 S0222	特殊 木製品	182	5	4	文庫 材質: 広葉樹	0417
		559	44 W 121 大内径	特殊 木製品	1440	131	45	文庫 材質: 広葉樹 厚さ: 1.1孔3.0mm		E33	654	28 S0222	特殊 木製品	284	119	2	文庫 材質: 広葉樹	0413
		560	44 W 121 大内径	特殊 木製品	1149	33	14	削片 材質: 広葉樹		N1	655	28 S0244	特殊 木製品	206	22	13	成形 材質: 広葉樹	Q1
		561	44 W 121 大内径	特殊 木製品	153	8	8	成形 材質: 広葉樹		0417	656	28 S0244	特殊 木製品	247	13	7	文庫 材質: 広葉樹	E282
		562	44 W 121 大内径	特殊 木製品	153	10	7	成形 材質: 広葉樹		0418	657	28 S0244	特殊 木製品	348	24	21	成形 材質: 広葉樹	E280
		563	44 W 121 大内径	特殊 木製品	146	9	8	成形 材質: 広葉樹		0418	658	28 S0244	特殊 木製品	1192	10	8	削片 材質: 広葉樹	E284
		564	44 W 121 大内径	特殊 木製品	375	大100 小42	厚90 厚42	1/2 材質: 広葉樹		N20	659	28 S0244	特殊 木製品	1136	16	13	文庫 材質: 広葉樹	E289
		565	44 W 121 大内径	特殊 木製品	1146	33	8	文庫 材質: 広葉樹 厚さ: 1.1孔3.0mm		F28	660	28 S0244	特殊 木製品	1142	10	6	文庫 材質: 広葉樹	E295
		566	44 W 121 大内径	特殊 木製品	2146	20	12	文庫 材質: 広葉樹 厚さ: 1.1孔3.0mm		F26	661	28 S0244	特殊 木製品	1131	5	4	削片 材質: 広葉樹	E296
		567	44 W 121 大内径	特殊 木製品	320	33	14	削片 材質: 広葉樹 厚さ: 1.1孔3.0mm		T5	662	28 S0244	特殊 木製品	1158	7	5	削片 材質: 広葉樹	E292
		568	44 W 121 大内径	特殊 木製品	266	51	48	削片 材質: 広葉樹		T6	663	28 S0244	特殊 木製品	1417	20	14	削片 材質: 広葉樹	E297
		569	44 W 121 大内径	特殊 木製品	88	40	43	成形? 材質: 広葉樹		S1	664	28 S0244	特殊 木製品	2119	12	8	削片 材質: 広葉樹	E298
		570	44 W 121 大内径	特殊 木製品	1122	162	56	削片 材質: 材不 厚さ: 13x10mm		N19	665	28 S0244	特殊 木製品	167	10	10	成形? 材質: 広葉樹	E283
571		44 W 120 大内径	特殊 木製品	228	228	42	1/2 材質: 材不 厚さ: 13x10mm	F15	666	28 S0244	特殊 木製品	238	17	12	文庫 材質: 広葉樹	E282		
572		44 W 120 大内径	特殊 木製品	1181	23	11	削片 材質: 広葉樹	F30	667	28 S0244	特殊 木製品	1161	13	5	文庫 材質: 広葉樹	E286		
573		44 W 120 大内径	特殊 木製品	185	105	13	削片 材質: 広葉樹	E19	668	28 S0244	特殊 木製品	1197	18	12	文庫 材質: 広葉樹	E280		
574		44 W 120 大内径	特殊 木製品	267	107	15	成形 材質: 広葉樹 厚さ: 1.1孔15.0mm	F26	669	28 S0244	特殊 木製品	192	12	10	文庫 材質: 広葉樹	E291		
575		44 W 120 大内径	特殊 木製品	1146	75	23	削片 材質: 広葉樹	E32	670	28 S0244	特殊 木製品	75	24	35	削片 材質: 広葉樹	1119		
576		44 W 120 大内径	特殊 木製品	1152	31	6	削片 材質: 広葉樹 厚さ: 1.1孔3.0mm	E31	671	28 S0244	特殊 木製品	1415	142	12	文庫 材質: 広葉樹	0404		
577		44 W 120 大内径	特殊 木製品	2065	115	18	削片 材質: 広葉樹 厚さ: 24x19mm	M14	672	28 S0244	特殊 木製品	171	44	7	成形 材質: 広葉樹	E288		
578		44 W 120 大内径	特殊 木製品	416	23	14	削片 材質: 広葉樹	F31	673	28 S0244	特殊 木製品	3369	60	60	文庫 材質: 広葉樹	5197		
579		44 W 122 大内径	特殊 木製品	162	100	8	削片 材質: 広葉樹 厚さ: 1.1孔2.0mm	T39	674	28 S0244	特殊 木製品	3340	51	13	文庫 材質: 広葉樹 厚さ: 1.1孔2.0mm	E285		
36		582	38 S0220	木製品 縁	177	厚190	厚12	削片 材質: 広葉樹	3001	675	28 S0244	特殊 木製品	1371	32	8	文庫 材質: 広葉樹	0407	
	583	38 S0240	木製品 縁	179	29	29	削片 材質: 広葉樹	N10	676	28 S0244	特殊 木製品	120	126	4	文庫 材質: 広葉樹	E294		

第5表 木製品観音表(2)

品番	番号	品名	仕様	寸法(mm)			寸法	備考	品番	品名	仕様	仕様	寸法(mm)			寸法	備考	品番	品名
				高	幅	厚							高	幅	厚				
39	677	2R S0240	板状 木製品	184	24	6	断片	針葉樹 板目	E281	41	722	2R S0244	透孔 板	残高 (30)	残高 B0	底6/12	板目系 内内面塗装	F203	
	678	2R S0240	木製品 木条	325	181	46	1/2	広葉樹 板目	F204		723	2R A99 S0303	棒状 木製品	1440	33	17	欠端	針葉樹 辺材 厚1.1	0H18
	679	2R S0240	木製品 木条	1102	126	9	断片	針葉樹 板目	E292		724	2R A99 S0303	棒状 木製品	1332	15	12	断片	針葉樹 辺材	E8
	680	2R Z14 S0240	透孔 板	121	108	12	欠端	裏面→裏面封着	F200		725	2R A99 S0303	棒状 木製品	1363	24	11	凹形実形	針葉樹 辺材	E6
	681	2R S0240	木製品 板材	205	99	48	欠端	広葉樹か 芯持材 加工具使用済	E300		726	2R AA7 S0303	棒状 木製品	1162	34	33	欠端	針葉樹か 芯持材	1421
	682	2R S0240	木製品 板7	1155	130	10	欠端	針葉樹 板目	F123		727	2R AA9 S0303	棒状 木製品	1127	31	27	欠端	針葉樹 芯持材	E2
	683	2R S0244	棒状 木製品	770	30	24	欠端	針葉樹 辺材 先端部加工	0H13		728	2R A99 S0303	棒状 木製品	532	18	15	実形	針葉樹 辺材 先端部加工	E7
	684	2R S0244	棒状 木製品	814	43	22	欠端	針葉樹 辺材 先端部加工	0H19		729	2R A99 S0303	棒状 木製品	261	15	12	欠端	針葉樹か 辺材 先端部加工	0H42
	685	2R S0244	棒状 木製品	627	32	18	欠端	針葉樹 辺材	0H19		730	2R AA9 S0303	棒状 木製品	200	17	11	欠端	針葉樹 辺材 先端部加工	0H40
	686	2R S0244	棒状 木製品	5311	30	32	欠端	針葉樹 辺材 先端部加工	0H13		731	2R A99 S0303	棒状 木製品	206	15	12	欠端	針葉樹 辺材 切斷面	E9
687	2R S0244	棒状 木製品	249	23	12	欠端	針葉樹 辺材 先端部加工	S175	732	2R AA8 S0303	棒状 木製品	1177	71	36	断片	針葉樹か 芯持材	E3		
688	2R S0244	棒状 木製品	248	19	16	欠端	針葉樹 辺材 先端部加工	0H14	733	2R AA8 S0303	棒状 木製品	122	32	15	凹形実形	針葉樹 木条(不明 厚1.1 孔径5.0mm)	9029		
689	2R S0244	棒状 木製品	216	20	11	欠端	針葉樹 辺材 先端部加工,不明	1688	734	2R AA7 S0303	棒状 木製品	236	26	6	欠端	針葉樹 板目 厚1.1 孔径5.0mm	1434		
690	2R S0244	棒状 木製品	232	20	18	欠端	針葉樹 辺材 先端部加工	1688	735	2R A99 S0303	棒状 木製品	1163	23	9	欠端	針葉樹 板目	E4		
691	2R S0244	棒状 木製品	291	23	24	欠端	針葉樹 芯持材 先端部加工	0H18	736	2R AA7 S0303	棒状 木製品	178	10	9	実形	針葉樹 辺材 断面加工	1422		
692	2R S0244	棒状 木製品	1168	12	6	欠端	針葉樹 辺材 先端部加工	1683	737	2R AA7 S0303	棒状 木製品	178	15	8	実形	針葉樹 辺材 断面加工	1423		
693	2R S0244	棒状 木製品	387	24	22	欠端	針葉樹 辺材	S177	738	2R AA8 S0303	木製品 部材	262	97	47	断片	針葉樹 辺材	0H11		
694	2R S0244	棒状 木製品	250	18	10	欠端	針葉樹 辺材 断面加工	1687	739	2R AA9 S0303	木製品 部材	368	25	6	実形	針葉樹 板目	M3		
695	2R S0244	棒状 木製品	195	17	17	実形	針葉樹 辺材 断面加工,加工 器具使用済	S173	740	2R A99 S0303	棒状 木製品	260	23	21	欠端	針葉樹 辺材	E5		
696	2R S0244	棒状 木製品	1176	116	16	断片	針葉樹 芯持材 先端部加工	S178	741	2R AA9 S0303	木製品 内筒部	183	82	8	実形	針葉樹 板目 横溝	M1		
697	2R S0244	棒状 木製品	291	8	8	欠端	針葉樹 辺材	0H18	742	2R Z8 S0303	木製品 内筒部	178	103	7	凹形実形	針葉樹か 板目 木条(不明 厚1.1)	E1		
698	2R S0244	棒状 木製品	147	19	7	欠端	針葉樹 辺材	0H18	743	2R AA8 S0303	木製品 内筒部	162	165	10	実形	針葉樹 板目 断面加工,2464円→14	F2		
699	2R S0244	棒状 木製品	1179	11	12	断片	針葉樹 芯持材 切欠	F13	744	2R AA8 S0303	木製品 内筒部	172	176	26	実形	断面加工,2464円→14	F1		
700	2R S0244	木製品 切	269	13	10	欠端	針葉樹 芯持材	F19	745	2R AB7 S0303	木製品 内筒部	310	263	10	実形	針葉樹 板目 木条(不明 厚1.1)	S198		
701	2R S0244	棒状 木製品	230	32	15	断片	針葉樹 辺材 断面加工,部材か	S169	746	2R AA9 S0303	棒状 木製品	1311	34	29	欠端	針葉樹 辺材	M2		
702	2R S0244	棒状 木製品	507	44	39	欠端	針葉樹 辺材 先端部加工	1686	747	2R AA7 S0303	棒状 木製品	324	50	21	欠端	針葉樹 辺材 厚1.1 孔径6.0mm	1435		
703	2R S0244	木製品 木条	1122	80	59	断片	針葉樹 板目取 断面厚15.0mm	S170	748	2R A99 S0303	棒状 木製品	432	208	50	欠端	針葉樹か 板目 加工具使用済	M4		
704	2R S0244	木製品 切	300	64	10	断片	針葉樹 板目 横溝加工済	F127	749	2R A99 S0303	木製品 内筒部	1819	183	32	欠端	広葉樹か 板目 断面加工,厚1.1	1684		
705	2R S0244	木製品 切	201	35	35	断片	針葉樹 芯持材 断面加工済	S179											
706	2R S0244	木製品 管状	384	121	65	欠端	広葉樹 板目取 横溝加工済	9026											
707	2R S0244	木製品 棒	306	78	68	欠端	広葉樹 辺材 横溝	0H26											
708	2R S0244	棒状 木製品	225	25	25	欠端	針葉樹か 芯持材 切欠	F108											
709	2R S0244	木製品 木条	396	269	22	一端欠端	コナリ真コナリ断面加工済	F132											
710	2R S0244	木製品 火線	308	26	25	断片	針葉樹 辺材 板目 厚1.1 孔径5.0mm	1606											
41	711	2R S0244	棒状 木製品	466	45	18	欠端	針葉樹 辺材 先端部	1683										
	712	2R S0244	板状 木製品	468	16	7	欠端	針葉樹 板目	0H19										
	713	2R S0244	棒状 木製品	413	55	10	欠端	針葉樹 板目	1684										
	714	2R S0244	棒状 木製品	335	28	19	欠端	針葉樹 辺材 先端部加工	1689										
	715	2R S0244	棒状 木製品	195	148	12	断片	針葉樹 板目	0H18										
	716	2R S0244	棒状 木製品	214	44	18	欠端	広葉樹か 板目 先端部加工	S171										
	717	2R S0244	棒状 木製品	208	31	15	欠端	針葉樹 辺材 厚1.1 孔径6.0mm 溝加工済	S170										
	718	2R S0244	棒状 木製品	273	22	8	欠端	針葉樹 辺材 断面加工	S172										
	719	2R S0244	棒状 木製品	227	90	9	凹形実形	針葉樹 板目 断面加工済	S174										
	720	2R S0244	不明 木製品	129	36	18	実形	針葉樹 板目 断面加工済	9023										
721	2R S0244	不明 木製品	174	52	17	実形	針葉樹 板目 断面加工済	9022											

※注量欄の () は現存値を示している。

第5表 木製品観察表 (3)

## 第5章 樹種同定記録

今回報告となった柄付刀子(591:第6表記載遺物番号3)と木製品の多又鋏(709:第6表記載遺物番号4)について、(株)東都文化財保存研究所に樹種同定を依頼した。結果は以下のとおりである。

### 樹種同定結果:

#### 1. 試料

試料は井戸杵、刀子、柄振(多又鋏)の3点(試料番号1-3)である。柄振は、身に着脱式の柄が付着しているが、木目を観察した限りでは同じ樹種と考えられたため、身についてのみ樹種同定を実施する。なお、試料番号1はPEG処理が終了した状態であった。

#### 2. 分析方法

各木製品のうち、試料番号2の刀子は、ほぼ完成品であるが、柄の側面に柾目と板目が確認できたことから、直接切片を採取したが、木口面は加工面で切片が採取できなかった。その他の2点は、試料番号1は破損部、試料番号3は接合面を利用して木片を採取した。このうち、試料番号1は、樹種同定を行う上でPEGを除去する必要があるため、温水に浸してPEGを溶解させた。これらの木片は、剃刀の刃を用いて3断面(木口、柾目、板目)の徒手切片を作成した。

切片は、ガム・クロラール(抱水クロラール、アラビアゴム粉末、グリセリン、蒸留水の混合液)で封入し、プレパラートを作製した。作製したプレパラートは、生物顕微鏡で木材組織を観察し、その特徴から種類を同定した。

なお、同定の根拠となる顕微鏡下での木材組織の特徴等については、島地・伊藤(1992)およびwheeler他(1998)を参考にした。また、各樹種の木材組織の配列の特徴については、林(1991)、伊東(1995,1996,1997,1998,1999)や独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースを参考にした。

#### 3. 結果

樹種同定結果を第6表に示す。木製品は、針葉樹1種類(スギ)、広葉樹1種類(コナラ属コナラ亜属クスギ節)に同定された。各種類の解剖学的特徴等を記す。

第6表 木曳野遺跡群の樹種同定結果

番号	遺物番号	遺物名	樹種
1	1	井戸杵	スギ
2	3	刀子(柄)	スギ
3	4	柄振	コナラ属コナラ亜属クスギ節

#### ・スギ(*Cryptomeria japonica* (L.f.) D.Don) スギ科スギ属

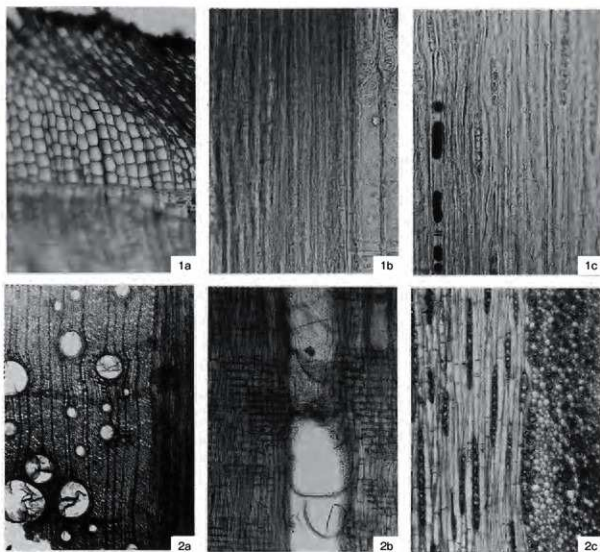
軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は比較的広い。樹脂細胞はほぼ晩材部に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔はスギ型で、1分野に2-4個。放射組織は単列、1-10細胞高。

#### ・コナラ属コナラ亜属クスギ節(*Quercus subgen. Lepidobalanus sect. Cerris*) ブナ科

環孔材で、孔圈部は1-2列、孔圏外でやや急激に管径を減じたのち、漸減しながら単独で縦方向に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1-20細胞高のものと複合放射組織とがある。

【引用文献】

- 林 昭三 1991 『日本産木材 顕微鏡写真集』京都大学木質科学研究所  
 伊東隆夫 1995 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ」『木材研究・資料31』京都大学木質科学研究所  
 伊東隆夫 1996 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ」『木材研究・資料32』京都大学木質科学研究所  
 伊東隆夫 1997 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ」『木材研究・資料33』京都大学木質科学研究所  
 伊東隆夫 1998 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ」『木材研究・資料34』京都大学木質科学研究所  
 伊東隆夫 1999 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ」『木材研究・資料35』京都大学木質科学研究所  
 島地 謙・伊東隆夫 1982 『国説木材組織』地球社  
 Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. (編) 伊東隆夫・藤井智之・佐伯浩(日本語版監修) 1998  
 『広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト』海青社  
 (Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. 1989 *IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification*)



1. スギ (試料番号 1)  
 2. コナラ属コナラ亜属クヌギ節 (試料番号 3)  
 a: 木口, b: 柾目, c: 板目

200 $\mu$ m 2a  
 200 $\mu$ m: 1a・2b,c  
 200 $\mu$ m: 1b,c

第 42 図 歎田・寺中遺跡の木材

## 第6章 総括

本遺跡は金沢市の西部臨海地区に所在する縄文時代以降の複合遺跡で、石川県埋蔵文化財センターと本市埋蔵文化財センターによって広い面積が調査されており、多くの成果が上がっている。既刊書によると、本遺跡は弥生時代・古墳時代と中核的な様相を呈している。ここでは、本報告で扱った4区の遺物出土傾向について、若干の検討を試みたい。

第43図は本書に掲載した大河跡出土遺物をグリッド毎に整理し、出土量の多寡をアミで示したものである。アミの色が濃い箇所ほど遺物出土量が多いことを示す。本来、該当範囲の土量によって出土量の補正を行うべきであるが、困難であったため面積での補正に留めていることをご了承願いたい。

対象としたものは土器・土製品・石製品・骨・木製品で、出土地点が不明なもの、グリッド記載に誤記があると判断したものは除外した。総点数は514点となる。出土地点が「北半」「中央畦」「南半」となっているものについては、「中央畦」はW23・X23に跨る地点に設けたため案分し当該グリッドに含め、「北半」は中央畦を含む北のグリッドに案分し、「南半」は同様に南のグリッドに案分した。「W-X22」についてはW22・X22にそれぞれ案分している。出土した全遺物を対象としているわけではなく、10mグリッドという精度からも正確な傾向を示すものではないが、概ねの傾向は把握できると考えた。

遺物の集中がみられるのはW25～W23の範囲で、W23が最も多い。次いでW24・W25の順となるが、大河跡の西岸となるV25・V24からの出土は少ない。また、W22とX22の比較では、やはり西岸からの出土は少ない傾向にある。これは発掘調査担当の当時の見解とも一致するようである。大河跡出土遺物の大半は古墳時代前期の範疇に収まっており、調査区周辺でこの時期の遺構が確認されているのは大河跡の南西わずか15mに位置する寺中B遺跡5区(木曳野遺跡群Ⅱ既報)であるが、大河跡の出土傾向と併せみると関連性が薄いように感じられる。4区大河跡出土遺物の中心を占める古墳時代前期に該当する集落は、未調査となっている4区東側に所在する可能性が考えられよう。

SD210からは11世紀～12世紀代の土器・陶磁器が出土している。これは既報の主幹線2区SD240、主幹線3区SD222と同一の溝で、前時代の主幹線4区大河跡、既報の主幹線2区SD303・SD240・SD244、主幹線3区SD201と重複して北上する。第7図の大河跡断面図が示すように、大河跡が機能を失った後の再整備が明確である。調査前の主幹線の位置には灌漑用の主要用水が存在しており(木曳野遺跡群Ⅰ第3図参照)、時代を変えても同地に流路を配置する、当該地の土地利用の一端を示す遺構といえよう。

※次ページに「木曳野遺跡群Ⅰ」に掲載した1/100および1/250・1/300の航空測量図版図葉割を示した。当該書では座標が混乱しているため、「木曳野遺跡群Ⅱ」から本書に至るまで、報告対象とする遺構が遺跡の中でどこに位置するかが判別しづらいと思われるため、本書第2図と併せてご活用いただければと思う。



第43図 遺物の出土傾向







調査区全景(北から撮影：手前から4区・3区・2区)



大河跡土層断面(北東から)



SD210土層断面(北から)



SD200



SK201土層断面(西から)



P200土器出土状況(西から)



SK200土器出土状況(北西から)



大河跡 トレンチ掘削状況



大河跡 土器出土状況



大河跡 木槌出土状況



大河跡 勾玉出土状況



SD210 鉄製刀子出土状況



作業風景



SD210出土遺物(11・13・15～17・19・20・26～29・31)



39



41



44



45・46



土鏝(67～77・335)



82



85



101



102



128



129



132



137



138



143



144 · 146



155



157 · 156



縄文土器 (173 ~ 175)



181



183



209



193



231



232



233



239



255



手捏土器 (244・245・247～252・273)



小壺 (263～272・274・275)



237



298



302



303



310



336



341



326



344



346



352



349



359



372



351



376



387



357 · 358



369



370



388



瓦塔 (399)



結歯式堅櫛 (465)



元豐通寶・皇宋通寶 (636・637)



石器類 (417・419・411・424)



玉類 (431～437・586・594～597)



鞍 (570・571)



骨 (445～448)



鉄製刀子・銅鐵・鉄鐵 (438・439・441・634)



柄付刀子 (591)

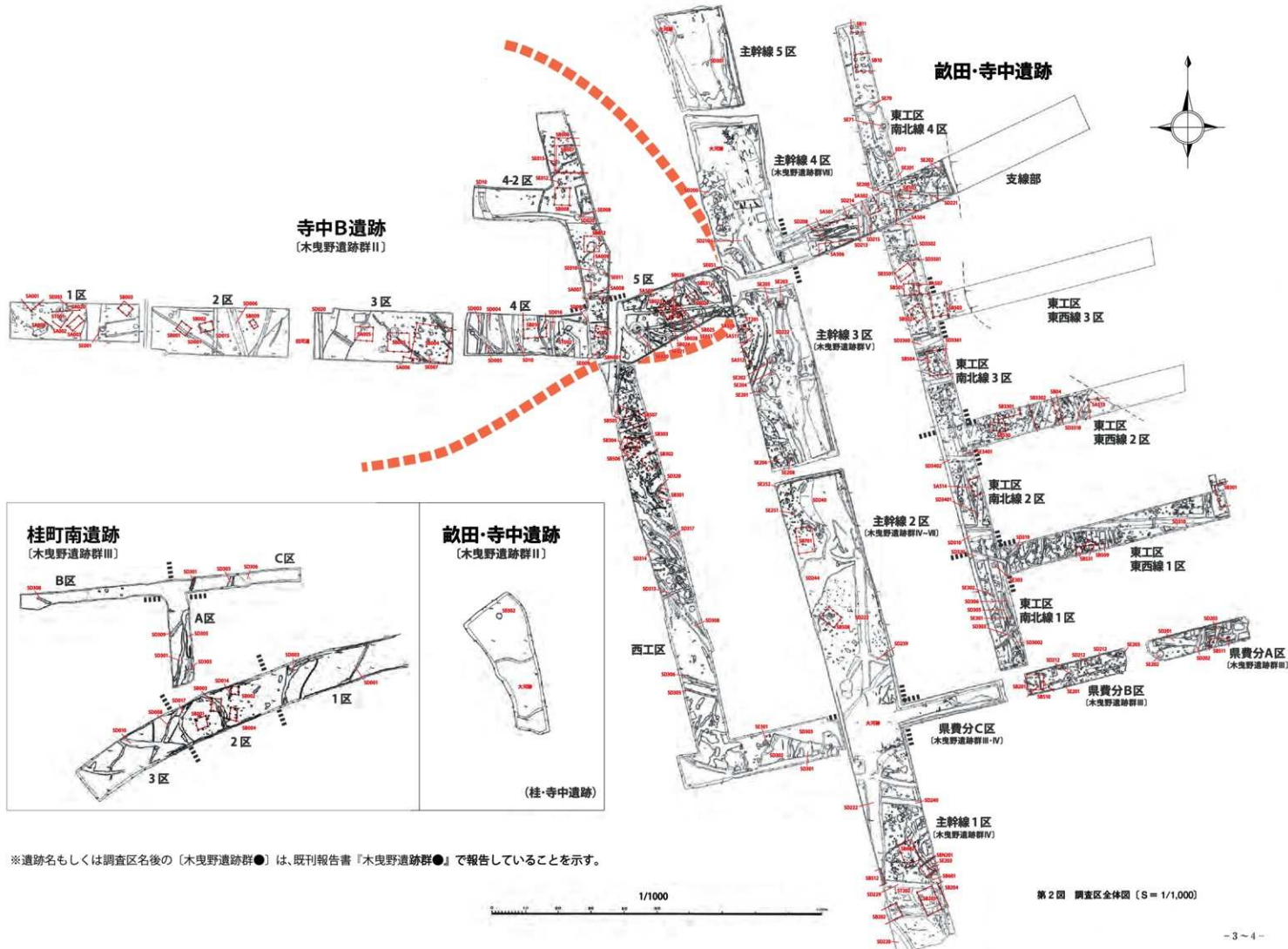


多又鋏 (709)



【引用・参考文献】

- 上原真人編 1993 『木器集成図録 近畿原始編』 奈良国立文化財研究所
- 内堀信雄 1989 「須恵器甕にみられる叩き目文について」『北陸の古代土器研究の現状と課題(報告編)』  
北陸古代土器研究会
- 小野正敏 1982 「15～16世紀の染付碗、皿の分類と年代」『貿易陶磁研究No.2』 日本貿易陶磁研究会
- 田嶋明人 1986 「漆町遺跡出土土器の編年の考察」『漆町遺跡Ⅰ』 石川県立埋蔵文化財センター
- 田嶋明人 1988 「古代土器編年軸の設定」『北陸の古代土器研究の現状と課題』 北陸古代土器研究会
- 田辺昭三 1981 『須恵器大成』 平凡社
- 向井裕知 2005 「消費遺跡での土器・陶器の組合せおよび貿易陶磁の編年 北陸」『中世窯業の諸相 資料集』  
『中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～』実行委員会
- 吉岡康暢 1994 『中世須恵器の研究』 吉川弘文館
- 石川考古学研究会 1996 『石川県考古資料調査・集成事業報告書 武器・武具・馬具Ⅰ』
- 石川考古学研究会 1999 『石川県考古資料調査・集成事業報告書 農耕具』
- 石川県立埋蔵文化財センター 1986 『漆町遺跡Ⅰ』
- 石川県教育委員会 2005 『金沢市畝田西遺跡群Ⅱ』
- 石川県教育委員会 2006 『金沢市畝田西遺跡群Ⅲ』
- 石川県教育委員会 2006 『金沢市畝田西遺跡群Ⅳ』
- 石川県教育委員会 2006 『金沢市畝田東遺跡群Ⅲ』
- 石川県教育委員会 2012 『小松市千代・能美遺跡』
- (財)鳥取研教育文化財団 2001 『青谷上寺地遺跡Ⅲ』
- 金沢市教育委員会 1993 『上荒屋遺跡(二)』
- 金沢市 2003 『大桑ジョウデン遺跡Ⅰ』
- 金沢市 2004 『大桑ジョウデン遺跡Ⅱ』
- 金沢市 2006 『寺中B遺跡Ⅵ 桂町南遺跡Ⅰ 畝田・寺中遺跡Ⅲ -木曳野遺跡群Ⅰ-』
- 金沢市 2007 『寺中B遺跡Ⅶ・畝田・寺中遺跡Ⅳ -木曳野遺跡群Ⅱ-』
- 金沢市 2008 『桂町南遺跡Ⅱ 畝田・寺中遺跡Ⅴ -木曳野遺跡群Ⅲ-』
- 金沢市 2010 『畝田・寺中遺跡Ⅵ -木曳野遺跡群Ⅳ-』
- 金沢市 2010 『中屋サワ遺跡Ⅴ -縄文時代編-』
- 金沢市 2012 『畝田・寺中遺跡Ⅶ -木曳野遺跡群Ⅴ-』
- 金沢市 2013 『畝田・寺中遺跡Ⅷ -木曳野遺跡群Ⅵ-』
- 太宰府市教育委員会 2000 『太宰府条坊跡XV-陶磁器分類編-』



※遺跡名もしくは調査区名後の〔木曳野遺跡群●〕は、既刊報告書『木曳野遺跡群●』で報告していることを示す。



## 報告書抄録

ふりがな	いしかわけんかなざわし うねだ・じちゅういせき9							
書名	石川県金沢市 畝田・寺中遺跡Ⅸ							
副書名	-木曳野遺跡群-							
巻次	Ⅸ							
シリーズ名	金沢市文化財紀要							
シリーズ番号	293							
編著者名	景山和也							
編集機関	金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)							
所在地	〒920-0374 石川県金沢市上安原町南60番地 TEL (076) 269-2451							
発行年月日	西暦2014年3月28日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯 °' "	東経 °' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
畝田・寺中遺跡	石川県 金沢市 寺中町、 畝田4丁目	172014	県01499 市029	36° 36' 33"	136° 42' 33"	20020715 ～ 20020920 20030602 ～ 20031128 20040502 ～ 20041029	約13,760㎡	区画整理
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
畝田・寺中遺跡	集落跡	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・鎌倉・室町	建物、井戸、土坑、溝、川	土師器・須恵器、陶磁器、石製品、木製品、金属製品		川跡から古墳時代の土器・木器が多数出土		
要約	木曳野遺跡群Ⅸで報告した古墳時代、奈良・平安時代の河川跡の続きやその他の遺構の報告を行った。主幹線4区は古墳時代前期～中期の河川跡が中心で、その他平安時代末から鎌倉時代の溝がみつかっている。							

石川県 金沢市  
**畝田・寺中遺跡Ⅸ**  
 -木曳野遺跡群Ⅸ-  
 (『金沢市文化財紀要』293)

発行日 平成26(2014)年3月28日  
 発行者 金沢市(金沢市埋蔵文化財センター)  
 〒920-0374 石川県金沢市上安原南60  
 TEL (076) 269-2451

印刷 株式会社 栄光プリント